

第七十六回
帝國議會
貴族院

治安維持法改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十六年二月二十八日(金曜日)午前十四時四十分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今ヨリ委員會ヲ開會致シマス、質疑ヲ繼續致シタイト思ヒマス

○次田大三郎君 議事進行ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、大體論ノ質問應答ガマダ殘ッテ居ルダラウト思フノデアリマスガ、ソレハ大臣ガ見エテカラノコトニナルト思ヒマス、就キマシテハ少シ順序ガ違フヤウデアリマスガ、此ノ際各省ノ御説明ヲ、逐條的ノ御説明ヲ伺フコトニシタラ如何カト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマセウ、次田君カラ各章別ノ質疑ニ移ッタドウカト云フコトデゴザイマスガ……

○次田大三郎君 質疑デハアリマセウ、説明ヲ聽イタラドウカト云フノデゴザイマス、各省ノ……私ガ申上ゲマシタノハ、大體ノ御説明ハ伺ッテ居リマスルガ、各省別ノ御説明ハマダ伺ッテ居ナイノデアリマスカラ、ソレヲ此ノ際伺フコトニシテ、大臣ノ御出席ヲ待ッタラ如何デアラウカト云フノデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 次田君カラ各章別ノ説明ヲト云フ御意見ガアリマシタガ、ドウデゴザイマセウ、各章別ノ説明ヲ要シマセウカ、大體此ノ間ノ概括的ノ御説明デ各章ノ内容ニ觸レテ居リマスカラ、皆サン大概御理解ニナッテ居ルノデアリマセウデセウカ

○男爵井田馨楠君 私ナドハ餘リ御質問ヲ申上ゲテ居ナイ、今迄私ニ關スル限リ、マダ内務省ナリ、司法省ナリ、文部省ニ付キマシテ是非伺ッテ行カケレバナラス、條文ニ入ル前ニ、サウシテ結局司法省ノ問題ニナル譯ナノデアリマスガ、内務省ト文部省ニ付キマシテ、モウ少シ伺ッテ置キタイ所ガアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマセウ、モウ少シ總論的ノ質問ヲ願ヒマシテ、一段落チ著ケタ所デ各章別ノ御質問ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマスガ……

○男爵井田馨楠君 私人總論ト申シマスルカ、各省ト申シマスルカ、結局御考ト同ジコトデヤナイカト思フノデアリマス、マダ司法省ノ條文ニ入リマス前ニ、モウ少シ各省ニ付キマシテト斯ウ云フ意味ナンデゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 宜シウゴザイマス、ドウゾ御質疑願ヒマス

○男爵井田馨楠君 結局委員長ト同ジ考ナンドヤナイデセウカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ通りデス、ドウゾ……

○男爵井田馨楠君 ソレデハドノ省カラ御願ヒ申上ゲテ宜イカ分リマセウガ、先ヅ内務省ニ付キマシテ、ソレデヤ少シ御願ヲ申上ゲマス、司法大臣ガ御出デニナリマスレバ、此ノ前日來カラノ懸案ノ問題ニ移ッテ戴キマスルカラ、何時デモ私ノ方ノ質問ヲ一時打切ルコトニシテ戴キマシテ、委員長如何デゴザイマセウ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 宜シウゴザイマス

○男爵井田馨楠君 其ノヤウナ考デ伺ヒマス、内務省ニ關スル部分ハ、マダ秘密會ノ部分モ少シアルノデアリマス、ソレハ先般御話戴キマシタ内務省ノ秘密會ニ關シマシテノコトデゴザイマスガ、是ハ併シ今秘密會ヲ開キマス、又議事ガ妙ニ停頓シテシマヒマスカラ、是ハ又機會ヲ得マシテノコトニシテ戴キマシテ、公開ノ席ニ於キマシテ先ヅ内務省ニ付テ御伺ヒ致シタイ、内務省ニ關スル問題ハ、治安維持ニ先ダツ出版法關係ノ問題ニナル譯デアリマスガ、私ノ知ル限リニ於キマシテ、ドウモ出版ニ關スル檢定ガ十分デナイヤウデアリマス、是ハ今日御説明ニ依ッテ、或ハ成ル程ト納得スル點モアルカモ知レマセウガ、ドウモ此ノ出版ノ檢定ガ宜クナイト云フコトハ、此ノ治安維持法ノ上ニ付テ絶大ナル關係ヲ持ツト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ御伺ヲ致スノデアリマス、第一是ハ直接治安維持法ニハ關係ガナイ問題デアリマスルガ、在來機關說ノ問題ト云フモノガ曖昧ニナッテ居リマス、是ハ二元說ガ許サレテ居ルヤウニモアリマスルシ、又然ラザル機關說モ今日橫行シテ居ルヤウデアリマスルガ、是ハ司法省ノ方ノ關係モアルト思ヒマスルガ、内務省ニ關スル限リニ於キマシテ、先ヅ此ノ機關說ノ出版上ノ御取扱ニ付テ先ヅ御伺ヲ致シタイ、是ガ一ツ、先ヅソレダケヲ御伺ヒ致シマス、簡單デ宜シイ

○政府委員(橋本清吉君) 天皇機關說ハ國體ノ本義ニ反スト云フコトハ、過般ノ衆議

院ニ於キマス本法案ノ委員會ニ於キマシテ内務大臣、司法大臣ガ明言サレテ居リマス、速記録ニ明カデアリマス、從ヒマシテ今後ノ内務省ノ是等ニ關シマスル出版物關係ノ取締ニ付キマシテハ、國體ノ本義ニ反スルモノナリ、固ヨリ安寧秩序ヲ紊スモノナリ、斯クノ如キ見解ノ下ニ、嚴重ニ取締ッテ行キタイト存ジテ居リマス

○男爵井田馨楠君 其ノ機關說ナルモノハ、二元論ト云フ意味ニ於テノ機關說ハマダ許サレテ居ルノデアリマスルカ、如何デアリマスカ

○政府委員(橋本清吉君) 御質問ノ意味ガ、チヨット私ニ分リ兼ねマスガ……

○男爵井田馨楠君 天皇ニモ統治權ノ主體ガアリ、同時ニ國家ニモ主體ガアルト云ツタヤウナ二元の意味ノ機關說ガアッタノデアリマス、是ハ出版法上許サレルガドウカ、斯ウ云フ意味デアリマス

○政府委員(橋本清吉君) 許サレマセウ

○男爵井田馨楠君 能ク分リマシタ、此ノ出版法上ニ於キマシテ、治安維持ニ於テハ、私有財産ノ否認ガ明カニサレテ居ルノデアリマス、出版法上之ニ關スル取扱ハ如何ナル程度ニナッテ居リマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(橋本清吉君) 御承知ノ如ク出版物ノ關係ニ於キマシテハ、其ノ觀點ハ、其ノ内容ガ定寧秩序ヲ紊亂スルモノナリヤ否ヤト云フコトガ要點ニナッテ居ルト存ジマス、從ヒマシテ先程御尋ノ如クハッカリ致シテ居リマスル問題ニ付キマシテハ、

明瞭デアリマスルガ、私有財産制度否認ト云フ唯ソレダケノ言葉ヲ以テ安寧秩序ヲ紊亂スルモノナリヤ、直チニ判斷スルコトハ如何カト存ジマス、ソレハ内容ヲ檢討致シマシテ、サウシテ全體ノ意味、其ノ他ノ出版物ノ内容ノ及シマスル影響、及ビ其ノ影響ノ何ト申シマスルカ、マアソレ等ノ點ヲ篤ト檢討致シマシタ上デ、處理シナケレバナラスト存ジテ居リマス、是ハ唯一般ノ方針デアリマス

○男爵井田馨楠君 在來ス様ナル圖書ニ關シテ御禁止ニナツタモノガアリマスルカドウカ、又現在何等カス様ナル圖書、或ハ學内ニ於ケル教授等ニ付キマシテ問題ニナツテ居ルモノガゴザイマスルカ、之ヲ伺ヒマセウ

○政府委員(橋本清吉君) 過去ニ於ケル實例ノ資料ハ今持ッテ居リマセス、過去ノ實例ノ數字ノモノハ今持ッテ居リマセヌガ、現在問題ニシテ居リマスルノガ、チヨット公開デハ何デゴザイマスガ、某大學ノ某教授ノ著書ニ付キマシテ銳意檢討中デアリマス、マダ斷定ハ付キマセヌガ、恐ラクハ其ノ思想ヲ含ンデ居リマスルシ、及ビソレノ及シマスル影響、全體ノ文意等ニ徴シマシテ、恐ラク禁止處分ニシナケレバナラスカト存ジテ居リマスガ、チヨットコ、數日檢討中デゴザイマス、サウ云フ事例ガゴザイマス

○男爵井田馨楠君 今日此ノ私有財産ノ否定ト同時ニ、結局は日本ノ家族主義、忠孝主義、私有財産ヲ否定スルコトガ家族主義ヲ否定スルコトニ結局ハナル譯デアリマシテ、斯様ナル直接此ノ家族主義ヲ否定スルト云フヤウナ文獻ハ赤裸々ニハ見エマセスケレドモ、結局ソレヲ根柢

ニ置イタ文獻ト云フモノガボツ／＼アルヤウニ思フノデアリマシテ、又ソレガ政治的ノ意味合ニ於キマシテモ、一種ノ協同體觀念ニ於キマシテ、家族ハ否定シマセヌケレドモ、一種ノ協同體觀念ニ於キマシテ、是ガボツ／＼現ハレテ居ルノデアリマス、之ガ意味ニ於テハサウ云フ意味内容ヲ持ッテ現ハレテ居ルノト、所謂今日極メテ道德的ナ誠ニ麗ハシイ我々ノ考ヘテ居ル意味ニ於テノ日本主義的協同觀念ナラ宜シウゴザイマスケレドモ、然ラズシテ現ハレテ居ルモノガ、今日地方ニ依リマシテハ常會ヲ利用シテ現ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ或地方ノ如キハ、自分ノ没落セムトスル財産ヲ他ノ常會ノ中ノ「メンバー」ニ依ッテ救ッテ貰ハナケレバナラス、サウシテソレヲ嫌ガル者ハ臣道實踐ニ非ズト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ッテ、非常ニ或方面ノ常會デハ惱ミニシテ居ルト云フコトヲ、直接私ハ聽イテ居リマス、是レアタリハ履キ違ヒト言ヒマスルカ行キ過ギト言ヒマスルカ、或ハ場合ニ依ルト爲ニスル協同體主義デハアルマイカ、家族主義ト云フモノノハッキリシタ否定ハ寡聞デ存ジマセヌケレドモ、斯ウ云フモノハ、私ハ前治安維持法ニ付テ、家族主義否定ト云フコトヲ此ノ私有財産ヘ括弧シテ入レテ貰ッたらドウカト云フコトヲ言ッタ位デアリマスガ、當時ハソレハ無イト云フコトデアリマシタガ、是ハ巧ナ方法ニ依ッテ段々出テ來ルモノダト思ヒマスガ、當局ト致シマシテ此ノ家族主義否定ニ關スル直接間接ノ事實ヲ御承知デアリマシタラ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(橋本清吉君) 只今ハッキリト家族制度ヲ全面的ニ否認スル、否定スルト云フヤウナ實例ヲ茲ニ持合セテ居リマセヌデゴザイマスガ、要シマスルニ先程來線返シテ居リマスル通り、出版物法ノ關係ニ於キマシテハ、其ノ取締ノ要點ガ飽ク迄、直接ニハ是ガ安寧秩序ヲ紊亂スルモノナリヤ否ヤト云フコトヲ要點ニ致スノデゴザイマスカラ、具體的ニ左様ナ問題ガ生ジテ參リマシタル時ハ、其ノ主張ハ家族制度否認ノ程度、其ノ理論ノ本質ガ、其ノ當時ニ於ケル國家ノ安寧秩序ヲ紊亂スルモノナリヤ否ヤト云フ點ニ能ク重點ヲ置キマシテ、檢討致シマシテ取締ノ萬全ヲ期シテ行キタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○男爵井田馨楠君 「マルクス」主義所謂唯物史觀ニ於キマシテ、御案内ノ通りニ歴史科學ノ建前ニ於キマシテ、日本ノ歴史ヲ、畏多イコトデアリマスガ、根本的ニ天皇制ノ下ニ考ヘナイデ、之ヲ、其ノ著書ノ目次ヲ見テモ分ル如クニ、經濟史觀ニ依ッテ日本ノ歴史ヲ根本的ニ編ミ直シテ居ルト云フ歴史ガ少クナイノデアリマシテ、是ハ唯直接ニソレヲ見タダケデハ、是ハ治安維持法トカ出版法ニ於テドウモ處分ノ出來ナイヤウナ形ノモノデアラウト思フノデアリマス、是ハ專ラ文部省ニ御關係ノ方モオイデデアリマスガ、主トシテ是ハ文部省ノ時ニ於テ御伺ヒシナケレバナラスト思フノデアリマスカ、今日政府ノ方ニ於キマシテ、文官試驗アタリニモ歴史ヲ入レテノ試験デアリマスカレドモ、此ノ歴史觀念ト云フモノガ、日本精神ノ下ニ考ヘラレタ歴史ニ非ズンバ、斯ウ云フモノハ入ッテモ役ニ立タナイ、有ラユル方法ヲ以テ日本ノ歴史ヲ根本カラ否定スルヤウナ歴史ガ今日生レテ居ッテ、サウ云フ歴史科學ノ雜誌スラ今迄隨分横行シテ

居ルノデアリマスガ、斯ウ云フモノニ關スル出版法上ノ取締ノ方針、又現狀ヲ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(橋本清吉君) 歴史ノ研究ガ、苟モ其ノ方法ニ於テ其ノ理念ニ於テ、國體ノ觀念ニ紛糾ヲ來シ、國家主權ヲ晦昧ナラシメルガ如キモノニ對シマシテハ、固ヨリ明確ナル取締ヲ致シテ居リマス、最近ニ於キマシテモ、某衆議院議員ノ出シタモノニ付キマシテモ、是等ノ觀點ヨリ致シマシテ發賣禁止處分ニ致シタ實例ガゴザイマス、是ダケ御答ヘ致シテ置キマス

○男爵井田馨楠君 此ノ點ハ、過日此ノ委員會ニ於テモ問題ニナリマシタ政體變革ト云ツヤウナ書物ニ付テモ言ハレルト思ヒマス、是ハ愛國主義的ナ方面ノ文獻ニ於テ、所謂幕府論ト云ツヤウナモノモアルノデアリマスガ、今日確カスウ云フモノノ主題ニシタ雜誌、唯物主義「歴史科學」ト云ツヤウナ雜誌ガ、兩三年前頻リニ店頭デ見エテ居ッタノデアリマス、斯ウ云フヤウナ主義ノ下ニ、直接其ノ文獻ハ一ツ宛取上ゲテ見テハドウト云フコトハナイ、例ヘバ過去ノ帝大ノ津田博士ノヤウナ文獻ハ、直接見エヌトシテモ、大抵サウ云フヤウナ唯物的ニ日本ヲ見テ行クト云フコトヲ根本ノ理念トシタ、一ツ「グループ」ノ雜誌ガアルト思フノデスガ、斯ウ云フモノニ對シテハ、ドンナ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(橋本清吉君) 只今御言葉ニゴザイマシタ「歴史科學」ト云フ雜誌ハ、今ヨリ三年程前ニ廢刊ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○男爵井田馨楠君 只今ノ御話ハ、實ハモウ少シ突進シテ秘密會ヲ御伺ヒシタイト思ヒマスルガ、大體此ノコトハ今ノコトデ能ク私ノ見當ハ付キマシタガ、尙事實ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスルガ、是ハ此ノ委員會ノ進捗ニ於キマシテ、全般的ノ關係ヲ見マシテ、尙多少五分ナリ十分ノ時間ヲ得テ御話ガ出來ル機會ニ於キマシテ、突進シテ御話ヲ得タラバト斯ウ思ヒマスルガ、暫ク今ノ所デハ、私ハ此ノ問題ハ或ハ遺憾ナガラ之ヲ以テ此ノ話ヲ深ク御伺ヒスル機會ガ得ラレナイノデヤナイカト思ヒマスガ、實ハ此ノ委員會全般トシテ、此ノ問題ハ深ク今日ノ場合ニ於キマシテ、殊ニ此ノ「マルクス」主義ノ現在ノ指令又日本ノ現在ノ動キニ於テ此ノ秘密會ハ私ハ重要ナ場面ダト思フ、委員會トシテ是非聽イテ置カナケレバナラスト思ヒマスガ、暫ク是ハ一般關係モゴザイマスルノデ、一應是デ私ハ内務省ニ關スル御尋ハ打切りタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 私ハ極メテ簡單ナコトデアリマスガ、秘密會ニ於テ、現在ノ思想ガ惡化スルト云フ原因ニ付テ、司法省ノ政府委員ヨリ色々承リマシタケレドモ、私ハ其ノ外ニ、現在ノ官吏ノ執行ガ苛酷ニ流レテ居ルノデ國民ガ之ヲ怨ミデ居ル、國家ヲ恨ミ國憲ヲ呪フコト云フコトハ、是ハ危險思想ノ溫床デヤナイカト思ヒマス、ソレデモ私モ齡若カリシ時、職ヲ警察ニ奉ズルコト十數年、烏滸ガマシイコトデアリマスケレドモ、警察ニハ相當ノ理解ト同情トヲ持ッテ居ル積リデアリマス、而モ私ノ申上ゲル事實ハ、現在ノ大臣、次官、局長御就任前ノ

コトデアリマスカラ、決シテ今ノ當局者ノ責任ヲドウト云フヤウナ意味デハ毛頭ゴザイマセヌガ、一二例ヲ申上ゲマス、私ノ知人ノ某令夫人、不謹慎ナコトデアリマスケレドモ、電車ノ中デ、近頃ハオ米ガマツケテ困ルト云フコトヲ話シタ處、ソレヲ刑事ニ聞カレテ直グ警察ニ引張ッテ行カレタ、飯ガマツケレバ旨イ飯ヲ食ハシテヤルカラ來イト云フノデ、直接執行ヲ致シテ豚箱ニ放リ込シタ、サウシテ一日飯ヲ食ハセズ、夜ニナツテ、警察ノ留置人ニ食ハセル辨當ヲ食ハセテ、ドウダ食ッテ見ロ、腹ガ減ッたら旨カラウ、斯ウ云フコトガアッタ、是ハ無論夫人ノ言ツタコトモ甚ダ不謹慎デアリマスケレドモ、併シナガラ犯罪デモ何デモナイモノヲ、直接強制ニ依ッテ斯カルコトヲヤルト云フコトハ、行政ノ行過デヤナイカ、此ノ夫人ハ泣イテ口惜シガッテ居ル、御上ノヤリ方ハ餘リヒドイト云フコトヲ言ッテ居ル、又私ノ知ッテ居ル失業者、是ハ米屋ノ失業者デアリマスガ、警察デ相談ニ乗ルト云フノデ行ッタ、サウシテ少シ言葉ガ言ヒ過ギタカモ知レマセヌガ、轉業ヲシタイケレドモ、此ノ齡デスカラ、滿洲デ百姓ヲスルコトハ御免蒙リマスと言ッタ處、貴様生意氣言フナトイキナリ毆ラレタ、而モ其處ニ居ッタ他ノ警察署員ハ皆笑ッテ居ッタト云フヤウナ事實アル、ソレカラ是ハ中京地方ノ出來事デアリマスケレドモ、警察ニ於テ或日午前八時ニ遊廓ヲ臨檢サレタ、是ハ表面ハ自動車ヲ遊廓ニ乗付ケタト云フ理由ノ下ニ、運轉手ヲ檢査スルト云フコトデアッタノデスカレドモ、實ハ乘客モ皆警察ニ同行シテ、殆ド口ニ言フニ忍ビザル侮辱ヲ與ヘタ事實アル、ソレカラ又某

地方ニ於テハ、男女ガ同行シテ往來ヲ歩イテ居ルノヲ總テ警察ニ同行ヲ求メテ、サウシテ甚ダしい嚴シイ方法ヲ以テ取調ヲシタ、中ニハ正當ノ夫婦ト云フモノモ甚ダ少クナイ、多數アル、是等モ一日警察ニ留メ置カレタ、夫婦ガ往來ヲ一緒ニ歩イチャイカスト云フ規則ガ何處ニアルカ、行政警察ハ凡ソ太政官布告ノ行政警察規則ニ依ル犯罪豫防ト云フ範圍ニ止メナケレバナラスノニ、警察官ガ社會道德ト云フ範圍迄立入ッテ斯カル強制手段ヲ用ヒルト云フコトハ、國民ヲシテ國家ヲ恨マシメ、官憲ヲ呪ハシメルト云フ原因ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ憂慮シテ居ル、無論上ノ方ニ於テハ、人民ニ對シテハ深切ト寧ヲ旨トスベシト云フ御訓辭ハ度々出サレテ居ルト思フノデアリマスケレドモ、斯カル執行ガ亂暴ニ流レテ居ルト云フコトヲ御氣付ニナッテ居ルカ、私ノ傳聞シタ事實ハ或ハ多少ノ相違ガアルカモ知レマセヌ、併シナガラ斯カル事例ハ各地ヲ旅行スル毎ニ多數聞イテ居ル、東京ハ比較的寛カデアルガ、之ニ付テ警察當局ハ何カ對策ヲ御考ニナッテ居ルカ、唯警察部長會議、地方官會議デ御訓辭ナスッタ位デハ連モ下迄徹底シナイヤウニ思ヒマス、是ハ私憂慮ノ餘リ申上ゲルノデ、決シテ當局ヲ攻撃スル意味デ申上ゲルノデアリマセヌカラ、其ノ御含ミヲ以テ御答辯願ヒタイ

○政府委員(橋本清吉君) 心ナキ權力ノ濫用ガ民心離反ノ大キナ原因ニナルト云フ點ニ付キマシテハ、私共警察ニ在ル者ト致シマシテハ、本當ニ謙虛ナ本當ニ眞摯ナ氣持ヲ持ッテ只今考ヘテ居リマス、御話ノ如キ、否モット心ナキ權力ノ濫用ト思ハレル具體的ノ問題モ耳ニセヌデハゴザイマセヌ、固ヨリ多數ノ警察官ノ中ノ極ク一部ノ者ノ行動トハ存ジマスガ、元々權力ノ基調ガ仁愛デアリ、慈愛デナケレバナラス、警察ハ殺人劍デアルト同時ニ一面ニハ活人劍デナケレバナラスト云フ此ノ根本ノ基調ヲ、強ク守ッテ行カナケレバナラスト云フ信念ニ燃エテ居リマス私共ト致シマシテハ、斯様ナ御示シノ如キ事實、假令ソレガ十八萬ノ警察官ノ中ノ極ク少數ノ者ノ行動デアルト致シマシテモ、伺ヒマス毎ニ本當ニ慄然トシ、本當ニ卒然トシテ、只今申上ゲマシタ通り極メテ謙虛ニシテ眞摯ナル氣持ヲ持ッテ之ガ對策ヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、先ヅ私ガ警保局長ニナリマシテカラ、斯様ナ問題ノ最モ多イ現象ハ、御話ノ如ク風俗關係ノ取締ニ於テモゴザイマスガ、ソレヨリモツトヒドイ、而シテモット民心離反ノ基調ヲ成シテ居ルヤウニ存ゼラレル問題ハ、經濟警察取締ノ問題デゴザイマシテ、差當リ此ノ經濟警察取締ノ問題ニ付テ、先ヅ何トカシテ斯様ナ一部ニ存シマスルヤリ方ヲ本當ニ……ソレハ本當ト申シマスノハ、或ハ其ノ意味ニ於キマシテハ、誤レル意味ニ於ケル所ノ警察ノ面目論ト云フモノハ捨テマシテ、本當ノ氣持ニナッテ是ハ直シテ行カネバナラスト云フコトヲ考ヘマス、ソレデ最近ニ於キマシテ、全國ノ警察ニハ大體施設ヲ致シマシタガ、經濟警察取締ニ付キマシテ、經濟生活相談所ト云フ施設ヲ致シマシテ、是ハ其ノ警察ノ經濟係ノ主任ノ者ガ中心ニナリマシテ、本當ニ取締ラレマスル所ノ營業者關係ノ各位ニ御集リヲ願ヒマシテ、例ヘバ法令ガ出マスレバ、其ノ法令ニ付テ本當ニ深切ニ、溫イ氣持ヲ持ッテ御互ニ相

談シ合ヒ、サウシテ御互ニ其ノ法令ノ實施ニ付テハ隔意ナキ懇談ヲ遂ゲテ、法令ヲ知ラナイカラト云ツテ罪ヲ犯ス人ガナイヤウニ、

又其ノ法令ノ取締ニ當ツテモ、能ク事ノ輕重ヲ判斷致シマシテ、所謂心ナキ權力ノ濫用ニ陷ラヌヤウニト云フヤウナ、些ヤカデハアリマスガ、殆ド今日ニ於テハ全國ノ警察

ニハ普及致シマシタガ、此ノ經濟生活相談所ト云フ設備ヲ致シタノデアリマシテ、此ノ設備ヲ致シマスニ付キマシテモ、細カイコトデアリマスケレドモ、敢テ經濟警察相

談所ト云フ文字ヲ使ハナイノデ、經濟生活相談所ト云フヤウナ文字ヲ使ヒマシタ所ニモ、是等ノ問題ニ付キマシテ、本當ニ眞面目ナ氣持デ、繰返シテ申上ゲマスガ、下ラ

ナイ意味ニ於ケル誤レル意味ニ於ケル所ノ警察ノ面目ト云フヤウナモノニ囚ハレナイデ、斯ウ云フ點ニ最善ノ努力ヲヤツテ行カ

ウト云フ氣持ヲ現シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、御言葉ニアリマシタ風俗警察等ニ付テモ、漸次斯様ナ眞劍ナ意味ヲ以チマ

シテ、出來得ル限り速カニ誤レル所ハ正シテ行キタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デゴザイマス、率直ニ心境ヲ披露致シマシテ御答

ヘ申上ゲマス

○長岡隆一郎君 マダ私質問ガゴザイマスシ、又司法省ノ政府委員ニ事務的ノコトモ伺ヒタイノデアリマスガ、大臣ガ御忙シイ所ヲ御見エニナツテ居リマスカラ、大臣ニ

對スル御質問ニ御譲リ致シマシテ、私ハ後ニ致シタイト思ヒマス、如何デゴザイマス

カ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 結構デゴザイマス、ドウゾサウ願ヒタウゴザイマス、大臣ガ御出席ニナリマシタカラ私チヨット御

尋ネ致シマス、總理大臣ハ御登院ニナツテ居リマスデセウカ

○國務大臣(柳川平助君) 總理ハ御登院ニナツテ居リマセス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) マダ暫ク御登院ニナレマセスデスカ

○國務大臣(柳川平助君) サウ云フヤウニ承ツテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 前會ニ於キマシテ此ノ政體ニ關シマスル問題ニ付キマシテ國務大臣、司法大臣トシテノ御話ヲ承ルコトニナツテ居リマスルガ、其ノ點ヲ先ニ御話願ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 曩ニ祕密會ノ時デアッタト思ヒマスガ、國體ニ關スル、政體ニ關スル御質疑デアリマシテ、其ノ時ニ私カラ御答ヘシマシタノガ、國體ト政體ヲ混同スルヤウナ御話モゴザイマシテ、改メテ御答ヘスルヤウニ申上ゲテ、委員長カラ御要求ガゴザイマシテ今日ニ至ツテ居ル次第デアリマス、ソレニ付キマシテ二十六日ノ同委員會ニ於テ司法次官カラ御答申上

ゲマシタ事柄ハ、私ガ當時申上ゲタノト内容ハ大體同ジ意味デアルヤウニ思フノデゴザイマス、ソレハ國體ノ意義ハ既ニ確立シテ居ル、大審院判例ハ「我帝國ハ萬世一系ノ天皇君臨シ統治權ヲ總攬シ給フコトヲ以テ其ノ國體ト爲シ、治安維持法ニ所謂國體ノ意義亦此ノ如ク解スベキモノトス」ト國體ノ意義ヲ明カニシテ居リマスガ、國體ト政體トノ意義ニ付テ觀念上明確ナル相違アルコトハ論ナシ、政體ハ統治權ノ働キヲ意味シ、立憲政治又ハ憲法上ノ各種機關ニ依ル統治權ガ行使セラル、形ヲ意味ス、政體ノ變革ト國體ノ變革トハ勿論同

一ニアラズ、但シ統治權ガ 天皇ニ存スルト爲スモ其ノ實ヲ失ハシムルガ如キコトハ國體ノ變革トナル、斯カル點ニ於テ兩者ノ間ニ一脈ノ繋リアルベシ、政體ナル語ハ内容極メテ曖昧ニシテ如何ナル範圍ノ事項ヲ政體ト云フカ確定スルコト困難デアル、斯ウ云フ意味ヲ司法次官カラ御答ヘシタト云フコトデアリマス、私ガ此ノ前申シマシタノモ、大體斯ウ云フ意味ヲ積リデ言ッタノデゴザイマスガ、不明瞭デアッタノデ誤解モアルヤウデゴザイマスカラ、改メテ同一ノコトデアルト思ヒマスガ、此ノ政體變革ニ關スル此ノ治安維持法案ニ政體ト云フコトヲ除キマシタ事由ノ一端トモシテ、此ノ前申上ゲタヤウナコトヲモ一遍繰返シテ申上

ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、國體ト政體トハ其ノ意義ガ同一デナイト云フコトハ明カデアリマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、國體ニ基キ定メラレタル政體デアリマスノデ、政體ハ國體ニ合致スルと思フノデアリマス、デ此ノ前歴史ノ例ヲ舉ゲラレマシテ、我ガ國ハ政體ニ變革アリタルモ國體ニ搖ギナシト述べラレマシタコトハ、正シク左様ナコトデアリマシテ、事實デアリマス、デゴザイマスガ、所謂武家政治ノ如キガ、政體ガ度々變革セラレタ事實デアルト思ヒマスガ、此ノコトハ「我國體ニ戻リ且ハ我祖宗ノ御制ニ背キ奉リ」ト我々軍人勅諭ニ仰セラレタ如ク、國體ト合致セザルモノト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ明治ノ初メニ、文武一途 天皇親政ノ政體ヲ定メラレ、明治二十二年憲法御欽定ニ依リマシテ定メラレマシタ政體ハ、「皇祖皇宗ノ後裔ニ貽シタマヘル統治ノ洪範ヲ紹述スルニ外ナラス」ト宣ハセラレタ如ク、全

ク國體ニ則ラセラレタモノト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ現下ノ政體ヲ改ムルト云フコトハ結局スル處國體ニ悖ルコトニナリ、斯クノ如キ變革ヲ企ツルコトハ、究極スル處國體變革ノ心ヲ包藏シテ居ル所ヨリ出發スルコトナルコトガ多カラウト思フノデアリマス、ソレデゴザイマスカラ、政體變革ノ企テハ、其ノ現レガ政體變革ノヤウニ單純ニサウ云フ風ナ工合デナクシテ、結局國體變革ノ準備行爲ノヤウニシテ現レララウト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレデ本改正案ニ依ツテ、此ノ間御尋ノ御意見ノヤウナコトハ自然包含セラル、ガラウト思フノデアリマシテ、唯單純ニ一部ノ、國體ノ變革ニ至ラスヤウナ單純ナ企テニ對シマシテハ、他ノ法ヲ以テ取締ルヤウニナルデアラウト考ヘル次第デゴザイマス

○次田大三郎君 國體ト政體ノ區別ニ關スル二十六日ノ委員會ニ於ケル司法次官ノ御説明、只今大臣モソレト同ジ説明ヲ加ヘラレマシテ、國體ト政體トハ觀念上區別ガアルト云フコトヲ明カニセラレマシタコトニ付テハ、私ハ満足デアリマス、唯引續イテ述べラレマシタ我が國ニ於テハ現在ノ政體ハ國體ニ基キ定メラレタモノデアルカラ、此ノ政體ヲ變革セントスルモノハ結局國體ヲ變革スルノ意圖ヨリ出テ居ルモノデアル、結局取調レバ國體變革ト云フコトニ歸著シテ、治安維持法ノ取締ノ範圍ニ入ルト云フ御説明ハ、私承服致シ兼ネルノデアリマス、國體ノ變革スル考ハ毛頭ナイ、國體ハ何處迄モ之ヲ擁護シテ行カナケレバナラスト云フ固イ信念ノ下ニ於テモ、尙政體ヲ變革セムトスル企テ、而モソレハ治安保持ノ上カラ考ヘテ極メテ重大

ナル關係ヲ有スル企ハアリ得ルト考ヘマス、例ヘテ申シマスレバ二・二六事件ヲヤツタ所ノ青年將校ハ、判決書ヲ讀シテ見マスルト、憲法ヲ停止シ政體ヲ變革スルノ意圖ヲ以テ陛下ノ將兵ヲ私シテ暴動ヲ起シタルコトヲ公判ニ書イテアルノデアリマス、私ハアノ青年將校ノヤツク叛亂行爲ハ誠ニ不都合ナコトダト斯ウ思フノデアリマス、併シナガラアノ人達ガ國體變革ノ意思ガアツタコト云フコトハ、公判ヲ讀ンデ見マシテモ、前後ノ事情ヲ考ヘテ見マシテモ、ドウシテモ信ジラレナイ、政體變革ノ意思ガアツタコト云フコトハ、公判ニ書イテアルノデスカラ、是ハ疑ヒナイト思ヒマス、デアリマスルカラ、是ハ一例デアリマスガ、政體ヲ變革スルコトヲ企テタルト申シマシテ、ソレガ必ズ國體變革ヲ企テタルコトニ歸著シテ、治安維持法ノ取締ノ範圍ニ入ルトハ言ヘナイノダ、サウ考ヘリマスルケレドモ、例ヘバ貴族院廢止期成同盟會ト云フ結社ヲ作ツタトシマス、是ハ貴族院ガ其ノ態度ガ面白クナイ、公選ノ議員デアアル所ノ衆議院ノ決議ヲ、貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘルナント云フコトハ、不都合ナ思想ダ、イギリスニ於テモ、元ハ下院ノ決議ヲ貴族院デイチツコトガアルガ、ソレハ不都合カラト云フノデ、段々貴族院ノ權限ヲ縮小シテ、今日デハ有名無實ノモノニナツテ居ル、丁度ソレト同ジヤウニ、

致シマシテモ、現行ノ治安維持法ニ依テモ、又改正案ガ實現シマシタ場合ニ於テモ、治安維持法デ以テ之ニ對シテハ非常ナ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ出來ヌト思フノデアリマス、是ハ即チ、政體變革ヲ意圖スル者ガ必ズシモ國體變革ヲ意圖スル者デナイ、ト云フ例トシテ申上ゲタルデアリマス、其ノ邊如何ナモノデゴザイマセウカ

ヲ意圖シテカラ、ソレカラ起ツテ來ル場合ガ多イト云フ御見込ニ過ギナイノデアッデ、必ズシモ常ニ國體變革トハナラナイト云フ私ノ意見ニハ、御同意下スツタモノト考ヘテ宜シウゴザイマセウカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

ヲ、大臣御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ合法ノ手續ヲ以テ法ノ許シテ居ル範圍内ニ於テ、憲法改正ト云フコトヲ考ヘ、又ソレヲ實現スル爲ニ、法ノ許シテ居ル範圍内ニ於テ色々ノ行動ヲスルト云フコトハ、不法デナイト考ヘテ居ルモノナンデアリマス、例ヘバ議會ノ會期ハ三箇月ト云フコトガ憲法ニ規定シテアリマス、此ノ三箇月ハ長過ギルカラ、ソレヲ二箇月ニ直サウト云フコトヲ考ヘ、若シクハ短カ過ギルカラ之ヲ六箇月ニ直サウト云フコトヲ考ヘマシテ、サウシタ方ガ宜シイナト云フ宣傳ヲシ、同志ニ呼ビ掛ケテ、例ヘバ議會ノ會期ヲ延長スルト云フ期成同盟會ト云フヤウナモノヲ作ツテ、或ハ當局ニ陳情シ、場合ニ依ツテハ請願ヲ出ス、其ノ他演說會ヲ開キ、新聞雜誌デ其ノコトヲ論ズルト云フヤウナコトヲ致シマシテモ、是ハ不法デナイト考ヘマスルガ、其ノ點ハ如何ナモノデアリマセウカ、是ハ先年議會制度調査委員會ガ出來マシタ時ニ、モウ世間デハ轟々トシテ斯ウ云フ論議ヲヤツタノデアリマス、例ヘバ常置委員會ヲ設ケルト云フコトハ、憲法ニ會期ノ規定ノアル以上ハ憲法違反ダト云フ議論ガアリマシタ際ニ、イヤ、ソレハ憲法ヲ改正シテ常置委員會ヲ作ツタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ議論ガ起リマシテ、ソレヲ實現スル爲ニ、相當合法的ナ色ノ行動ヲシタト云フコトモアルノデアリマス、治安維持法ノ取締ノ範圍ニハ入ラナカッタ、又理論上入ルベキモノデヤナイト思フ、大臣ガ憲法ノ變革ハ不法デアルト云フコトハ相違ゴザイマセウ、斯ウ云フ意味ノコトヲ述ベラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ何カ御言葉ガ足りナカッタノデヤ

○國務大臣(柳川平助君) 例ニ舉ゲラレマシタヤウニ、明瞭ニ國體變革ノ考ガナクシテ、或一部ノ政治組織變更等ニ關スル言動ハ、國體變革ト同一ニナルト云フ意味デ申上ゲタルデハゴザイマセウデ、政體變革ノ企圖ノ國體變革ニ至ルヤウナコトガ多カラウト申上ゲタルノデ、全部國體變革ニ至ルト云フ意味デ申上ゲタルデハゴザイマセウ

○次田大三郎君 政體變革ヲ意圖スル者ガ同時ニ國體變革ヲ意圖スルト云フ場合ノアルコトハ、御説ノ通りデアリマス、ソレカラ之ニ反シテ、政體變革ヲ意圖シテモ國體ハ之ヲ尊重スルト云フ場合ノアリ得ルコト、例ヘバ二・二六事件ノ青年將校ガ正ニサウデアツタコト云フコトハ、只今ノ御答辯ニ依ツテ御認ニナツタモノト私ハ了承致シマス、唯政體變更ヲ意圖スル者ガ國體變更ヲ同時ニ意圖スル場合ガ多イカラ、或ハ國體變更ノコトハ考ヘナイデ、唯政體ノミヲ變更セムトスル場合ガ多イカラ、ト云フ事實論ニ付キマシテハ、私ハ不幸ニシテ司法大臣ト意見ヲ異ニスルモノデアリマスカラ、是ハ意見ノ相違デアリマスルカラ、質問ノ際ニハ取止メタルコトニ致シマス、後ニ討論ノ際ニ私論ジテ見ヨウト思ヒマス、ソレカラモウ一ツソレニ關聯シテ伺ヒタイ、ソレハ先達ツテ二十五日ノ委員會ニ於ケル速記ガ出來マシテ、明瞭ニナリマシタルノデ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス、是ハ憲法ヲ改正スルト云フコトハ不法デアルト云フコト

ヲ、大臣御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ合法ノ手續ヲ以テ法ノ許シテ居ル範圍内ニ於テ、憲法改正ト云フコトヲ考ヘ、又ソレヲ實現スル爲ニ、法ノ許シテ居ル範圍内ニ於テ色々ノ行動ヲスルト云フコトハ、不法デナイト考ヘテ居ルモノナンデアリマス、例ヘバ議會ノ會期ハ三箇月ト云フコトガ憲法ニ規定シテアリマス、此ノ三箇月ハ長過ギルカラ、ソレヲ二箇月ニ直サウト云フコトヲ考ヘ、若シクハ短カ過ギルカラ之ヲ六箇月ニ直サウト云フコトヲ考ヘマシテ、サウシタ方ガ宜シイナト云フ宣傳ヲシ、同志ニ呼ビ掛ケテ、例ヘバ議會ノ會期ヲ延長スルト云フ期成同盟會ト云フヤウナモノヲ作ツテ、或ハ當局ニ陳情シ、場合ニ依ツテハ請願ヲ出ス、其ノ他演說會ヲ開キ、新聞雜誌デ其ノコトヲ論ズルト云フヤウナコトヲ致シマシテモ、是ハ不法デナイト考ヘマスルガ、其ノ點ハ如何ナモノデアリマセウカ、是ハ先年議會制度調査委員會ガ出來マシタ時ニ、モウ世間デハ轟々トシテ斯ウ云フ論議ヲヤツタノデアリマス、例ヘバ常置委員會ヲ設ケルト云フコトハ、憲法ニ會期ノ規定ノアル以上ハ憲法違反ダト云フ議論ガアリマシタ際ニ、イヤ、ソレハ憲法ヲ改正シテ常置委員會ヲ作ツタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ議論ガ起リマシテ、ソレヲ實現スル爲ニ、相當合法的ナ色ノ行動ヲシタト云フコトモアルノデアリマス、治安維持法ノ取締ノ範圍ニハ入ラナカッタ、又理論上入ルベキモノデヤナイト思フ、大臣ガ憲法ノ變革ハ不法デアルト云フコトハ相違ゴザイマセウ、斯ウ云フ意味ノコトヲ述ベラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ何カ御言葉ガ足りナカッタノデヤ

ナイカト思フノデアリマス、念ノ爲ニ伺ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 私申シマシタ意味ハ、憲法ハ臣民ノ方側カラ改正ヲ申出ヅルモノデハナイノデアリマシテ、憲法ノ改正ヲ考ヘルコトハ適當デナイト考ヘルノデゴザイマス、又憲法改正ノ請願ヲ國民ノ方カラスルコトハ、只今ハ禁ゼラレテ居ルサウデゴザイマスガ、其ノ憲法改正ニ關スル議院ノ上奏ダケノ途ガアルノデゴザイマスカラ、其ノ上奏ノ途ノ爲ノ運動ナラバ、是ハ其ノ途ダケハアルト云フコトヲ認メナケレバナラス存ズルノデゴザイマス

○次田大三郎君 要スルニ他ノ法規ニ觸レナイ限リニ於テ、憲法改正ノ運動ヲスルト云フコトハ、他ノ法規ニ觸レナケレバ治安維持法ヲ御取締リニナルト云フコトハナイ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(柳川平助君) 他ノ法規ニ云云ト云フヤウニナリマス、テヨツト法ノ適用等ニナリマスノデ、政府委員カラ……

○政府委員(三宅正太郎君) 先程カラノ御質問ニ對シマシテ、司法大臣カラ御答ニナリマシタヤウニ、憲法改正ト云フコトハ勅命ニ依ルコトデアリマシテ、臣民カラ請願或ハ建議又ハ公的ナ上奏ト云フヤウナコトハ、出來ナイコトニ規定シテアルト思フノデアリマス、唯絕對的ニ出來ナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、兩院ハ上奏ヲ爲ス所ノ權限ヲ持ッテ居ラレマス、其ノ上奏ノ内容トシテ憲法改正ノ上奏ヲナサレルコトニ付キマシテハ、是ハ妨ガナイト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハ例外デアリマシテ、一般ニハ、其ノ他ノ場合ニ於テハ、憲法改正ト云フコトヲ國民側カラ申出ヅルコ

トハ違法デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスノデ、實ハ次田委員カラ仰セラレマシタ不法ニ憲法ニ定ムル統治組織ヲ變壞シ、ト云フコトニ付キマシテモ、其ノ議論ヲ以チマシテ、斯ウ云フ字句ハ適當デナイデナイカト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス

○次田大三郎君 是ハ極ク最近ニ起ツコトデアリマスルガ、或政治家ガ議會ハモウ無クシテモ宜イダト云フヤウナ演説ヲシタ、サウ云フコトガ新聞ニ載ッテ居ル、若シソレガ事實デアリマスルナラバ、ソレハ結局憲法ノ變革ヲ意圖スルモノデアル、取締ノ必要ガアルノデアリマス、ナイノデアリマスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 事實問題ト致シマシテ、議院ガ無クテモ宜イノダト云フコトト、議院ヲ廢止シロト云フコトハ、ソコノ間ニ區別ガアルデヤナイカト思フノデアリマス、議會ヲ廢止セヨト云フコトヲ述ベルト云フコトデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ、其ノ方法ニ依ッテ憲法ノ改正ヲト云フコトデアリマスレバ、先程申上ゲタコトニ當リマス、唯議會ガ要ラナイノデハナイカト云フコトハ、唯シレダケノコトデ憲法ノ改正ヲ意圖スル結社トカ、或ハ目的トスル結社ト云フコトノ前提ニハナラナイト思フノデゴザイマス、如何ナモノデゴザイマセウカ

○次田大三郎君 誰モ唯我々ノ家庭デ茶吞話ヲスルナラバ何デスガ、政治家ガ例ヘバ公開ノ席上デ議會ハ要ラヌノダト、斯ウ云フコトヲ言フノハ、議會ト云フモノハ廢止ス、ベシト云フ前提トシテ話シテ居ルノダ、只議會ハ要ラヌノダケレドモ其ノ儘ニシテ

置クノガ宜シイト云フ人ハ、私ハナイト思ヒマス、只沙中偶語デ議會ハ要ラヌノダト云フ話合ヲスル、コンナ風ナ議會デハ政府ノ案ヲ何デモ吞込シテ通スノダカラ議會ハ要ラヌノダ、車夫馬丁ガ言ッテルナラバ、ソレナラバ別デアルガ、併シ政治家ガ議會ハ要ラヌノダト云フコトヲ議論スレバ、直グ其ノ次ニハ議會廢止スベシト云フモノ……サウ云フ議會廢止ハ治安維持法ノ條文ニ當テ、其ノ目的遂行ノ爲ニ必要ナル行爲、即チ宣傳ヲスルモノト解釋シナケレバナラスト私ハ思ヒマス、併シナガラ司法當局ハサウ云フ御考デアアルナラバ、愈議會ヲ廢止スルト云フ迄ハ取締ラス、ドンナニ議會ガ無力ナモノデアアルカ、議會ハ笏棒ナモノデアアルカト云フコトヲ、ドノ位極言シテモ、其ノ最後ノ切札ヲ出サス以上ハ取締ラスト云フ御考デアアルナラバ、ソレハ別問題デアリマス、ソレハ後デ討論ノ時ニ私ハ申上ゲマス

○子爵岡部長景君 ソレニ關聯シテ、今ノ問題ニ付キマシテ更ニ極端ナル主張ハ、國體ヲ擁護スル爲ニ政體ヲ變革スル、憲法ノ條章ニ依ッテ設ケラレテ居ル政體ヲ變革スルト云フコトヲ主張スル人間ガ私ハアルト思ヒマス、今ノ御話ハ、先ヅ政體ヲ變革スルト云フ意圖ハ、總テハ國體變革ノ方ニ向ケ得ルモノト、其ノ前提ト見テ大體宜イト云フ御説明デアリマスガ、多少是ハ極端ノ右翼カモ知レマセヌガ、國體擁護ノ爲ニ、或ハ天皇親政ト云フヤウナコトヲ主張スルトカ、其ノ爲ニ議會ハ無用デアル、或ハ寧ろ國體ニ反スルモノデアアルト云フヤウナ見解ノ下ニ、今ノ憲法ニ設ケラレテアル政

體ノ色々ノ問題ニ付テ變革ヲ要スルト云フ聲ハ、私ハ事實アルト思フノデアリマス、是等ニ對シテハ今大臣ノ仰シヤツタ御懸念ト寧ろ反對ノ根本理念カラ主張サレテ居ルノダト思ヒマス、併シ私モサウ云フ假面ノ下ニ矢張り政體ヲ變革シテ、ソレガ段々ニ國體ニ動搖ヲ來スト云フ間接射撃的ナ運動モアリ得ルト思ヒマス、ソレハ殆ド表面バカリ見テ居タンデハ判斷ガ出來ナイ根柢ガアリハシナイカト思ヒマス、ソレ等ニ付テドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ラレマス

○國務大臣(柳川平助君) 只今ノ御説ノ、國體ヲ擁護セムガ爲ニ政體ヲ變革セムトスルヤウナ考ヲ起シテ居ル者ハ、恐ラク能ク物ノ道理モ分ラズニ、只熱心ノ餘リサウ云フコトヲ言フノデアアラウト思ヒマス、是ハ教育ノ方デサウ云フコトヲ矯正シテ行カナケレバナラスノデアリマス、ソレガ事實ニ於テ國內ノ治安ヲ害スル如キコトニナルヤウデアリマスナラバ、一般ノ治安警察法等ノ法令ニ依リマシテ之ヲ取締ラナケレバナラス事柄デアルト考ヘラレマス

○子爵岡部長景君 先達ッテ戴キマシタ極秘ノ司法省刑事局デ作ラレタ右翼團體調査ノ中ニハ、所謂 天皇親政ノ大義ヲ標榜シテ居ル團體ニハナイノデアリマスガ、是等ノ運動ハ唯今御話ノヤウナ無智、或ハ低級ナル考カラ主張シテ居ルトモ言ヘナイヤウナ立派ナ方ガ代表者トナッテ居ラレル團體モアルノデアリマシテ、今ノ例ノ御話ノヤウナ取締ト云フ程度デナカ、是等ガ治マルモノデナカラウト思ヒマス、余程此ノ關係ノ形カラ見ルト、餘程強イ信念カラサウ云フコトヲ主張シテ居ラレルヤウニ思フノデスガ、私ハ其ノ純ナル氣持ヲ持ッテ居ル

人達ノ考ハ決シテ危險ナコトデハナイト
思ヒマス、ガ寧ロ今ノ憲法ノ運用、政體ノ
實際ノ現レト云フ點カラ見レバ、御精神カ
ラ逸脱シタモノモ少クナイト思ヒマス、ソ
レハ制度ト運用トヲ混淆シテ、運用ノ誤リ
ヲ、同時ニ政府ニモ責任ヲ持ッテ行キ、ダ
カラ制度モ改メナケレバナラスト云フ、詰
リ或程度迄政體ヲ變革シテ行クト國體ハ
益、明徴ニナルト云フヤウナ考ヘ方ガアル
ノデアッデ、固ヨリ是ハ教育等ニ依ッテ各
方面ノ過チヲ是正シテ行クコトガ非常ニ必
要
デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス
ガ、斯カル運動ヲ總テ國體變革ノ前提デア
ルト云フコトハ、餘程考ヘモノデナカラウ
カト思フノデアリマス

○國務大臣(柳川平助君) 仰セノ如ク危險
ノナイヤウナ純眞ナ人ガ思ヒ違ヒデ爲シテ
居ルモノヲ、國體變革ノ心ヲ包藏シテ居ル
者ト一緒ニ混同シテ取締ルコトハ無論イ
カナイダラウト存ズルノデアリマス、

天皇親政等ノ大變立派ナ言葉ヲ利用シテ、逐
次國體變革ノ方ニ接近セシムル如キ行動ヲ
執ルニ至リマスレバ、矢張り是ハ取締ラナケ
レバナラスシ、又帝國憲法ハ、曩ニモ申上
ゲマシタル通りニ、全ク國體ニ合致シテ定
メラレタモノト考ヘルノデアリマシテ、此ノ
重要部分ニ關シテ其ノ動搖ヲ來ス如キ考ニ
至リマスレバ、初メノ國體ニ關スル精神
ハ、假令純德ゴザイマシテモ、結局取締ラ
ナケレバナラスコトニ至ルト存ズル次第デ
ゴザイマス

○子爵岡部長景君 此ノ根本ハ私ハ運用ニ
アリト思フノデアリマス、斯ウ云フコトヲ
主張スル純眞ナ氣持ノ人ノ考ト云フコトモ
非常ニ狹量デアリ、非常ニ或モノニ囚ハレ

テ居ル、或ハ或モノニ對スル反感、或ハ憂
慮ト云フモノガ加ッテ、サウ云フ運動ヲス
ル虞ガアル、又ソレ等ノ人ノ言フコトモ無
理カラヌ、實際憲法ノ運用ト申シマスカ、
政體ノ實施ト言ヒマスカ、是等ノ點ニ付テ
確カニ間違ッテ居ル點モ少クナイト思ヒマ
ス、是等ニ對シテモ餘程兩面カラ今日ノ誤
リハ是正シテ行カナケレバ、結局斯ウ云フ
風ナ運動モナカク絶エナイシ、又事實或
程度ニ於テハ彼等ノ言ッテ居ルコトモ尤モ
ナコトガアルト思ヒマス、是ハ先達ッテ來
色々御質問ガアツタノデアリマスガ、矢張
リ國民ノ啓蒙、教育ト云フコトニ政府ガ本
腰ニ掛ラレナイト、是等ノ病根ハナカク
斷チ切ラレルモノデハナイ、益々甚ダシク
ナツテ來ルノデハナイカ、色々はニ付テ他
ノ委員ノ御意見モアラウト思ヒマスガ、ソ
レニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○國務大臣(柳川平助君) 御説ノ如ク國
體、政體共ニ完全無缺デアッデモ、其ノ運
用宜シキヲ得ナイ爲ニ、純眞ナ人ガ此處ニ
基クダラウト云フ間違ヒカラ、憲法ノ内容
ニ關スルヤウナ考ヲ起シタリナンカスルヤ
ウナコトガアルコトハ、多ク私共モ傳聞致
シテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、是ハ
一面ニ於キマシテハ斯クノ如キ運用ヲ改メ
ルヤウニ、立法行政共ニ斯クノ如キ誤解ヲ
除クヤウニ努メナケレバナラスト同時ニ、
又斯クノ如キ誤解ヲ生ズルヤウノ考ヲ是正
スルヤウニ、教育、教化ノ方面ニ努力シナ
ケレバナラスト存ジテ居ル次第デゴザイマ
ス、今日斯クノ如キ法案ヲ本議會ニ、國防
保安法案ト本改正法案ト同時ニ出シテ御
協賛ヲ願ハナケレバナラスダケ、ソレダケ

内外ノ情勢ガ非常ニ重大ナル時機デゴザイ
マスルノデ、一層此ノ誤ヲ是正スルコトニ
努力ヲセナケリヤナラスト存ジテ居ル次第
デゴザイマス、殊ニ終リニ述ベラレマシタ
教化ニ關シテハ、政府ハ無論ノコト全力ヲ
注ギ、國民ノ協力ヲ得テ、斯クノ如キ過チヲ
一掃スルコトニ努力シナケレバナラスト考
ヘテ居ル次第デゴザイマス

マセウ、必ズシモ是デ打切ルト云フ譯デモ
何デモゴザイマセスカラ、一應各章別ノ質
疑ニ移リマシテ、勿論質問ハマア必ズ殘ル
ダラウト思ヒマスカラ……

○子爵岡部長景君 之ニ付テハ私ノ質問ハ
終リマス

○男爵井田馨楠君 今ノ各章ト云フノハ條
分ノ各章デセウ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マセウ、大體總體ニ對スル御質問ハ一應此
ノ程度ニ致シテ置キマシテ、更ニ殘リマス
レバ、他ノ機會ニ於テ總體的ノ御質問ヲ願
フコトニ致シマシテ、議事進行ノ順序ト致
シマシテ、各章別ニ御質問ヲ願フト云フコ
トニ致シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイ
マセスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ「第
一章罪」、之ヲ問題ニ致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ各章
別ニ御質問ヲ願フトコトニ致シマス、最初ニ
「第一章罪」、此ノ第一章ヲ議題ト致シマ
ス、各條項又ハ一章ヲ通ジテノ御質問ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○次田大三郎君 國體ヲ變革スルコトヲ目
的トシテ色々ナ行爲ヲスル者ハ不逞ノ徒デ
アッデ、嚴重ニ取締ラナケレバナラナイト
云フコトハ何人モ異存ノナイコトデアルト
思ヒマス、其ノ爲ニ現ニ治安維持法ノ規定
ガアリ、而シテ更ニ此ノ治安維持法ノ規定
ヲ擴充シヨウトセラレテ居ルノデアリマス、
處デ私ガ伺ヒタイノハ、國體ノ變革ヲ企圖
シテ行動ヲ起ス者ハ、其ノ第一歩カラ刑法
ノ規定ニ牴觸スルコトニマア大體ナルト思
フノデアリマス、或ハ刑法ノ 天皇ニ關ス
ル罪、アノ條項ニ當ルモノモアリマス、朝
權紊亂、内亂ト云フヤウナ罪ニ當ルモノモ
アラウト思フノデアリマス、普通刑法デハ
取締ルコトガ出來ナイ、特別立法ヲシナケ
レバ取締ルコトニ十分デアアルカラト云フ
ノデ、此ノ治安維持法ノ規定ガ出來、而シ
テ更ニ今度之ヲ擴充シヨウト御考ニナッデ
居ルト思フノデアリマス、私伺ヒタイノ
ハ、普通刑法デハ是レノノ事項ハ十分取
締レナイ、治安維持法ニ係ッデ是レノノ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マス

事項ヲ取締レルンダト云フ其ノ事項ヲ、一應指摘シテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私モ大體分ツテ居ル積デアリマスケレドモ、政府カラ其ノ説明ヲ伺ッタ方ガ議論ヲスルニ上テ好都合ト思ヒマスカラ、御面倒デアリマスルガ、ソレヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 政府委員カラ御答ヘ致サセマス

○政府委員(秋山要君) 御答ヲ致シマス、治安維持法ニ規定シテアリマスル色々ノ條項ハ、之ニ該當スル事案ハマア大體ニ於テハ刑法其ノ他ノ法條ニ依ツテ之ヲ處置スルコトガ出來ルノデアリマス、唯刑法ヲ以テシテハ尙細カイ點ニ於キマシテ處分ノ出來ナイ部分ガアリマスルシ、刑ノ關係等ニ於キマシテ矢張り特ニ規定ヲ設クル必要ガアリマスルノデ、治安維持法ノ改正ヲ致サウトシタ次第デアリマス、治安維持法ヲ設ケラレマシタ沿革カラ見マシテモ、特殊ノ場合ヲ取上ゲマシテ、之ヲ重キ刑ニ處分スルト云フヤウナ考ヘ方ガ主デアリマス、マア大體サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○次田大三郎君 只今ノ御説明ニ、普通刑法デハ犯罪ガ輕過ギルト云フコトガ一つノ理由デアリヤウニ思ヒマス、尙其ノ外ニ細カイ點デハ普通刑法デハイカニコトガアルト云フ御話デアリマシタガ、ソレヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(秋山要君) 内亂罪等ニ於キマシテ、暴力ヲ以テ國體ノ變革ヲ企テヨウト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ處置スルコトノ出來ルコトハ勿論デゴザイマスルガ、暴力ニ依ラナイデ國體ノ變革ヲ企テヨウト云フヤウナモノニ付キマシテハ、矢

張り治安維持法ノ規定ヲ要スルノデアリマスガ、尙其ノ國體ヲ變革セムトスルヤウナ結社ヲ組織シタ其ノ結社ヲ支援スル團體トカ、或ハ準備スル團體トカ、若シハ國體變革ノ目的ヲ以テマシテ集團ヲ結成スルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、治安維持法ノ規定ヲ以テ處置スル外ハナイノデゴザイマス、勿論共犯トカ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、刑法ノ理論ニ依ツテ内亂罪ヲ以テ處置スルコトノ出來ル場合モアラウト思ヒマス、尙國體變革ノ目的ヲ以テマシテ、其ノ實行ニ付テノ協議ヲスルトカ或ハ宣傳、煽動ヲスルトカ云ツクヤウナ場合ニ付キマシテモ同様デゴザイマス、其ノ他單ニ國體ヲ否定スルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、之ヲ處罰スル法條ハゴザイマセヌ、矢張り本法ノ改正等ニ俟ツノ外ハナイト思ヒマス、其ノ他私有財産制度ヲ否認スル目的ヲ以テ結社ヲ組織スルヤウナ場合ニ付キマシテモ、刑法ノ理論ヲ以テシテハ處置出來ナイノデゴザイマス、尙其ノ他私有財産制度否認ニ關スル部分ニ付キマシテ、其ノ目的ヲ以テ犯罪ヲ煽動スルト云ツクヤウナ事柄ニ付キマシテモ同様デゴザイマス、大體サウ云フ風ナ事項ニ付キマシテハドウシテモ此ノ治安維持法ノ規定ヲ必要トスルモノト考ヘテ居リマス

○次田大三郎君 暴力ニ依ラズシテ國體ヲ變革スルト云フ場合ハ考ヘラレナイト思ヒマスガ、サウ云フ場合ハ考ヘラレノデセウカ

○政府委員(秋山要君) 仰セノ通り暴力ヲ以テ國體ノ變革ヲ企テルト云フ場合ガ多イト思ヒマス、併シナガラ意識的ニ國體變革ヲ企テル、所謂意識革命ト申シマスカ、例

ヘバ類似宗教トカ云フヤウナモノニ付キマシテハ、暴力ニ依ラナイデ國體變革ヲ企テルト云フモノガアルノデゴザイマス

○次田大三郎君 第一條以下ニ、今度ノ改正法案ニ依ツテ新クニ加ヘラレムトスル法條ノ中ニモアルノデアリマスガ、「結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲」ト云フ文字ガ殆ド各條ニアル、「結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲」ト云フ文句ノ有權ノ解釋ヲ伺ヒタイノデス、其ノ意味ハ、普通ニ考ヘマスト結社ト云フコトガ出來テ、ソレデ結社ノ目的遂行ノ行爲ト云フ問題ガ起ル、是ガ普通ノ考ヘ方デアリマス、併シナガラ此ノ條文ノ解釋トシテハサウデヤナイノデアリマス、結社ノ目的ト云フ意味ハ、置キ換ヘレバ國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ其ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ト云フ風ニ讀ムノデヤナイカト思フノデスガ、此ノ有權ノ解釋ハドウ云フ風ニナツテ居リマスルカ、御同ヒシマス

○政府委員(秋山要君) 結社ノ目的遂行ノ爲ト申シマスルノハ、結社ノ目的ヲ達スル上ニ於キマシテ、色々ノ行動ガゴザイマスルガ、ソレヲ全部包括シテ「目的遂行ノ爲ニスル行爲」、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居リマス、デアリマスルカラ、非常ニ是ハ廣イ觀念デゴザイマス、結社ノ既ニ出來テ居ルモノニ付キマシテハ、勿論問題ハナイト思ヒマス、デ結社ノ出來テ居ラスモノ、ソレハ主觀的ニ結社ノ出來テ居ルモノト考ヘテ、其ノ「目的遂行ノ爲ニスル行爲」、斯ウ云フ風ニ解釋セラレルモノト思ヒマス

○次田大三郎君 國體變革ノ爲ニ、國體變革ヲ目的トシテ結社ヲスル考ハ、初メカラナイ、又結社ヲシヨウト云フコトモ企テタコ

トモナイ、唯自分一人デ以テ一ツ國體ヲ變革シテヤラウト云フヤウナ不逞ナコトヲ考ヘテ行動ヲ起ス、例ヘバ爆彈ヲ投ズルトカ、「ピストル」ヲ準備スルト云フヤウナモノハ、第一條ニ該當スルノデアリマスガ、モウ一人デスカラ、結社ヲスル、主觀的ニ結社云々ト云フ問題ハ起ラス、サウ云フ場合ニハ之ニ入ルノカドウカ、ソレカラソレガ假ニ五六人相談ヲシタ場合ニハ之ニ入ルカドウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(秋山要君) 第一條ハ、結社ノ關係ニ制限サレテ居リマスルノデ、只今仰セニナリマシタヤウナ事例ハ第一條ニハ當リマセヌ、ソレハ第五條ノ「第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ」テ協議スルトカ、煽動スルトカ云ツクヤウナ場合ニ當ルノデアリマス、唯協議モ煽動モセナイ、自分一人デ何カ國體變革ノ目的ヲ以テ暴行デモシヨウト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ或ハ此ノ五條ノ「其ノ他其ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲」ト云フ中ニ入ル場合ガアラウト思ヒマス、尙同時ニ内亂ノ豫備トカ、或ハ其ノ他ノ刑法ノ法條ニ觸レル場合モ、場合ニ依ツテハアルカモ知レスト思ヒマス

○次田大三郎君 サウシマス、苟モ國體變革ノ目的ヲ以テ何カシタラ兎ニ角治安維持法ニ引掛カルノダ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマセウネ

○政府委員(秋山要君) 左様デゴザイマス

○次田大三郎君 第五條ニ「目的タル事項ヲ宣傳」スルト云フ新シイ規定ガアリ、「煽動」ト云フコトモ茲ニ入ッテ居リマス、ソレカラ「目的タル事項ヲ宣傳シ其ノ他其ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲」ト云フノガ今度入

レラレテ居リマス、ソレデ以テ國體變革ノ意圖ノ下ニヤル行爲ハ總テ漏レナク取締ルコト云フコトニナルノダラウト思フノデスガ、其ノ第五條ニ宣傳、煽動ト云フ文句ヲ加ヘラレテ居リマス、處方後ノ十一條ノ私有財産ノ方デハ宣傳ト云フ文句ヲ拔イテアリマス、ソレハ何カ特別ノ立法理由ガアルノデアリマセウカ、伺ヒタイ

○政府委員(秋山要君) 其ノコトニ付キマシテ少シク理由ヲ申述べタイト存ジマス、是ハ本委員會ノ冒頭ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通り、過去ノ實績ニ徴シマシテ、現行法ノ不備ヲ補ヒ、尙之ヲ強化致サウト云フノガ本改正案ヲ提出シタ理由デゴザイマスガ、私有財産否認ニ關シマシテハ、實ハ過去ニ於テ實例ガ乏シイノデゴザイマス、國體變革ト切離シテ、單獨ニ適用ノアリマシタノハ、集産黨事件ト云フノガゴザイマシタガ、是ガ唯一一件ニ過ギナイノデアリマシテ、而モ此ノ事件ハ昭和二年ニ檢舉セラレマシタ古イ事件デアリマシテ、其ノ以後私有財産制度否認ノミノ條項デ處罰セラレタモノハ全然ナイノデゴザイマス、斯様ナ實情デゴザイマスノデ、本案ニ於キマシテ之ヲ、宣傳ヲ處罰スル規定ヲ設クルコトハ實際上必要ガナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘタ次第デアリマスルノミナラズ、現下ノ情勢ニ於キマシテハ、此ノ種ノ宣傳行爲ニ對シマシテ、既存ノ色々ノ法規ヲ以テ十分ニ取締ル目的ヲ達シ得ルモノト考ヘテ居リマス、即チ此ノ結社ト關係ヲシテ宣傳ヲ致ス者ガアリマスレバ、之ニ對シマシテハ本案ノ第十條ノ目的遂行行爲トシテ處理スルコトガ出來マスルシ、單獨行爲デアリマシテモ極端、詭激デアリマスルモノハ、宣

傳ト煽動トハ紙一重ノ差デアリマスルカラ、大部分ハ此ノ實行ノ煽動トシテ第十一條ニ依テ取締ルコトガ出來ルノデアリマス、更ニ又宣傳行爲ノ裏面ヲ研究致シマスルト、實行ニ關スル協議トシテ處罰シ得ル場合モアリマスルバカリデナク、此ノ種ノ宣傳中危險デアリマスルモノハ、文書ニ依ルコトヲ常ト致シマスルカラ、新聞紙法、出版法又ハ不穩文書類似取締令ニ依リマシテ處理スルコトガ出來マスルシ、又言論ニ依ル場合ニ於キマシテモ、治安警察法ノ運用ニ依リマシテ、行政竝ニ司法ノ兩方面カラ適當ニ取締ラスルコトガ出來ルノデゴザイマス、斯様ニ實際上ハ是等既存ノ法規ノ適當ヲ運用ニ依リマシテ、現下ノ情勢ニ應ズル取締ヲ爲シ得ルコト信ズルノデアリマス、併シ此ノ法規ハマア死文デアリマシテ、要ハ其ノ運用ニアルノデアリマスルカラ、當局ト致シマシテハ、將來特ニ既存法規ノ運用ニ依リマシテ、治安ノ確保ニ十分ニ努ムル方針ヲ執ツテ居リマス、私有財産制度否認ノ宣傳ニ關スル處罰條項ヲ設ケマセヌデシタ理由ハ、以上申上ゲタヤウナ理由ニ基クノデゴザイマス

○次田大三郎君 只今ノ御説明ヲ伺ヒマスルト、私有財産制度否認ノ宣傳ニ關スル處罰法規ヲ設ケラレマセナシテ理由トシテハ、第一條ニ實際上私有財産制度否認ガデ問題ニナツタコトガナイ、ダカラ特ニサウ云フ規定ヲ設ケル必要ハナイト云フコトガ第一點、第二點ハ、現在アル法規デ十分取締ル目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フノガ第二ノ理由デアリマス、第三ニ、是ハ理由トシテ御舉ゲニナツタノカドウカハキリ致シマセヌガ、運用ハ人ニアル、將來現在ノ有ラ

ユル法規ヲ運用シテ私有財産制度否認ノ宣傳ヲ取締ル積リデアル、斯ウ云フコトニ拜承致シマシタ、第一ニ私有財産制度否認ノ事實ガナイカラ、サウ云フ私有財産制度否認ノ犯罪其ノモノハ、ソレダケノ犯罪ト云フモノハ非常ニ少イカラ、ソレナニ用心ヲシナクテモ宜イノダト云フ御説明デアリマシタ、併シナガラソレデモ尙第十條第十一條ハ、從來ノ規定ヲ強化サレタトハ思フ、第十條ニハ「又ハ情ヲ知リテ」ト云フ文句ヲ加ヘラレ、ソレカラ第十一條ニハ「又ハ其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シ」ト云フ文句ヲ新クニ加ヘラレタ、其ノ規定ヲ強化セラレタ、處方宣傳ダケハ書カヌデモ宜シイ、今ノ御説明デハ其ノ區別ヲナスツタ譯ガ分ラナイ、私有財産制度否認ニ關スル犯罪ハ、其ノ實例ガナイノダカラ強化スル必要ハナイト云フノデ、現行法ノ儘デオヤリニナルト云フナラバ、今ノ御話ノ點ガ分ルケレドモ、或程度迄之ヲ強化シテ、單リ宣傳ニ限ツテ取締ルコトヲシナイ、特別ノ規定ヲ設ケナイト云フノニハ、又特別ノ理由ガオアリニナルコトト思フノデアリマシテ、ソレヲ私ハ伺ヒタイト云フノデアリマス、ソレガ第一デス、第二ハ、從來ノ規定ヲ運用シテ、取締ガ出來ルト云フ御話デアリマス、併シ從來ノ規定ヲ適用シテ取締ガ出來ルトハ、單リ私有財産制度否認ノ宣傳バカリデハナク、國體變革ノ宣傳ト雖モ、從來ノ規定デ取締ガ出來ルノデアリマス、ケレドモソレデハ十分デアル、刑ノ關係其ノ他ニ於テ十分デアルト云フコト

デ、特ニ今迄ナカッタ文字ヲ第五條ニ御入レニナリマシテ、「其ノ目的タル事項ヲ宣傳シ」ト云フコトヲ御加ヘニナツタモノダラ

ウト、マアサウ云フ先刻ノ御説明デハ私ハサウダラウト思フ、ダカラ從來ノ規定デ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フコトハ、私有財産制度否認ノ宣傳ヲ罰スル條項ヲ設ケナカッタ理由ニハナラヌト思フノデアリマス、尤モ私有財産制度否認ノ宣傳ハ輕イモンダ、ソレカラ國體變革ニ關スル宣傳ハ重イモノダカラ、ソレデ區別ヲシタノダト云フ御説明デアレバ、マア一應ハソレデ分リマス、併シサウデナクテ、唯從來ノ規定デ取締ガ出來ルノダカラト云フ御説明デハ、ドウシテ前ノ國體變革ノ宣傳ハ法條ニアラハニ書キ、ソレカラ私有財産制度否認ノ宣傳ハ法條ニ書カナカッタコト云フコトノ説明ニハ私ハナラヌト思フ、ソレカラ最後ニ法ノ運用ハ人ニアル、從來ノ法規ヲ運用シテ大イニ努力スルト云フ御話、ソレハモウ其ノ通りデアリマス、是非努力シテ戴カナケレバナラス、法ノ運用ガ人ニ在リト云フコトハ御話ノ通りデアアル、併シナガラ今新クニ法文ヲ作ラウ、立法シヨウトシテ我々ガ骨ヲ折ツテ居ル所デアアル、出來ルダケ取締上遺漏ノナイヤウニ致シタイト云フマア大キイロヲ利クヤウデアアリマスガ、國家ヲ憂フル信念カラ斯ウ云フ風ニ骨ヲ折ツテ居ルノデアリマス、運用ハ人ニ在リ、法條ハドウデモ宜イシタト云フ譯ニハ參ラヌ出來ルダケ取締當局ガ取締ヲナサル爲ニ御都合ノ好イヤウニ、サウ思ツテ考ヘテ此ノ質問ヲシテ居ル次第ナンデアリマス、ドウカ前ノ二箇條ニ付テ今一應御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(秋山要君) 只今御尋ノ第一點ハ、私有財産制度否認ニ關スル規定、第十條ニハ、現行法ニナイ「情ヲ知リテ」ト云フ

文句が加へラレテ居ルデハナイカト云フ御尋ゴザイマス、尙十一條ニ協議、煽動ト云フヤウナ文句が入レテアルト云フコトデアリマス、第十條ニ「情ヲ知リテ」ト云フ文句ヲ入レマシタノハ、是ハ現行法ノ第一條又、第一項ト二項ト斯ウ云フ風ニ分ケマシタ關係デ、「情ヲ知リテ」ト云フコトヲ入レナケレバ、現行法通りノ解釋ニナリマセヌノデ之ヲ入レタノデアリマシテ、趣旨ニ於テハ少シモ是ハ變更ハナイノデゴザイマス、第十一條ニ付キマシテモ、其ノ旨趣ニ於テ變更ハナイノデアリマシテ、要スルニ私有財産制度否認ノ問題ニ付キマシテハ、大體現行法通り行クト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ先程申上ゲマシタヤウナ理由カラデゴザイマス、尙私有財産制度否認ニ關スル宣傳ヲ處罰セナイノハ、國體變革ノ宣傳ヨリモ事情ガ輕イ爲デアルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ輕イト云フコトモ勿論一ツノ理由デゴザイマス、國體ノ根本ヲ變革セムトスル者ト、私有財産制度ヲ否認セムトスル者トノ間ニハ、相當ノ是ハ懸隔ガアルモノト考ヘテ居リマス、尙國體變革ノ部分ニ關スル條文ニ付テハ、色々ナモノヲ規定シテ、細カニ規定ヲ設ケテ居ルガ、國體變革ニ付テハサウ云フ特ニ必要ガアルカト云フヤウナ御尋モゴザイマシタガ、國體變革ニ付キマシテハ、本來現行法ガ共產黨ト云フ結社ヲ目標ニシテ設ケラレテ居リマスル爲ニ、結社ニ關係ノナイ色々ナ場合ガ漏レテ居リマシテ、之ヲ現行法ニ當嵌メテ解釋致シマスルコトハ非常ニ困難デゴザイマシテ、其ノ間ニ相當ノ無理ガ生ズルノデアリマス、左様ナコトデアリマスルト、法文ノ解釋上無理ガ出來ル、從ッ

テ其ノ取調ニ付キマシテモ相當ノ無理ガ伴フト云フコトデアリマシテハ、甚ダ遺憾デアリマスルノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ考慮ヲ致シマシタ結果、共產黨ト云フヤウナ、サウ云フ結社ニ關係ノナイ部分ニ付キマシテモ、色々處分ノ必要ガアリマスル部分ヲ取上ゲマシテ、斯様ニ現行法以上ニ詳細ナ規定ヲ設ケタ次第デアリマス

○次田大三郎君 私マデアリマスガ、如何デセウネ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) アリマスレバ、モウ少シ御進メ下サイ

○次田大三郎君 今ノ問題デスガ、國體變革ノ取締ノ方デハ、現行法デアルノハ無理ナ點ガ出ル、私有財産否定ノ宣傳ノ方ハ無理ナク現行法デ取締ガ出來ル、其ノ區別ガ何處カラ出テ來ルノデアリマスカ、適用ノ現行法ヲ一々指摘シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(秋山要君) 是ハ只今申上ゲマシタヤウニ、私有財産制度否認ノミノ事例ト云フモノガ殆ドナイノデゴザイマスルノデ、現在ノ實情ニ鑑ミマシテ、斯様ニ區別ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

○次田大三郎君 私有財産否認ノミニ止マル例ハナイト云フ御話、ソレハサウデアラウト思ヒマス、私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ、國體變革ニ關係ナク唯ソレダケヲ目的トシテ結社ヲ組織スルト云フヤウナ事例ガナイコトハ、私モ其ノ通りダト思フ、ケレドモ私有財産制度ヲ否認スルノ宣傳ヲスル事例ハアルンデヤナイカ、唯現行ノ治安維持法ニソレヲ罰スル法條ガナイカラ、問題ニナラナインダ、先程ノ御話ニ依リマスルト、サウ云フモノハ

現在ノ治安維持法以外ノ普通刑法、其ノ他ノ法律デ以テ取締ルコトガ出來ルト云フ御話デアリマスルガ、實際ニ取締ラス積リデ取締ヲ爲サラスノデヤナイカ、私有財産制度否認ノ宣傳ト云フモノハ、今日デモ相當世間ニ行ハレテ居ル、例ヘバ財産ヲ奉還シロ、是ハ私有財産制度ヲ否認ノ宣傳ダト思フ、土地國有論、資本國有論ト云フヤウナモノモ、私有財産制度否認ノ宣傳デナケレバ、ツイ其ノ一步手前、皮一重ノ所迄來テ居ルト思フ、事例ガナインデヤナクテ、事例ハアルガ、取締法規ガナイ、現ニ存在シテ居ル刑法其ノ他ノ普通法令デ取締ルンダト言ハレマスルケレドモ、ソレハ取締ラスノデヤナイ、取締ル必要ヲ御考ニナッテ居ナイノデヤナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマス、如何デセウカ

○政府委員(秋山要君) 只今ノ御尋ニ對シマシテ、少シ詳シク申上ゲタイト思ヒマス、世上ニ、仰セニナリマシタヤウナ、財産奉還、土地國有ト云ッタヤウナ論議ノ行ハレテ居リマスルコトハ、私共モ能ク承知致シテ居リマスガ、政府ノ見ル所デハ、サウ云フ論議ハ主トシテ高度國防國家體制ヲ確立セナケレバナラヌト云フヤウナ必要ニ基キマシテ、銃後ノ國民ノ心構ヘ或ハ道義心等ノ喚起ヲ促ス爲ニ唱ヘラレテ居ルモノデアルカノヤウニ思フノデアリマス、例ヘバ其々團體ニ於キマシテ、生命奉還ト竝ベテ、財産奉還ヲ主張致シテ居ルモノモアリマスガ、仔細ニソレ等ノ主張ヲ檢討シテ見マスルト、ソレハ銃後國民ハ、戰線ニアル皇軍將兵ガ生命ヲ捧ゲテ奉公シテ居ルト同ジヤウナ心構ヲ以テ奉公スベキモノデアル、言ヒ換ヘレバ、銃後ニ於テ産業ニ從事シテ

居ル者ハ、從來鬼モスレバ誤リ勝デアッタ所ノ唯物主義トカ、功利主義トカ或ハ個人主義乃至ハ自由主義ノ弊ヲ脱シテ、總テノ財産ヲ 陛下ニ捧ゲルト云フヤウナ心構ヘヲ以テ、職域奉公ヲ爲スベキモノデアアルノダト云フヤウナ趣旨ニ解サレルノデアリマシテ、私有財産制度否認又ハ所有權否認ト見ルヨリモ、寧ロドウ云フ風ニシテ所有權ヲ運用シ、其ノ機能ヲ最モ能ク現下ノ情勢ニ適合スルヤウニ發揮セシムルカト云フコトヲ、強調シテ居ル場合ガ多イカノヤウニ思フノデゴザイマス、所謂右翼團體ノ綱領ハ、一般ニ誇張シテ主張セラル、ノヲ當トスルヤウデアリマシテ、必ズシモ之ヲ直チニ實行ニ移サウト云フヤウノモノデハナイヤウニ思ヒマス、此ノ事ハ、彼等ガ多ク其ノ實行方法ニ言及シテ居ラナイト云フコトニ依ッテ裏書キサレテ居ルヤウニ思ヒマス、併シス様ナコトガ熱心ニ主張セラレマスル餘リ、農村其ノ他ニ於キマシテ、或種ノ社會不安ヲ醸スト云フヤウナコトハアリ得ルト思フノデアリマスガ、其ノ説ク所ハ、只今申述ベマシタヤウニ、心構ヘヲ強調スルモノデアルト致シマスレバ、私有財産制度否認ノ宣傳ニ關スル處罰規定ヲ設ケマシテモ、之ニ依ッテ取締ルコトハ困難ノヤウニ思フノデアリマス、尙他面カラ申シマスルト、假ニ本當ニ私有財産制度否認ノ程度ニ進ンデ居ルト致シマシテモ、所謂右翼ノ場合ニ於キマシテハ、個人的ニ之ヲ主張スル場合ハ稀デゴザイマシテ、大部分ハ團體トシテノ主張デアリマスルカラ、本法ノ第十條ニ依ッテ處理シ得ルノデゴザイマス、チヨット速記ヲ御止メ下サイ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○子爵岡部長景君 今ノ御説明ハ能ク承リマシタノデアリマスルガ、私チヨット疑問ヲ持ツテ居ルハ、第五條ニ「第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ」云々トアリマス、其ノ目的ト云フノハ、例ヘバ第一條ト二條、三條ヲ見マスルト、二條デハ「前條ノ結社ヲ支援スルコトヲ目的」トスルト云フコトニナツテ居ル、第三條ハ「第一條ノ結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的」トスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ第一條ノ書目目的ト云フノハ、私ハ其ノ二條、三條ノ書目目的ヲ見テモ、國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織スルト云フコトガ、第一條ノ目的デナイカト思フノデアリマス、唯茲ニ目的ト云フコトガ、國體ヲ變革スルト云フコトヲ目的トスルト云フコトデアリマスカラ、第一條ノ目的ハ、國體ヲ變革ト云フコトナドニアルヤウニモ思ヒマスケレドモ、二條、三條トノ關係カラ讀ンデ見マスルト、ドウモ結社ヲ組織スルト云フコトガ第一條ノ目的デハナイカ、國體ヲ變革スル意圖ヲ以テ結社ヲ組織スルト云フコトガ第一條ノ目的ト云フ風ニ、私ハ法文ノ解釋カラ云フトサウナルデヤナイカ、サウスルト今迄ノ御説明ハ、大分根本的ニ變テ來ハシナイカト思フノデアリマス、是ハ一應御研究ノ上デ、食後午後二ツハッキリシタ解釋ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、若シモ私ノ解釋スルヤウナ意味ノ解釋デアルトスルト、今ノ第五條アタリノ適用モ餘程變テ來ルコトニナルト思フノデアリマス、サウスルト今次田君ノ質問サレタヤウナ、懸念サレテ居ッタヤウナ、個人デ唯斯

ウ云フ國體變革ナドト云フコトヲ主張シテ居ルト云フヤウナコトハ、ドウモ此ノ法律ノ適用ノ範圍外ニナルト云フヤウナ處ガアルンデハナカラウカト云フ風ニ考ヘラレルノデスガ、ソコノ點ハ一ツ能ク司法省ノ當局ノ研究サレタ解釋ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙モウ一ツ文部省關係デ伺ヒタイノデアリマスガ、先程何カ不穩ノ文書デ發賣禁止ニナルト云フモノガ最近アルヤウナ御話デアリマシタガ、研究中ダト云フコトデアリマシタガ、從來ニ於テモサウ云フ風ナ不穩ノモノトシテ、詰リ治安維持法ノ趣旨ニ反スルモノトシテ、發賣禁止ナドヲ受ケタモノガアツタ場合ニ、文部省ノ監督下ニアル官吏ノサウ云フ著書ガアツタ場合ニハ、其ノ官吏ニ對シテ唯發賣禁止ダケデ何等制裁ヲ加ヘナイト云フコトハ、非常ニ片手落ノコトデナカラウカ、今ノ第五條ガ若シサウ云フ適用ガ出來ルト云フコトニナレバ、或ハ將來サウ云フコトガ改マルコトニナルカモ知レナイガ、從來サウ云フヤウナ身分ニ付テノ制裁ト云フコトハ、殆ド餘リ徹底シタモノガナイヤウニ思フノデアリマスガ、是等ニ付テモ一ツ文部省ノ方デ御研究願ヒタイト思ヒマス

○委員長(兒玉秀雄君) ソレデハ午前ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半カラ開會致シマス

午後零時二十五分休憩

午後一時三十分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今ヨリ再開ヲ致シマス

○次田大三郎君 議事進行ニ付テ：私モ未ダ質問ガ途中デアリマス、況ンヤ他ノ未ダ

御發言ヲ殆ドナサナイ各委員ノ方々ノ御質問ハ、未ダ澤山アルデアラウト思フノデアリマスガ、併シ如何デゴザイマセウカ、此ノ際チヨット議事進行ニ關シテ懇談會デモ聞イテ戴キマシタラ、場合ニ依ツテハ私共ハ質問ヲ或程度迄端折ツテ、議事ノ促進ヲ圖ラウカト云フヤウナコトモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ドンナモノデゴザイマセウカ

○長岡隆一郎君 懇談會モ結構デゴザイマスケレドモ、質問モ恐ラクモウサウ澤山ナイノデヤナイカト、失禮ナガラ私ハ考ヘタル、一應質問ヲ濟マセテカラ、懇談ニ入ッタルドウカト思ヒマス、ソレモ未ダ非常ニ多イト云フノデアレバ何デスガ、私ノハホシノ五分カ六分デ宜イノデス、サッキ途中デ中斷シテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウデセウ、各章：未ダ二章、三章ニ觸レテ居リマセスカラ、一應モウ少シ質問ヲ適當ナ所迄進メマシタ所デ御懇談ヲ願ヒマシテ、サウシテ議事進行ニ關シテ御協議ヲ申上ゲルト云フコトニ致シタ方ガ、宜クハナイカト思ヒマス、サウ云フ風ニ致シマス

○次田大三郎君 ソレデハ私ノ今ヤリカケマシタ質問ヲ終ラシテ戴キマス、ソレハ午前ノ警保局長ノ御説明ニ依リマス、財産奉還論ハソレヲ掘リ下ゲテ見ルト、銃後ノ心構ヘヲシッカリ作リ上ゲルト云フ意味デ言ッテ居ルノデアアル、ガカラ取締ノ對象ニハナラスト云フ御話デゴザイマシタ、私ハソレハ非常ニ遺憾ダト思フノデアリマス、例ヘバ先達テノ豫算總會デ問題ニナリマシタ翼贊會ノ宣傳部員ト稱スル佐々木某ナル者ノ演説ノ如キモ、サウナル取締ノ對象ニナラナイコトニナルノデハナイカト云フ疑サヘ

モ生ゼザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ今ノヤウナ御答辯ヲ昭和九年ノ六十五議會ニ於テ屢、聽イタノデアリマス、ソレハ右翼ノ方ノ運動ハ其ノ動機ガ宜イノダカラ、國體ヲ擁護スルト云フ其ノ動機ガ宜イノダカラ心配ナイ、斯ウ云フ意味ノ御説明ヲ繰返シ、繰返シ聽イテ居ルノデアリマス、當時其ノ委員ニハ警保局長、警視總監ノ經歷ヲ持ッテ居ルモノガ七八人居リマシテ、其ノモノガ今自分ノ體驗ニ基イテ、サウ云フ取締ノ方法デハ危イ、兎ニ角用心シテ能ク見張ッテ居ナイト危イインダ、其ノ爲ニ政體變革ヲ抑ヘル規定モ設ケ、私有財産制度否認ノ宣傳ヲ禁ズル規定モ設ケテ十分ニ取締ル、而シテ本當ニ害ガナイモノハソレハ刑罰ニ處セスト云フヤリ方デナイト、頭カラ動機ガ宜イカラト云フヤウナコトデヤッチヤイカス、例ヘバ財産奉還論ノ如キモ今行ハレテ居リマスルモノハ銃後ノ心構ヲ良クスルト云フ意味デ行ハレテ居ルノハ實際デアリマセウ、併シ財産奉還論ハ今日ノ事變ガ起ル前、滿洲事變ガ起ル前カラ行ハレテ居ルノデアリマス、唯、今日程其ノ當時ハ幾ラカ遠慮ガアツテ大キイ聲デ言ッテ居ナイダケノコトデアリマス、サウ云フハ不知不識ノ間ニサウ云フ議論ガ世ノ中ニ行ハレテ居ルコトガ不知不識ノ間ニ民心ニ影響ヲ及シテ不祥事件ガ起ルノデアアルカラ、ソレヲ取締ラナイト危イト云フコトヲ私ハ其ノ當時モ繰返シテ申シ、現在モサウ考ヘテ居ルノデアリマス、ドウモ先程モ取締ハ人ニ在リ、我々ハ非常ニ用心シテ取締ルノダト言ハレマスケレドモ、御話ヲ伺フト、ドウモ取締ノ心構ニ於テ如何デアラウカト思フコトガ非常ニ多イ心配ノ餘リニ此ノコトヲ

申スノデアリマス、財産奉還論ハ今ニ始タコトデハナイ、モウ十年前カラヤッテ居ル、サウ云フモノヲ銃後ノ心構ヲスル爲ニヤッテ居ルトハ言ヘナイダラウ、矢張り私有財産ノ否認ノ宣傳デアルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 財産奉還ト云フ言葉ノ下ニ色々主張ガ盛り込マレ得ル可能性ガアル文句ダト思フデアリマス、現在一部ニ行ハレテ居リマス財産奉還トカ、生命奉還トカ、君國ノ爲ニ生命、財産ヲ犠牲ニスルト云フコトヲ誇張シテ言ツタモノトモ解セラル、部分モゴザイマセウ、一體マア右翼ノ主張ト云フモノハ、相當其ノ誇張ガ甚シイデアリマシテ、其ノ字句ノミヲ見マシテ、其ノ額面通りニ受取ルト云フコトハ必ズシモ妥當デナイ場合ガ随分ゴザイマスノデ、ソコハ用心シテ掛ラナケレバナリマセズデ、併シ又一面ニ誇張デナクシテ、實際ソレハ若シ本當ニヤル積リダツタト云フコトデアリマスレバ、矢張り只今ノ御話ノヤウニ取締ノ對象ニナリ得ル譯デ、少クモ其ノ取締ノ對象ニナリマスノハ即チ行動、行動トシテハ行ヒ動キ、ト云フモノニシテハ取締ノ對象トナルト思ヒマス、又先程御言及ニナリマシタ此ノ財産奉還ト云フコトデ、サウシテ實ハ大イニ共產主義的ナ、或ハ其ノ他ノ不逞ノ思想ヲ盛込シタルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、共產主義的ナ場合ニ於キマスレバ、ソコニ所謂私有財産制度ノ否認ノ宣傳ト云フコトニ：少クモアノ程度ニナリマスレバ、煽動ト云フコトニナッテ宜カラウト思フデアリマス、演説ヲシ、而モアノア、云フ風ナ書面ヲ出シテト云フコトニナリマス、煽動ト云フコト

ノ認定モ許シ得ルト思フデアリマス
○次田大三郎君 此ノ問題ヲ私取上ゲテ論ジマシタノハ、司法次官ハ此ノ席ニオイデニナラナカッタノデ御承知ナイノデアラウト思フデアリマスガ、私有財産制度ノ否認ニ關シテハ、煽動ヲ罰スルト云フ法條ハアリマスガ、宣傳ト云フコトヲ罰スルト云フ法條ハナイ、ソレハドウ云フ譯カト云フコトカラ出發シタノデアリマス、而シテ若シ宣傳ハ煽動ト云フコトデ罰スルコトガ出來ルト云フノデアレバ、遡テ第五條ニ宣傳ト云フ文字ヲ新タニ加ヘラレマシタノハ、ドウ云フ譯カト云フコトヲ伺ハナケレバナラスコトニナルデアリマス、併シ此ノ問題ハモウ此ノ位ニシテ置キマシテ、モウ一點ハ此ノ第一條ニ付テモウ一ツダケ伺ヒマス、ソレハ結社ト云フモノノ意味デアリマス、是ハ抽象的ノ解釋ヲ伺フヨリカ、一ツ實例ニ付テソレヲ結社ト御覽ニナルカドウカ、ナツカドウカト云フコトヲ伺ヒマス、ソレハ例ノ血盟團ト云フモノガアリマス、所謂一人一殺主義デアリマス、即チ財閥、政界ノ名士ヲ一々襲撃シテ歩イタ團結ガアツタノデアリマス、私共ハソレハマアソレガ團體ヲ變革スル結社デハ無論ナイト云フコトヲ承知シテ居リマス、或ハ考ヘヤウニ依ッテハ政體ヲ變革スルコトヲ目的トスル結社デナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角血盟團ト云フモノガ結社デアルト云フコトハ疑ナイト思フ居ルノデアリマスガ、司法當局ハドウ云フ風ニ御考デアリマセウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 結社ノ定義ニ付テハ私今此處デ申シマセヌガ、血盟團ト云フ事例ニ付テ申上ゲマス、アノ當時アノ集團ハ結社ト認メナカッタノデアリマス、結社ト認メル程度ニ至ラナカッタモノデアルト斯ウ認定致シタノデアリマス
○次田大三郎君 ソレハドウ云フ譯カト云フデアリマセウカ、一定ノ期間同志ノ者ガ集ッテ、其ノ中ニハ首領モアリ、使ハレテ居ル人モアリ、其ノ首領ノ指令ニ應ジテ一人一人ガ殺人ヲ犯シテ歩イタ、ソレヲ結社ニ非ズト云フコトハ私共了解シ兼ねルノデアリマスガ、モウ一應御説明ヲ願ヒタイ
○政府委員(三宅正太郎君) 實ハ實際ノ問題デアリマスノデ、ドウ云フ點ヲ結社ト認メタカ、又其ノドウ云フ點ヲ結社ト認メナカッタカト云フ點ニナリマス、私モ實ハ古イコトデアリマシテ、細カイ事實ノコトハ存ジマセヌカラ他ノ政府委員カラ御説明ガ出來レバ御説明ヲサセタイト思ヒマス、又若シソレガ材料ヲ今日持ッテ居リマセヌデシタラ、至急ニ集メマシテ申上ゲタイト思ヒマス
○政府委員(太田耐造君) 只今ノ血盟團デゴザイマスガ、結社ノ定義ハ既ニ御分リノコトト思ヒマスノデ、申上ゲル必要モナイカ知リマセヌガ、只今治安維持法ニ於キマス結社ニ付キマシテハ一定ノ既成概念ガ出來テ居リマシテ、共同目的ヲ持ッタ多數人ノ結合體デナケレバナラス、而モ其ノ結合カハ相當鞏固デアリ永續性ヲ持ッタモノデナケレバナラスト云フヤウニ定義サレテ居ルノデアリマス、血盟團ノ場合ニ於キマシテハ、私モ實ハ只今具體的ノ事情ハ能ク存ジテ居リマセヌガ、サウ云フ風ナ結社ノ定義ニ當嵌ルヤウナ鞏固ナト申シマス、血盟團デゴザイマスカラ相當鞏固ハ鞏固ダツタンダラウト思ヒマスガ、永續性ノ點トカ何

カニ於キマシテ結社ノ程度ニ達シナイト見タノダラウト思フデアリマス、尙右翼團體ノ「テロ」行動ノ問題デゴザイマスガ、多クノ場合ニ於キマシテ右翼ノ「テロ」團體ト申シマスノハ、「テロ」ヲスルコトヲ以テ目的トシテ集ッタト云フヤウニナカ／＼見ニタイノデゴザイマス、多クノ右翼ノモノヲ調べテ見マシテモ、革新ナラ革新、國家改造ナラ國家改造ト云フ目的ヲ持ッテ居リマシテ、出來得ベクシテ通常ノ合法的ノ行動ヲ以テ目的ニ到達シテ行キタイ、サウシテ萬已ムヲ得ナイ時ニ突發的ニ「テロ」ヲ行フト云フヤウナノガ彼等ノ通常ノ考ノヤウデゴザイマス、名前ヲ擧ゲマスレバ、例ヘテ見レバ前田虎雄、本間憲一郎、彼等ハ檢事ノ取調ノ際ニ「テロ」ト彼等ノ思想トノ關係ヲ述ベテ居リマスガ、是ハ本間ノ供述デゴザイマスガ、水ガ流レテ參リマス時ニ、何カ岩ガアツタトスル、ドウシテモソレヲ乗り越エナケレバ前ニ進メナイト云フ場合ニ已ムヲ得ズ其ノ岩ニブツツカッテ、其ノ岩ヲ碎カウトスルヤウナコトガアル、併シサウ云フ風ナ碎カナケレバナラスヤウナモノガナケレバ、「テロ」ナドト云フモノハ起キナイノダト云フコトヲ言ッテ居リマシテ、ソレハ勿論抱懷スル思想ノ根柢ニ萬已ムヲ得ナケレバ「テロ」ヲ行ハウト云フヤウナ考ヘ方ガ潜シテ居ルカラサウナルノダラウトハ思ヒマスガ、サウ云フ「テロ」ヲ目的トシテ結社ヲ組織スルコトカ、團體ヲ結成スルコトカ云フ風ニハ通常ナカ／＼見ニタイノデゴザイマス、血盟團ノ場合ニ於テモ恐ラクサウ云フ點モゴザイマシタノダラウト思ヒマス、尙永續的ノ團體デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、非常ナ疑問ガアツタノ

カニ於キマシテ結社ノ程度ニ達シナイト見タノダラウト思フデアリマス、尙右翼團體ノ「テロ」行動ノ問題デゴザイマスガ、多クノ場合ニ於キマシテ右翼ノ「テロ」團體ト申シマスノハ、「テロ」ヲスルコトヲ以テ目的トシテ集ッタト云フヤウニナカ／＼見ニタイノデゴザイマス、多クノ右翼ノモノヲ調べテ見マシテモ、革新ナラ革新、國家改造ナラ國家改造ト云フ目的ヲ持ッテ居リマシテ、出來得ベクシテ通常ノ合法的ノ行動ヲ以テ目的ニ到達シテ行キタイ、サウシテ萬已ムヲ得ナイ時ニ突發的ニ「テロ」ヲ行フト云フヤウナノガ彼等ノ通常ノ考ノヤウデゴザイマス、名前ヲ擧ゲマスレバ、例ヘテ見レバ前田虎雄、本間憲一郎、彼等ハ檢事ノ取調ノ際ニ「テロ」ト彼等ノ思想トノ關係ヲ述ベテ居リマスガ、是ハ本間ノ供述デゴザイマスガ、水ガ流レテ參リマス時ニ、何カ岩ガアツタトスル、ドウシテモソレヲ乗り越エナケレバ前ニ進メナイト云フ場合ニ已ムヲ得ズ其ノ岩ニブツツカッテ、其ノ岩ヲ碎カウトスルヤウナコトガアル、併シサウ云フ風ナ碎カナケレバナラスヤウナモノガナケレバ、「テロ」ナドト云フモノハ起キナイノダト云フコトヲ言ッテ居リマシテ、ソレハ勿論抱懷スル思想ノ根柢ニ萬已ムヲ得ナケレバ「テロ」ヲ行ハウト云フヤウナ考ヘ方ガ潜シテ居ルカラサウナルノダラウトハ思ヒマスガ、サウ云フ「テロ」ヲ目的トシテ結社ヲ組織スルコトカ、團體ヲ結成スルコトカ云フ風ニハ通常ナカ／＼見ニタイノデゴザイマス、血盟團ノ場合ニ於テモ恐ラクサウ云フ點モゴザイマシタノダラウト思ヒマス、尙永續的ノ團體デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、非常ナ疑問ガアツタノ

デヤナカラウカト存ジテ居リマス

○次田大三郎君 私ハ血盟團ニ關スル判決ヲ讀シテアリマス、私ノ見タ所デハ今御話ニナリマシタ結社ト云フモノノ定義ニ該當スルと思ヒマス、アノ血盟團ハ鞏固ナラザル團體アルトハドウモ言ヘスダラウト思ヒマス、其ノ首領ノ指令ニ應ジテ一身ヲ犧牲ニシテ「テロ」的行動ヲ行フト云フノデアリマスカラ、其ノ團結ガ鞏固ナラザル團體デハ出來ナイコトダト思フノデアリマス、ソレカラ永續性ニ付テノ御話モアリマスガ、併シナガラ一體ドノ位デアッタ永續性ガアルト言ヘルノデアルカ、血盟團ハ若シアレガ捕ラナイデ居リマシタラ、マダマダ長イ期間「テロ」行爲ヲ繰返シタコトデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ右翼ノ方デハ「テロ」其ノモノヲ目的トスルモノハナイ、外ノ方法ニ依ッテ目的ヲ達シヨウトスル、唯「ムラ得」シテ「テロ」行爲ヲ出タト云フ話デアリマスガ、其ノ點ハ左翼デモ同ジダト思ヒマス、左翼ハ團體ヲ變革スルト云フ目的ヲ以テ出發スル、出來レバ「テロ」行爲ヲ行ハナイデソレヲ實行シタイト云フ意思ハ持ッテ居ルケレデモ、ドウシテモ違法ナ行爲ヲ行ハナケレバ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイデソレヲヤル、其ノ點デ以テ右翼ト左翼ノ取締ヲ異ニスル理由ハナイト私ハ思フノデアリマス、私ノ質問ハ第一章ニ關シテハ此ノ位デ止メマス

○子爵岡部長景君 先程御願ヒシテ置イタ質問ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 午前中ノ岡部委員ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、第五條ニ「ゴザイマス」第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ「トス」云フ字句ノ解釋デ「ゴザイマス」ガ、是ハ第一條ニハ即チ「團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ」、第二條ニハ「前條ノ結社ヲ支援スルコトヲ目的トシテ」此ノ「前條ノ結社ヲ支援スルコトヲ目的トシテ」ト云フノハ、即チ「團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ」、結社ヲ支援スルコトヲ目的トシテ、トスウ讀ム譯デアリマス、第三條ハ「第一條ノ結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的トシテ」是ハ即チ「團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ」、結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的トシテ、トスウ讀ム譯デアリマス、何レニ致シマシテモ此ノ三者ノ「目的トシテ」ト云フコトヲ併セテ考ヘマス、第一條ハ團體ヲ變革スルコトヲ直接ノ目的トスルト云フ意味デアリマス、ソレカラシテ第二條ハ其ノ團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ支援スルコトヲ目的トスルデアリマスカラ、即チ間接ニ團體ヲ變革スルコトヲ目的トスルモノデアリマス、第三條モ亦團體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ノ組織ヲ準備スルコトデアリマスカラ、間接ニ矢張り團體ヲ變革スルコトヲ目的トスルモノデアリマス、此ノ點ニ付テハ何レモ之ヲ極ク俗ニ申スト、第五條ノ「第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ」ト云フコトハ、團體ヲ變革スルコトヲ直接又ハ間接ノ目的トシテト、斯ウ云フ風ナ意味ナンデアリマス、詰リ團體ヲ變革スルコトヲ直接ノ目的トスルノガ即チ第一條、團體變革ヲ間接ノ目的トシテト云フノハ即チ第二條、第三條ト、斯ウ云フ意味デ「ゴザイマス」、即チ第五條デハ團體變革ヲ直接又ハ間接ノ目的ヲ主トシテ其ノ目的トシタル事項、即チ團體ヲ變革スルコト又ハ團體ヲ變革スルノ結社ヲ支援スルコト、又組織ヲ準備スルコト、斯

ウ云フコトノ實行ト云フコトニナル譯デアリマスガ、サウ云フ意味ニ此ノ第五條ノ「目的ヲ以テ」ト云フノハ書イタ譯デ「ゴザイマス」

○子爵岡部長景君 一應解釋ハ了承致シマシタ、ソレカラ文部省ノ方ニ對スル御質問ヲ致シマシタガ……

○男爵井田馨楠君 チョット議事進行デスガ、文部省ノ方ヘ是カラ質問ガ入ルノデアリマスガ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) イヤドチラデモ宜シウゴザイマス

○男爵井田馨楠君 ドチラデモ宜シウゴザイマスガ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ハア……

○長岡隆一郎君 第一章、第二章、第三章ヲ終ッテカラ文部省トカ、内務省トカヘ移ッタ方ガ宜クハアリマセヌカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデモ宜シウゴザイマス、第一章ニ關係シテナラ……

○長岡隆一郎君 ソレナラバ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 多少ノ關係ガアルコトデ「ゴザイマス」レバ……

○子爵岡部長景君 私ハサウ云フ意味ニ於テ先程御質問シタノデアリマスガ……

○政府委員(藤野惠君) 午前中ノ岡部サンノ御質問ハ、教育者ノ中デ法ニ背反スルガ如キ事態ガアツタ場合、從來兎角官吏トシテノ責任ヲ明カニスルト云フ點ニ於テ缺クル所ガアツタ、政府ハドウ云フ風ニ之ヲ處置シテ參ルカ、斯様ナ御趣意ト承リマシタ、御述ノ「ゴザイマシタ點ハ誠ニ肝要ナ點デアルト考ヘテ居リマシテ、唯教育關係ニ於キマスル事案ハ、勿論色々性質ヲ持ツ

コトニ相成リマスガ、特ニ學說思想等ニ關シマスルモノ等ニ於キマシテハ、相當之ガ判定ニ困難ヲ感ズル場合ガアルノデ「ゴザイマシテ」、起訴ニ相成リマスレバ、御承知ノ通りニ一應休職ト相成ル譯デ「ゴザイマス」ガ、其ノ間ニ於テ之ガ責任ヲ確定スベキ十分ノ根據ヲ確メルト云フ點ニ、相當實ハ困難ヲ感ジテ居リマス、併シナガラ御述ニナリマシタ點ハ非常ニ大切ナ事柄デ「ゴザイマス」ノ意ト、サウシテ考究トシ盡シマシテ、事案ノ輕重、性質ヲ十分ニ考ヘマシテ、御示ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、實ハ最近ニ於キマシテモ、或法ニ觸レマシタル教授ニ付キマシテハ、法ノ適用關係ニ於キマシテハ、寧ろ無罪ト云フ關係ニ相成リマシタガ、教育關係上ノ立場ニ於キマシテ、適當ナル措置ヲ講ジタト云フ事例モ「ゴザイマス」、今後ハ左様ナ心持ヲ持チマシテ、御示ノ點ヲ十分ニ監督ヲ致スヤウニ努力ヲ致ス積リデ居リマス

○子爵岡部長景君 サウ致シマス第五條ノ適用ハ、サウ云フヤウナ場合ニモ或ハ不穩ナル著書學說等ヲ流布シタル者ヘ、矢張り第五條ノ適用ヲ受ケルヤウニモナル譯デ「ゴザイマセウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 私ナドノ見解ト致シマシテハ、不穩ナル學說ヲ公ニ致シマシテ、サウシテソレヲ他人ニ傳播スルト云フコトニナリマスレバ、是レ即チ傳播デアリマスカラ、宣傳ニ入ルコトニナルト思ヒマス

○子爵岡部長景君 ソレ程重大ナ問題デアレバ、其ノ人ノ學說ノ如何ニ拘ラズ、或ハ學說ヲ學問的ニ、學究的ニ十分闡明シテ、初メテ處置ヲ講ズルト云フヤウナコトデナ

ク、寧ロサウ云フ疑ハシイ教授等ハ、之ヲ罷メルト云フノガ相當ノコトデハナイデセウカ、法律ノ適用ト學校教育ノ方針ト云フコトトハ、餘程其處ニ距離ガアル問題デゴザイマスルカ、法律ノ適用ノ問題ト同ジヤウナ風ニ學校教授ノ監督ニ當ルト云フヤウナコトデハ、餘程危險ガ植付ケラレルノデヤナイカ、例ノ天皇機關說ノ如キハ、長イ間放置シテアツタガ爲ニ、害毒ヲ世ノ中ニ流シタ、愈、害毒ガ極端ニナツデ、其ノ結果ガ斯ウ云フヤウナ法律ニ觸レル者ガ續々出テ來タカラ、本ニ觸レテソレヲ處理スルト云フヤウナコトニナツタ譯デゴザイマスガ、ア、云フコトヲヤルト云フコトハ、此ノ法律ノ制定ノ趣旨ニ反スルノデハナカラウカ、モット大學其ノ他ノ教授ノ教育ノ根本理念ト言ヒマスカ、學說ノ根本カラ檢討シテ、適當ニ所謂刷新ト言ヒマスガ、サウスルコトガ、矢張り其ノ他ノ教育方面ト相關聯シテ必要デハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、餘リニ法律ノ適用ト云フコトニ囚ハレテ居リハシナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(三宅正太郎君) マア法律ノ點ト、法律以外ノ點トニ付テ極ク區別シテ御質問ニナリマシタ、デ先程申上ゲマシタヤウニ、大學教授ガ不逞ナ學說ヲ宣傳スルト云フコトハ、ソレハ第五條ニゴザイマスノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、國體ノ變革ノ目的ヲ以テ直接若シクハ間接ニ國體變革ノ目的ヲ以テシタ場合ニ處罰サレルノデアリマスカラ、サウ云フ程度ニナリマシタ場合ニ於テハ、法律ガ發動スルノハ當然デアリマス、サウ云フ目的ヲ以テ……併シサウ云フ目的ガ認定セラレナイ部分、即チ唯サ

ウ云フ目的デナク、不逞ナ學說ヲ宣傳シタト云フ場合ニ付テハ、此ノ第五條デハ參リマセヌカラ、恐ラクサウ云フ場合ニハ參リマセヌガ、併シサウ云フ場合ニハ大學教育當局ニ於テ、此ノ點ニ付テノ處置ヲ爲サルノハ當然ナコトダト私ハ考ヘテ居リマス

○政府委員(藤野憲君) 只今第五條ヲ適用シナイ教育上ノ立場カラ、學說等ニ付テ疑ハシキモノデアル場合ニハ、宜シク相當ノ處置ヲ講ズベキデナイカト御意見デゴザイマスルガ、其ノ點ハ誠ニ私共モ御同感ヲ申上ゲテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○男爵井田磐楠君 只今私ハ第一章ノコトニ付キマシテ、全般的ノ御尋ラシタイノデアリマスガ、今學問ト宣傳ト云フコトノ質疑ガ、岡部委員ト當局ト交ハサレマシタカラ、其ノコトカラ先ヅ御尋ラシテ見タイ、學說ガ宣傳ニナルノデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、私ハ餘リ簡單デシタガ、學問上ノコトガデスナ、ソレハ宣傳ト云フヤウナコトデ御取締リニナレルモノデアルカドウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 唯、學說ガ茲ニアルト云フコトデハゴザイマセヌデ、學說ノ宣傳トナリマスノハ、宣傳ト申シマスノハ、一定ノ事項ヲ不特定又ハ多數人ニ說明シ、且之ニ懇ヘテ、其ノ理解ト共鳴トヲ求ムルノ行爲ナンデアリマス、理解ト共鳴ヲ求ムルト云フ内容ガ其處ニゴザイマスレバ、ソレガ宣傳ニナリマス、唯學說ガアツテ、唯自分ノ書齋ニ唯其ノ學說ヲ書イテ置

イテ、藏ツテ置クト云フコトデハ、是ハ宣傳ニハナラスコトハ勿論ノコトデアリマス

○男爵井田磐楠君 サウシマスルト、此ノ學校ノ講義ハ、所謂多數人ニ共鳴ヲ求メル譯デ、共鳴ヲ求メテナイヤウナ學說ナラヤラス方ガ宜イノデ、ドウモ其ノ教授ノ學說ト云フモノハ、此ノ點ニ於テ私ハ矢張り宣傳ト云ツタヤウナコトニ大體入レルノデハナイカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 多クノ場合ニ宣傳ト認メラレルコトハゴザイマセウト思ヒマス、併シナガラ先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ五條ニ當リマスノハ、即チ國體變革ノ目的ガナケレバイケマセヌ

○男爵井田磐楠君 ソコデ私ハ一般論ニ入リマシテ、又モウ少シ其ノ問題ニ付テ伺ツテ見タイト思ヒマス、本來此ノ治安維持法ノ出來タノハ、過激法ト云フモノカラ段々發展シテ斯ウナツタ、今日改正サレタ治安維持法ヲ拜見致シマスルト、當初ノ治安維持法ト違ヒマシテ、本質ガ餘程變革サレテ參ツテ來テ居ル、ソレデ今後モ斯ウ云フヤウナ情勢カラ見ルト……治安維持法ト云フモノハ、本體ハ國體ト云ツタヤウナモノヲ基準ニシテ作ラレタ法律ト思ヒマス、以前ハ社會主義トカ、共產主義トカ云フヤウナモノヲ對象ニシテ出テ來タ法律デアッタノガ、今日ハサウデナクナツテ來テ居ル、ソレデ今後社會情勢ノ變化ニ應ジテ治安維持法モ餘程サウ云ツタヤウナ意味合ニ變化サレル御見込ガアルノデアリマスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 御言葉ノ通り治安維持法ノ初メテ出來マシタ時ニハ、無政府主義、共產主義、此ノ二ツヲ目的ト致シタノデアリマシテ、國體變革トカ云フヤ

ウナ言葉モ、私有財産制度ト云フヤウナ言葉モ恐ラク立法者ハ今トハ違ツタ考デ制定シタモノト思フノデアリマス、ソレガ段々對象物ト云フモノニ變化ヲ來タシマシタ關係上、ソレニ應ジテ法律ガ適用サレテ參リマシタ、其ノ適用ノ範圍ガ段々擴マツテ參リマスノハ、只今御言葉ニアリマス通り、其ノ國體ト云フモノヲ擁護シ、國家ノ基本タル秩序ヲ維持シヨウト云フコトニ重點ヲ置カラデアアルノデアリマス、今日ハ是ハ斯ウ云フヤウニ御評議ヲ願ヒマスヤウニ、色々ニ例ヘバ支援結社ガ出來マシタリ、外廓團體ガ出マシタリ、或ハ共產黨ノ再建運動ガ起ツタリ致シマスルノデ、其ノ目的ニ應ジテ改正ヲ致シテ御審議ヲ願ツタノデアリマスガ、今後國體或ハ之ヲ繞ル所ノ國家ノ基本ヲ搖ガスヤウナ、サウ云フ不逞ノ思想運動等ニ對シテノ新シキ形式ガ又出來マスレバ、之ニ應ジテ治安維持法ガ改正サレテ行クノハ當然ダト思ヒマス、又サウ致シタイト思ツテ居リマス

○男爵井田磐楠君 サウ致シマスルト、治安維持法ハ常ニ矢張り國體變革ト云フコトヲ主體ニシテ、今後モ變改ヲナサレル時ニハソレヲ主トシテナサレル意味ノ法案デゴザイマセウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 治安維持法ハ其ノ主タル所ハ、矢張り國體變革ヲ先ヅ眞向ニ振翳シマシテ、サウシテソレニ準ジテ取締ルモノヲ漸次加ヘテ行ク、斯ウ云フヤウナコトニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵井田磐楠君 今回ノ第一章ノ變革ノ中ニハ、國體ト私有財産ヲ別個ニ分ケテナツテ居リマス、此ノ私有財産ノ問題ニ付キマシテハ先般來色々御議論モアリマシタ

通り、國體變革デナイ立場ノ私有財産變革モアルノデアリマス、今後之ニ對スル運動ハ色々ナ角度カラ斯ウ云フ問題ガ論ジラレルト思フノデアリマスガ、サウスルト、此ノ私有財産ニ關スル限リニ於キマシテハ此ノ條項ハ治安維持法カラ離レテ行クヤウナ傾向ガ段々多イヤウニ思ハレルノデアリマスカ、サウスルトニ對スル御見透シハ如何デアリマスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 將來ノ見透シノコトデゴザイマスカラ一概ニ申セナイコトハ勿論デゴザイマスガ、御承知ノ通り最初ニ此ノ治安維持法ノ出來マシタ時ニ於テ立法者ノ考ヘマシタコトハ、私有財産制度ヲ否認スルト云フ、サウスルト結社ガ實際ニ於テ多クテ、國體變革ヲ目的トスル結社ハ少イデアラウト云フヤウナ見込ノ下ニ拵ラヘタモノデアリマス、處ガ日本共產黨ノ目的トスル所ガ私共カラ見マスト實ニ驚クベキコトデアリマシテ、國體變革ト云フ方面ニ、所謂君主制ノ廢止ト云フヤウナ不逞ノ方面ニ向ッテ參リマシテ、從ッテ其ノ共產黨ヲ防遏致シマス法律ハ即チ國體ヲ護ルト云フコトニ集中サレテシマヒマシテ、實ハ私有財産制度ノ方ハドチラカト云フト其ノ點ハ謂ハバ第二義ノ問題ニナッテシマッタノデアリマス、併シナガラ當初ニ考ヘマシタ私有財産制度ノ否認ト云フコトハ、矢張りハ國體變革ト云フ問題ト……現ニ日本共產黨ガ之ノ方ニ發展シテ「スローガン」ト致シマシタ關係モ之ニアルト存ジマスガ、何處迄モ矢張り私有財産制度否認ト國體變革トハ相竝ンデ……ト申シマスガ、ソレニ準ジテ矢張り國家ノ基本的ノ秩序ヲ紊ス一ツノ主張ニナルト思フノデアリマシテ、此ノ私有財産

產制度ヲ治安維持法カラ外ニ出スト云フヤウナ考ハ只今デハナイノデアリマス

○男爵井田馨楠君 治安維持法ト云フモノハ量刑ノ輕重ト云ツヤウナ意味合ヲ以テ一般刑法カラ分離シテ來タ、重イ刑ヲ科スル爲ニト云フヤウナ意味ヲ先程刑事局長カラ御話ガアツタヤウニ記憶致シテ居リマスカ、ソレモサウスルト思ヒマスケレドモ、同ジ刑ノ量定デアツテモ、私ハ治安維持法ニ依ッテ處斷サレタト云フ刑ノ本質ガ是ハ極メテ重大性ヲ持ッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ私ハ、他ノ法律ニ依ッテ處斷サレタ時ニハ或ハモツト重クナルカモ知レナイケレドモ、治安維持法ニ依ッテ爲ニ輕クナツタト云フ、假ニサウスルトコトヲ考ヘマシテモ、此ノ治安維持法ニ依リ刑ノ裁キヲ受ケタト云フコトガ、量刑ノ如何ニ拘ラズ非常ニ大キイモダト、私ハ寧ロサウスルト假定ヲ置イテ迄、此ノ治安維持法ト云フモノニ付テノ處斷ニ重キヲ置イデ考ヘテ居ル次第デアリマス、然ル處今同ノ國防保安法案デアリマスガ、此ノ中ニ治安維持法ニ關聯シタ罪ヲ犯シタ者ガ國防保安法ノ方ニ引掛ルト、ソチラノ方ノ法律ニ依ッテ處斷サレナケレバナラヌ、ト云ツヤウニナッテ居ルノハ、是ハドウモ治安維持法ノ立場カラ言フト私ハ不満足ニ思フノデアリマス、治安維持法デ處斷サルベキ者ガ國防保安法デ處斷サレルヤウニ私ハ思フノデアリマスガ、是ハサウスルトモデナイト思ヒマス、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(三宅正太郎君) サウスルトハナイノデゴザイマス、治安維持法ノ犯罪デモ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ致シマシタ場合ハ、即チ國防保安法ニ書イテアル其ノ部分ハ、國防保安法ニ書イテアル手續ニ依ッテ處斷スルト云フダケデアリマシテ、矢張りアノ罪ハ治安維持法違反ノ罪デアリマシテ、決シテ國防保安法違反ノ罪デハナイノデアリマス、唯治安維持法ノ中ノ或部分ダケヲ手續ヲ國防保安法ノ手續ニ依ラシメタト云フダケデアリマシテ、罪質ハ少シモ變リゴザイマセヌ

○男爵井田馨楠君 サウスルト、分リマシタ、先程來ノ段々御議論ノ中ニ政府委員ノ方ノ御説明ニモ結社外ノ者ヲ處分スルコトガ洩レテ居ルヤウナ、洩レテ居ルト云フヤウナ御言葉ガアツタノデアリマスガ、必ズシモ結社外ノ者ハ此ノ法案デ處斷ガ出來ナイト云フ譯デハナイノデアリマスガ、大體ガ是ハ結社ノ關係ノ人ヲ處分スルヤウニ大體構成ガ出來テ居ルヤウニ思ッテ居リマス、然ル所最近ノ此ノ日本ノ共產黨ノ傾向ヲ見マスルト云フト、ソレハ最近色々再建組織等モアルヤウデアリマスガ、大體ニ於テ大キナ動キトシテ最早是ガ結社ニ入ラスデモ相當個人ノ動キニ依ッテ日本ガ動カサレルヤウナ情勢ニアルト私ハ認メテ居ルノデアリマス、此處ニ非常ナ私ハ危險性ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是ハドチラカト云フト、文部省ノ關係ニナルノデアリマスガ、餘リ從來文部省ガ斯ウ云フ學問ニ付テ冷淡デアツタ、只今ノ御話ヲ承ッテ居ッテモ、ドウモ處斷ガ文部省ガ出來ナイト云フヤウナ御返事、是ハ私ハ文部省關係ニ付テハモウ一應御意見ヲ聽イテ見ナケレバ腹ノ蟲ガ納マラスノデアリマスケレドモ、分ラヌ、今ノ文部省ノ御返事デハ……ソコデ其ノ原因ハ結局此ノ學問ト圖書ト問題ニナルノデアリマスガ、ソコデ此ノ轉向ト云フモノガアリマス、一體轉向ト云フモノハ社會ニ今日流レテ居ル力ハ大キナモノデアアル、各方面ニ對シテ……是ハ政府ニ迄影響シテ居ル、轉向者ノ力ト云フモノガ……ソコデ此ノ轉向ト云フモノハ一體ドウ云フ意味ニ御判定ニナッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ轉向者ト一概ニ申シマシテモ、其ノ段階ハ非常ニ澤山デゴザイマスノデ、私共ハ決シテ轉向者ト言ッテモ、一概ニ之ヲ總テ同ジ様ニ取扱ッテ居リマセヌノデス、大體轉向者ヲ(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)ト云フ風ニ致シマシテ、其ノ中(イ)(ロ)(ハ)ト云フモノヲ轉向者ト言ヒ、(ニ)(ホ)ニ當ル者ヲ準轉向者ト言ヒ、ソレダケヲ轉向者ト云フ部類ニ入レテ居リマス、速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ……
(速記中止)
○委員長(伯兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ下サイ
○男爵井田馨楠君 サウスルト、是ハ結局其ノ人ノ社會ヘ出テカラノ行動ガ之ヲ立證スルト云フ譯デアルト云フコトハ勿論デアリマスルガ、(ロ)ノ轉向、所謂誓ツタコトハ誓ツタガ、合法社會ヘ出テ尙御奉公ヲスル、斯ウ云フ場合ノ人ガ良イ方ニ入ッテ居ルヤウニ思フ、私頗ル危險ニ感ズルノハ此ノ場面ナシマスガ、ソレヲ何カ尙立證スル點ハナイノデアリマスガ、俺ハ合法社會ヘ出テヤルノダ、革命ハ放棄シタ、併シ合法社會ヘ出テヤルノダ、其ノ放棄シタト云フ點ガ一體何デ認メルカ、モウ一ツ先ヲ

御願ヒシタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 放棄シタト云

フコトハ其ノ放棄シタコトニ付テノ動機モ矢張り其ノ轉向ニ付テハ重要ナ要素ト考ヘテ居リマス、ソコデ其ノ動機ニ付テ、是ハ一、二、三、四、五、六トゴザイマスガ、其ノ轉向ニ對スル動機トシテハ第一ニ信仰ニ依ッテ改悛シタ者、二ハ近親愛、近イ父トカ母トカ兄弟トカ、近親ノ愛、其ノ他家庭ノ關係カラ轉向ノ動機ヲナシタ、ソレカラ三、共產主義理論ノ清算、共產主義ノ理論ガ全クイケナイト思フコトカラ轉向ヲナシタ、四ハ國民的自覺、五ハ性格、健康等自分ノ身上ノ關係、ソレカラ六ハ拘禁セラレタコトニ依ル後悔、拘禁セラレタト云フコトニ付テノ後悔ヲ感ジタト云フノガアル、ソレカラ其ノ他色々ゴザイマセウガ、大體今申スヤウナコトデ其ノ轉向ノ動機ガアリマスガ、其ノ轉向ノ動機モ考慮ニ入レテ考ヘテ居ル譯デアリマス

○男爵井田馨楠君 之ヲ更ニ何カ學問ノ上デ御認定ニナル方法ハナイノデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 是ハ保護觀察所ニ付シマスカラ、轉向者ハ保護觀察所ニ於テ其ノ者ニ接シマシテ種々其ノ人間ノ性質、轉向ノ動機、又其ノ後ノ模様ト云フモノヲ觀察致シマスノデ、ソレ等ノ材料ガ集リマスレバ、一種ノ是ハ學問的ナ結論ガ得ラレルト思フテ居リマス

○男爵井田馨楠君 私人御尋ネシマスルノハ、本人ノ著書ノ上カラ之ヲ見ル方法ハナイデアリマセウカト云フ御尋ノ意味デアリマス、例ヘバ先般佐野學ガ轉向シタト云フコトヲ云ッテ、又轉向シタ、轉向ヲ一遍ヤ

レバ又元ヘ百八十度還ルノデアリマス、二遍轉向シタト云フコトガ傳ヘラレテ居ルノデアリマスガ、サウスルト、最初ノ轉向ト云フモノハ本當ノ轉向デナカッタコトニナル、詰リ九十度ノ轉向デアッタ、今日本當ニ轉向シテ居ルナラバ、是ハ百八十度ノ轉向デアリマスガ、四十五度ノ轉向デアルカ、九十度デアルカ其ノ邊デスナ、學問上ノ意味ノ判定、何カ是ハ方法ガナイノデアリマスカ

○政府委員(太田耐三君) 轉向ノ問題モ實

ハ昭和八年ノ七月ニ佐野、鍋山ガ轉向致シマシテカラ今日迄ニ、日本ノ社會狀勢ニ應ジマシテ、ト申シマス日本ニ於キマスル國體明徴運動ノ進展ニ伴ヒマシテ、轉向ト稱セラレルモノノ内容モ亦實質的ニ變化ヲシテ、段々深クナッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ佐野、鍋山ノ轉向致シマシタ當時ニ於キマシテハ、此ノ前モチヨット申上ゲタコトデゴザイマスガ、マダ階級闘爭主義ヲ捨テテ居リマセスデ、唯「コミンテルン」ト手ヲ切ッテ、國內ニ於テ階級闘爭的ノ立場カラ彼等ノ經濟的ナ理想社會ヲ作ルト云フコトヲ主張シテ居ッタガケナシデアリマシテ、「コミンテルン」ト手ヲ切ッタト云フ點ガケガ轉向ダッタノデアリマス

併シナガラ當時ニ於キマシテハ、其ノ程度ヲ以テシマシテモ尙且相當ノ轉向ト云フ風ニ社會モ見マシタシ、又或ル程度サウ云フ風ナ取扱ヲ致シタノデゴザイマス、併シソレハ今日カラ見マスルト、非常ニ不十分ナ轉向ナノデゴザイマシテ、今日ニ於キマシテハ、其ノ程度ハモウ既ニ轉向ノ域ニ達シテ居ラナイト私共ハ觀察ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、佐野、鍋山ハ最近ニ於キマシ

テ更ニ心境ガ漸ク變テ參リマシタト云ヒマスノハ、其ノ當時ニ於キマスル轉向狀態カラ更ニ深クナリマシテ、今日ニ於キマシテハ、モウ一切ノ階級主義ヲ捨テマシテ、更ニ又經濟的ナ方面ニ於キマスル革命思想モ拋棄致シマシテ、純然タル日本人ニ立還ッタ日本人タル自負ヲ得ルニ至ッタト云フ程度ノ轉向ニ達シタコトヲ指スノデアリマス、ソレデ先般著書等ブドウ見ルカト云フ御話ガアッタノデアリマスガ要スルニ此ノ轉向ト申シマスノハ、國體變革ノ思想及私有財産制度否認ノ思想ヲ完全ニ拋棄スルト云フコトガ、一面轉向ノ内容ナシデゴザイマスガ、他ノ一面カラ申シマス、サウ云フ不逞ナ行動ニ出マス者ノ特有ノ一ツノ人間的ナ性格ト申シマス、「タイプ」ガアルノデゴザイマス、政治的ナ社會的ナ活動ヲ非常ニ好ムト云フ性癖ガゴザイマスノト、モウ一ツハ、上司ト言ヒマス、下剋上的ナ氣分ヲ非常ニ持ッテ居ルノデゴザイマス、ソコデ現在ニ於キマシテハ、其ノ思想ノ内容ガ單ニ國體變革思想ヲ拋棄シタニ止マラズ、更ニ又私有財産制度ノ否認ニ關スル思想ヲ拋棄シタニ止マラズ、更ニ個人的ナ日常生活ニ於キマシテモ、政治的ナ社會的ナ活動ニ偏スルト云フヤウナコトガ、或ハ又非常ニ思ヒ上ッタ態度ヲ取ルトカ、禮儀ヲ知ラス……所謂轉向者ガ禮儀ヲ知ラスト云フノハソレダト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ個人的ナ性格マデ改善サレナケレバ、今日ニ於キマシテハ完全ナ轉向トハナカノ言ヒ難イノデゴザイマシテ、要シマスルニ、本當ノ日本人タル自覺ヲ生ジタ時ニ、轉向ニ至ッタト、大體今日ハ認メテ居ルノデゴザイマス

○男爵井田馨楠君 ソコデ、内務省ノ方ハオイデゴザイマスガ、出版ノ方カラ見タ、轉向者アタリノ著書ニ付キマシテ、出版取締ノ上カラ御覽ニナリマシタ御意見ヲ伺ッデミタイ、必ズシモ轉向トハ申シマセス、必ズシモ轉向デナクテ宜シイ、一般ニサウ云フヤウナ思想……

○政府委員(橋本清吉君) 勿論出版物モ轉

向シタコトヲ、トスル一ツノ資料ニナルト存ジテ居リマス、午前中ニモ申上ゲマシタ通り、出版物ノ取締ノ重點ト申シマスルカ、要點ハ、私共ト致シマシテハ、ソレガ國家ノ安寧秩序ヲ紊亂スルカドウカト云フコトヲ、要點ニ致シテ居ルノデゴザイマシテ、勿論其ノ重點ニ關聯致シマシテ、轉向シテ居ルカドウカト云フコトモ亦ヨリ検討シナケレバナラナイノデゴザイマス、從ヒマシテ普通ノ者ノ出版致シマシタモノヨリモ、轉向者デアアルカドウカト云フ線上ニアリマスルノ出版致シマシタモノニ付キマシテハ、特ニ其ノ點ニ十二分ノ注意ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウナ線上ノ人物ノ出版致シマシタヤウナモノデ、特ニ目下ノ所問題ニナッテ居ルヤウナモノハナイヤウニ存ジテ居リマス

○男爵井田馨楠君 今日ノ場合ハ、私ハ結社ノ問題ヨリハ、合法學說ニ依ル所ノ所謂宣傳ト言ヒマスルカ、サウ云フヤウナ文獻ガ著シク、社會、政治、經濟ノ上ニ影響スルコトガ非常ニ多イト思フテ居ル、是ハ私ハ今日日本ニ於テハ一番危險ダト思フ、デ、此ノコトデ色々伺ヒタイ點ハ非常ニ多イノデアリマスケレドモ、色々ナ例ニ依リ、又學問上ノコトニ付テ……今日ハ少シク時間ガナイヤウデゴザイマスカラ、ソコ

ヲ十分御尋ネスルコトモ出来ヌヤウニ思ヒマスガ、組織のナラヌモノニシテ相賞、學問トハ言ヒマセヌガ、是ガ少ナカラズ若イ者ヲ動カシテ居ル問題ガアルト思ヒマス、ソレハ寧ロ文部省方面ニナルカモ知レマセヌガ、所謂言説ト申シマスルカ、組織ニハナッテ居ラスガ、色々ナ言説デス、是ガ何處カ往來等ニ貼ラレルト、何ト言ヒマスカ、矢張り宣傳ニナルト思フノデアリマスガ、是ハ教授アタリガ例ヘバ化學ノ先生ガ講義最中ニ、試験管ヲ振ッテ居テ、試験管ガ百度ニ熱シタ時ニ、是ハ資本主義ノ頹廢狀態ダ、是ガ冷却シテ零度ニナツタ時ニ、是ハ「プロレタリア」ノ冷イ狀態ダト、斯ウ云ツタヤウナコトヲ言ツタリ、或ハ毒「ガス」ガ出來ルト云フト、是ハ人類ヲ害スル帝國主義的ナ毒「ガス」デアル、是ハ彼ノ「ナチ」ノ「ヒットラー」ノ毒「ガス」デアルト云ツタヤウナコトヲ、合ノ手ニ講義ノ中ニ入レテ行クノガアル、是ハ例ガ澤山アル、是ハ現ニ私ハ名前ガ分ッテ居ル、澤山文獻ヲ持ッテ居リマス、實ハ私ハサウ云フ文獻ヲ、此ノ學校ニ斯ウ云フノガアル、此ノ學校ニ斯ウ云フノガアルト云フコトヲ、今日一々指摘シ得ラレルノデアリマス、是ハ高等學校ニ甚ダ多イ、經濟學者ノミデヤナイ、私ハ名前ハ預ッテ置キマセウ、併シチヨット一例ニ言ハシテ戴キタイ、漢字ノ先生ニモアル、少シ話ハ長クナリマシテ恐縮デアリマスケレドモ、學生ニ、小學校カラ大學迄國體ヲ敬ヘ敬ヘト教エテ居リナガラ、一向ニ皆ガ眞劍ニナラナイノハ、國體ニ缺陷ガアルカラデアアル、デアアルカラ當面ノ問題トシテ、皆ヲ眞劍ニサセルニハ「アメリカ」ト戰爭スルコトデアアル、是ハ漢文ノ先生、ソレカラ同ジ

先生、現代ノ教授ハ自由主義時代ノ教育ヲ受ケテ居ルト云ッテソレヲ排撃スルナラバ、諸君ノ父兄モ矢張り同ジ主義ノ教育ヲ受ケテ居ルノダカラ、親子ノ縁ヲ切ルノガ當然デヤナイカ、ソレカラ第三、矢張り同教授、學校ガ惡カッタラ學校ヲ出テ仕舞ヘ、寮ガ惡カッタラ寮ヲ燃シテ仕舞ヘ、統制經濟方面倒デアアルカラ、財産ヲ全部沒收シテ共通ニ分配スルガ宣イ、戰爭ハ先ニ始メテ、口實ハアトカラ付ケラレル、私ガ支那人ナラ、日本人ノヤリ方ニ不滿ヲ持チマスネ、是ハ餘リニナンデスカラ學校ノ名譽ノ爲ニ、個人ノ名譽デハナイ學校ノ名譽ノ爲ニ、私ハ預カッテ置キマス、斯ウ云フ文獻ガザラニアル、高等學校ニ……、ソレデ私ハ話ガ文部省ノ方ニ參リマシタケレドモ、ソコデ言説ト云フモノノ取締リ、是ハ文部省ハアトシテ戴キマシテ、斯様ナ言説ノハ例デアリマス、文部省ニ申上ゲルノデハナイ、言説ノ例、文部省ハ文部省トシテ、アトデモウ一遍此ノ問題ハヤリ直シマス、御氣ノ毒デアリマスケレドモ、國家ノ爲ガカラ仕樣ガナイ、ソレデ斯ウ云フ言説ヲ一體內務省ノ方トシテ、或ハ司法省ノ方トシテ、ソレハ當然ニ斯ウ云フモノハ、文部省デ何トカ始末シテ貰ハナケレバ困ル、サウ云フモノハ責任ガ負ヘヌト云フヤウナコトデハ實際困ル、何時迄ソナコトヲ教授ニヤラセテ置クノカ、斯ウ云フ所カラヤッテ行カナケレバ、治安維持法コンナモノヲ作ッテ役ニ立タナイ、私ハ此ノ治安維持法ニハ全面的ニ賛成デアリマシテ、之ヲ否定ドコロデハナイ大賛成デ、マダ「鈍イヤウニ思ッテ居ル位ナノデアリマスカラ、デアリマスルガ此ノ根本ハサウ云フ言説デ

アリマス、是ハ文部省トシテモ、言説ハ輕ク見テ貰ヒタクナイ、官學ノ先生ニソレガアル、是ハ例ガ澤山アリマス、ソコデ司法省ナリ文部省ニ對シテ、此處ニ宣傳トカ流布トカ云フヤウナモノガアリマスガ、斯ウ云フ言説ハ一體宣傳ニナルノデアリマスカ、ナラヌノデアリマスカ、ソレヲ司法省ニ伺ヒタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 治安維持法ト致シマシテハ目的ヲ必要ト致シマスノデ、國體變革ノ目的デ、サウ云フコトヲ煽動若シクハ宣傳致シマスレバ處罰致サレマスガ、ザウデナク、唯其ノ言説ヲ述ベタト云フダケデハ、其ノ目的ナシニ唯述ベタト云フダケデハ、此ノ治安維持法ヲ以テ律スルコトハ出來ナイノデ、文書デ致シマシタ場合ニ於テハ、御承知ノ通り新聞紙法、出版法ノ制裁ヲ受ケマスガ、唯言説ヲ致シタト云フダケデハ只今ノ處、處罰スルト云フコトハ出來マセヌガ、併シナガラ恐ラク教育當局ノ方デ、ソレニ對スル適當ナ處置ヲナサルコトト信ジテ居リマス

○男爵井田磐楠君 今ノハ一例デアリマシタガ、ドウモ今ノヤウナ人ハズット、是モイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、迄例ガ舉ッテ居ルノデアリマス、又澤山個人トシテ、斯ウ云フモノヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、少クトモ斯ウ云ツタ人ハ、財産ヲ全部沒收シテ共通ニ分配スルガ宜イト云フヤウナ、此ノコトカラ見テモ、是ハ共產主義ノ漢文ノ先生、是ハ相當ナモノダト思ヒマス、國體ニ缺陷ガアルノダナント云フコトモ言ッテ居ルノデ、國體ニ缺陷ガアルト云フ言葉ハ妙ナ言葉ノ遣ヒ方デアリマスガ、或ル意味ニ於テ國體否認ノ形ガアルト思フ、斯様ナ言

説ハ是ハ矢張り治安維持ノ方面ノ對象物ダト思フノデアリマスガ、サウスレバ是ハ宣傳ニナルノデアリマスガ、煽動ニナルノデアリマスガ、斯ウ云フ言説ハ……

○政府委員(三宅正太郎君) 國體變革ノ目的ヲ持ッテ居リマスレバ、或ル場合ハ煽動ニモナリマセウ、或ル場合ニハ宣傳ニモナリマセウ、唯繰返シテ申上ゲテ置キマスヤウニ、國體變革ノ目的ヲ以テ爲サレタモノデナイ場合ニ於テハ、ソレニ對シテハ今度刑法ノ改正案ニ於キマシテハ、人心惑亂スル目的ヲ以テ虛偽ノ事實ヲ流布シタル者ト云フ規定ガゴザイマス、若シ此ノ刑法ノ改正案ガ成立致シマスレバ、ソレガ所謂虛偽ノ事項ヲ流布シテ、サウシテ人心惑亂ノ目的ヲ以テセラレタ虛偽ノ事實ノ流布ニ當ル場合モアラウト思ヒマス

○男爵井田磐楠君 マア此ノ邊デ一應打切ッテ置キマス

○山隈康君 十條ノ私有財産制度ニ對シマシテ、次田委員ノ質問ニ關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス、同委員ノ質問ニ對スル政府トシテノ御答辯中、財産ノ國有論若ハ財産奉還論ノ如キモノハ、今次ノ戰爭ニ對シテ總テヲ學ゲテ國家ニ奉仕スル其ノ誠意ノ現レデアアルカラ、別ニ處罰スル必要ハナイ、斯ウ云フ意味ノ御説明ノヤウニ拜聽シタノデアリマス、然ルニ現在ノ世相ハ、先般モ申述ベタル如ク經濟統制ノ行過ギ、或ハ配給機關其ノ他ノ當ヲ得ナイ爲ニ、段々物資ハ缺乏シ、生活ニハ重壓ヲ感ズル、國民ノ中ニハ何カ新ナ社會ヲ求メタイ、斯ウ云フ際ニ於キマシテ、假令言説ヲスル者ノ精神ハ立派デアツテモ、サウ云フ民衆ニ對シテ財産奉還論トカ、或ハ國有論ト云フコトヲ

主張致シマスレバ、國民ニ大イナル「ショック」ヲ支ヘテ、思想ノ紛亂ヲ來ス危險ガ多分ニアル、現ニサウ云フ演說ニ接シマシテ小作人ガ小作料ヲ拂ハナイ、ドウセ國有ニナルカラ我々ハ小作料ヲ拂フ必要ハナイ、之ニ類スル事ガ相當地方ニアル、ソレデ假令精神ハ如何ニ立派デアッテモ其ノ手段ガ人心ヲ攪亂スルヤウナ手段デアレバ、私ハ許スベキコトデハナイト思フノデアリマス、治安維持法ニ依ッテ處罰ラセヌデモ、

ノ私有權ノ否認ヲ目的トシタ場合ニ於テハ同ジク本法ニ依ッテ處罰サレル、斯ウ云フ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、是ガ能ク了承致シマシタ、然ルニ一部ノ財産私有權否認ト云フ主張ヲ論ジ詰メレバ結局全部ノ財産私有權ノ否認ニ到達スル危險ガアル場合ニ於テハ、此ノ法條ニ依ッテハ處罰出來ルノデアリマスガ

何ニモ當ラナイカト申シマス、サウデハゴザイマセヌデ、少クトモ若シ文書ニ致シマスレバ安寧秩序ヲ害スル事項ヲ頒布シタト云フコトニナリ、恐ラク處罰ノ客體ニナルト思フノデアリマス

フコトガ一切ノ土地ノ私有ヲ禁止スルト云フコトデアアル、ソレデアリマスレバソレガ私有財産制度ノ否認ト云フコトニナルト云フコトハ、是ハ御言葉ノ通り考ヘテ宜シカラウト思フノデアリマス、唯併シ一部ノ否認ガ結局ハ全部ノ否認ニナル所ノ危險ヲ包藏スルト云フコトノ意味ヲ以テ直チニ一部ノ否認ヲ：直チニ之ヲ以テ此ノ私有財産制度ノ否認ダト斯ウ認定スルト云フコトハ、チヨットマダ早カラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ尙實際ノ問題デアリ、ソレヲ唱ヘル人ノ主觀ナリ、又唱ヘル場合ノ狀況ナリニ依ッテ判斷ガ色々違フドラウト思ヒマスノデ、實際問題トシテハ一概ニソレヲ判斷ラシ得ナイデヤナイカト思フノデアリマス

何カソレニ對スル取締ヲ御考ヘニナッテ居ルカドウカト云フ點、次ニハ段々政府ノ御説明ヲ拜聴致シマスレバ、財産奉還論トカ、國有論トカ云フコトハ全部ノ私有權否認ニハナラナイ、從ッテ治安維持法ノ對象ニナラヌト云フコトヲ拜聴シタノデアリマスガ、私ハ幾ラ考ヘテ見テモ財産奉還論トカ國有論トカ云フコトハ、之ガ全部ノ私有財産ノ否認デヤナイカ、一部ノ私有ト云フコトニハ考ヘラレナイ、財産ノ總テヲ舉ゲテ奉還スル、總テヲ舉ゲテ國有ニスルト云フコトハ、即チ私有財産ノ全部ノ否認ニナル譯デアリマス、斯様ナ議論ハ、政府トシテ所有權一部ノ否認論デアッテ全部ノ所有權ノ否認デナイカラ、敢テ之ニ當テ嵌ラヌト云フコトハチヨット了解ガ致シ兼ねル點デアリマス、又其ノ外假ニ財産ノ一部ノ私有ヲ認メナイト云フヤウナ議論ハ、ドウモ實際カラ考ヘテ有リ得ナイト思フ、一部ノ私有ノ否認ハ結局論理上全部ノ私有ノ否認ニ歸著シナケレバナラス、一部ノ私有ノ否認ト云フコトハ論理上私ハ成立ツモノデハナイト思フノデアリマス、假ニ一部ノ財産ノ否認論デモ、先刻チヨット御話ニナッタヤウデアリマスケレドモ、ソレガ全部ノ財産

○政府委員(三宅正太郎君) 私有財産制度ノ否認ト申シマスコトハ、此ノ制度ト云ヒ、又否認ト云フ言葉ノ中ニ相當含蓄セラレタ意味ガアルノデアリマシテ、制度ト云ヒマスレバ一般のナコトヲ意味シ、否認ト云フコトハ相容レザル事項ノ實現ヲ圖ルト云フコトデアリマシテ、相容レザルコトデゴザイマス、一方ニ一般ト云ヒ、片方ニ於テハ相容レザル事項ノ實現ヲ圖ルコトヲ言ヒマスノデ、一部ノ唯私有財産ヲ認メルトカ、認メナイトカト云フコトハ、私有財産制度ノ否認ト云フコトニ當ラナイ、斯ウ御説明申上ゲマストハ、ソレハ一般的デハナイ唯財産奉還ト云フコトヲ、是ハ勿論色々場合々々ニ依リマスデスカラ一概ニ言ヘマセヌガ、唯私有財産奉還論ヲ唱ヘルト云フダケデ果シテ私有財産制度ヲ否認スル、詰リ私有財産制度ト相容レザル事項ノ實現ヲ圖ルト云フ所迄一體認定シ得ルカドウカト云フ所ニ、茲ニ事實上ノ判斷ノ鍵ガアルト思フノデアリマス、デアリマスノデ、只今仰セニナリマシタヤウナ單ナル私有財産奉還ト云フコトヲ唱ヘルト云フコトデアリマスレバ、ソレハ此ノ私有財産制度ノ否認ヲ宣傳スルト云フコトニ直チニ當ラナイ、斯ウ政府委員ハ御答フシタト思フノデアリマス、然ラバソレハ

○山隈康君 前ニモ申述ベマシタガ、假ニ一部ノ私有制度否認、即チ不動産ノ私有ヲ許サナイ、斯ウ云フ議論ヲ立テル者ガアリト假定致シマス、ソレハ結局其ノ主張自體カラ推論致シマスレバ全部ノ私有財産否認ニ當然到達スベキ危險ノアル場合ニ對スルノハ、此ノ法文中ニハ當嵌ラナイノデセウカ

○山隈康君 實際ノ問題ニ對スルコトヲ御尋ネスルノデヤナクテ、法律上ノ根據ヲ御尋ネスル、ソコデ一部ノ私有財産制度ヲ否認シタ場合、其ノ議論ガ當然一般ノ私有財産制度ヲ否認スル結果ニ到達スルコトヲ認メ得ラレタル場合、認メラナイハ御話ノ通り其ノ時ノ事情ニ依リマスガ、私ハ認メ得タ場合ヲ前提トシテ御尋ネスル、サウ云フ場合ニハ犯人ソレ自體ハ全部此ノ私有權ヲ否認スル、目的ハナクテモ其ノ議論自體ガ當然全部ノ私有權制度ヲ否認スル結果ニ到達スル場合ニ於テハ、之ニ對スル危險ハ同ジデヤナイカ、ソレヲ處罰ガ此ノ中ニ含ムカ含マスカト云フコトデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 其ノ目的ガゴザイマセヌデ致シタノデアリマスレバ、唯其ノ結果ノミヲ取ッテ治安維持法ノ改正案ニ間接スルコトハ出來ナイト考ヘマス、併シナガラソレ等ノ言説ハ安寧秩序ヲ害スル

○政府委員(三宅正太郎君) 甚ダ失禮デゴザイマスガモウ一遍ドウゾ：：：
○山隈康君 不動産ノ私有ヲ禁ズル、斯ウ云フコトハ、私有財産制度ノ一部ノ否認ト云フコトハナイ、其ノ議論ヲ押擴ゲマス、當然全部ノ私有制度否認ニ到達スベキ危險ガアル、其ノ議論ノ建前カラ推論致シマス、當然其處ニ到達スル、是ハ先刻カラ屢、政府委員ノ方デ御説明ニナッテ居リマス、政體變革ハ治安維持法ニハ當ラナイ、併シナガラ政體變更ト云フヤウナモノハ、動モスルト國體變更ニ歸一ラシテ一緒ニナッデシマフ、ソコデ此ノ法律ニ依ッテ處罰ラヌルカラ差支ハナイデヤナイカト云フ、此ノ仰セカラ致シマス、私有權ノ制度ノ一部ノ否認モ全部ノ否認ニ影響致シマシテ、政體變更ガ國體ノ變更ニ歸一スルガ如キ關係モ當然想像シ得ラレルコトト思フ譯デアリマス、此ノ場合此ノ法條ニ依ッテ處罰出來ルカドウカ、御分リニナラナケレバモウ一遍申上ゲマセウカ：：：

○政府委員(三宅正太郎君) 土地國有ト云

○政府委員(三宅正太郎君) 其ノ目的ガゴザイマセヌデ致シタノデアリマスレバ、唯其ノ結果ノミヲ取ッテ治安維持法ノ改正案ニ間接スルコトハ出來ナイト考ヘマス、併シナガラソレ等ノ言説ハ安寧秩序ヲ害スル

○政府委員(三宅正太郎君) 甚ダ失禮デゴザイマスガモウ一遍ドウゾ：：：
○山隈康君 實際ノ問題ニ對スルコトヲ御尋ネスルノデヤナクテ、法律上ノ根據ヲ御尋ネスル、ソコデ一部ノ私有財産制度ヲ否認シタ場合、其ノ議論ガ當然一般ノ私有財産制度ヲ否認スル結果ニ到達スルコトヲ認メ得ラレタル場合、認メラナイハ御話ノ通り其ノ時ノ事情ニ依リマスガ、私ハ認メ得タ場合ヲ前提トシテ御尋ネスル、サウ云フ場合ニハ犯人ソレ自體ハ全部此ノ私有權ヲ否認スル、目的ハナクテモ其ノ議論自體ガ當然全部ノ私有權制度ヲ否認スル結果ニ到達スル場合ニ於テハ、之ニ對スル危險ハ同ジデヤナイカ、ソレヲ處罰ガ此ノ中ニ含ムカ含マスカト云フコトデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 其ノ目的ガゴザイマセヌデ致シタノデアリマスレバ、唯其ノ結果ノミヲ取ッテ治安維持法ノ改正案ニ間接スルコトハ出來ナイト考ヘマス、併シナガラソレ等ノ言説ハ安寧秩序ヲ害スル

○政府委員(三宅正太郎君) 其ノ目的ガゴザイマセヌデ致シタノデアリマスレバ、唯其ノ結果ノミヲ取ッテ治安維持法ノ改正案ニ間接スルコトハ出來ナイト考ヘマス、併シナガラソレ等ノ言説ハ安寧秩序ヲ害スル

コトトシテ可罰性ガアルト思ヒマスノデ、其ノ方デ取締ツテ差支ナイモノデヤナイカト思ヒマスガ、モウ少シ此ノ點ニ付テハ實際ノ色々ノ場合ニ付テ考ヘマセスト、正確ナル説明ヲ申上ガ兼ネルノデアリマス

○山隈康君 ソレデハ其ノ點ノ質問ハ此ノ程度ニ打切りマシテ、更ニ御尋フ致シタイコトハ、第四條ノ集團ノ結成ト云フ、集團ト云フ文字ハ治安維持法ノ沿革カラ言ヒマシテモ初メテ現レタ文字ノヤウデアリマス、此ノ法律上ノ定義ヲ正確ニ致シテ置キマセスト、實際集團ノ結成ノ程度ニ至ツタカ、至ラナイカニ付テノ頗ル疑問ガアラウト思フノデアリマス、今迄政府ノ方ガ衆議院等デ御説明ニナツテ居ルノヲ拜見至シマスレバ、結社ハ特定ノ人ガ其ノ間ニ意思ノ合致ヲシテ、共同ノ目的ヲ以テ、永久ノ性質ニ依ツテ結合サレタモノデアアル、是ハマア議論ノ餘地ハナイ、御説明ヲ煩ハサヌデモ明白ノコトデアリマス、集團ト共同ノ目的ヲ必要トセズ、特定ノ人ヲ必要トセス、斯ウ云フヤウナ意味ニ速記録ヲ見タヤウデアリマスガ、尙此ノ點明確ニ一ツ集團ノ定義ヲ御示シテ願ヘレバ幸ヒデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ結社ト申シマスモノハ、只今御言葉ニアリマシタヤウニ共同ノ目的ノ爲ニスル特定多數人ノ相當鞏固且永續性ヲ有スル結合ト云フコトニ致シテ居リマス、而シテ集團ハ結社ニ達セザル多數人ノ團結又ハ結合ヲ謂フト、斯ウ云フ定義ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ實ハ、殊ニ共產主義ニ於キマシテノ結社ト申シマスモノハ、相當ニハ沿革ノアルコトデアリマシテ、「レーニン」ハ先ヅ其ノ組織ヲ組織セヨ、是ガ「レーニン」ノ非常ナ良イ言

葉トシテ共產主義者ハ言ツテ居ル、組織ヲ組織セヨ、ソレカラシテ一ニモ組織、二ニモ組織、三ニモ組織、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、兎ニ角此ノ思想ト云フヨリモ組織ノ力デ共產主義ヲ傳播シヨウ、斯ウ云フ考從ツテ其ノ關係デ出テ來マシタ組織デアリマスカラ、其ノ所謂結社デアリマスカラ、サウ云フ共產主義ノ目掛ケテ居ル結社ト申シマスモノハ、唯漠然タル多數人ノ集會デハナイ筈デアリマシテ、其ノ間ニ結束ガアリ、其ノ間ニ意思ノ鞏固ナル共通點ガナケレバナラナイノデアリマス、ソレヲ目掛ケタノガ結社デアツタノデアリマス、處ガ御承知ノ通り其ノ結社バカリダト思ヒマス、段段人民戰線以來ハ、ソシナ結社ヲ表面ニ出シタノデヤ却テ共產主義ノ宣傳ニナラナイノデアリマスカラ、忽チ之ヲ後口ニ隱シマシテサウシテ唯漠然タル集團ト云フ、要スルニソシナ組織ヲ持タナイ、結社ヲ持タナイ集團ヲ作リマシテ、サウシテ其ノ集團ノ力ニ依ツテ段々ニ宣傳シテ行カウ、斯ウ云フ譯デアアル、從ツテ結社ノ程度ニ達セザル多數人ノ團結又ハ結合ト申シマス、即チ一面ニ於テ、目的ノ點ニ於テ結社程ノ相互ノ諒解、理解ガナイコト、ソレカラ構成員ノ特定性ニ於テモ結社ト稱セラレル程ノ結束性ガナイコト、更ニ又從ツテ集團ノ永續性ト云フコトニ付キマシテモ、結社程ノ永續性ヲ持タナイト云フコト、サウ云フコトヲ結局結合カニ於テ薄弱デアアル、斯ウ云フコトニナリマス、デアリマスルカラ、多數人ノ勿論團結、結合デハアリマスルケレドモ、結社程ノ結束力ヲ持タナイモノダト、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヘバ宜イノデアリマス

○山隈康君 結社ノ方ハ今御示シノ如ク、共同ノ目的ヲ以テ特定人ガ意思ノ結合ニ依ツテ永續性ヲ持ツテ居ル、從ツテ法律上ノ性格ヲ備ヘテ居ルヤウデアリマス、此ノ故ニ組織ト云フ文字モ極メテ適當ナ意義ヲ成スト思ヒマスガ、集團ハ共同ノ目的デナク、意思ガ其ノ間ニ若干ハ通ジテ居リマシテモ、意思ノ共通ト云フコトヲ條件トシナイ、永久性モナイ、結局サウ云フ思想、若クハ思想ヲ懷イタ者ガ集ツタ状態ヲ指シテ、集團ト云フノデハナカラウカ、ソコデ此ノ結合ト云フ文字ハ私ハ將來非常ニコイツハ問題ガ起リハシナイカ、自然ノ集團、サウ云フ不逞ノ人間ガ寄集ツテ結社ノ程度ニ至ラズ話合ヒヲスルト云フコトモ、是ハ處罰ノ對象ニナツテ宜シイガ、結成ト云フ文字ガアル以上ハ、所謂密ツタバカリデハ結成ハシテ居ナイ、結成ト云フ文字ハ將來ソコニ多少紛議ヲ來シハシナイカト云フコトヲ衷心ヨリ心配ヲ致シマスカラ、此ノ點一ツ伺ヒタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 結成ト云フ言葉ガ少し強過ギマススト云フ御懸念ガアリマスコトハ御尤モト思ヒマス、併シ大體ニ於キマシテ、前ニ結社ハ組織ト云フコトヲ申シテ居リマス、結社ヲ組織ト云フコトニ比較シマシテ、集團ヲ結成ト云フコトハ、ソレヨリ輕イ意味ニ使ツタ積リデアリマスガ、唯結成ト云フ字ダケヲ御覽ニナリマス、何ダカ非常ニソコニ結成式トカ云フヤウナ意味ガアリマシテ、強ク響キマスガ、併シ例ヘバ讀書會ヲ開クトカ、或ハ「ハイキン」會ヲ開クトカ云フヤウナコトヲシマシテ、現在デハサウ云フコトヲ段々ニ斯ウ自分ノ同志ヲ集メテ行クト云フノガ、相當行ハレテ居リマスノデ、其ノ集團、ナカ

忽セニ出來ナイ點ナシデゴザイマス

○山隈康君 動モ致シマススト御説明ガ實際ニ即シテ御説明デアツテ、私ノ間ハムトスルノハ結成ト云フ文字ノ法律上ノ見解、之ヲチャント決メテドウ云フモノガ此ノ維持法ノ結成デアルト……、結成ト云フ文字ヲ見チャイカスト言ヒマスケレドモ、眼ニ見エル、書イテアルカラ……、此ノ結成ト云フコトガドコ迄行ケバ結成デアアル、ドコ迄行カナケレバ結成トイフ範圍ニ入ラナイ、其ノ點ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 結成ト申シマスコトハ、法律的ニ言ヒマス、集團ヲ創設スル行爲、初メテ作ル、初メテ設クルト云フ行爲デアリマス、即チ集團ヲ作ラムト考ヘマシテ、サウシテ其ノ計畫ヲ致シマシテ、結局集團ト認メラルベキ状態ニ集團ガ出來上リマシタ時、即チ其ノ結成犯ノ既遂ニナル、斯ウ御承知ヲ願ヒタイ

○山隈康君 モウ一遍伺ツテ止メマス、餘リ面倒臭クナリマスカラ……、組織ニ着手致シマシタモノト結成トノ區別ハドウ致シマスカ、大體今日御話ノヤウデアレバ、サウ云フ風ニ準備ヲシ、申合セヲシ、色々ナモノヲスレバ、ソレガ組織ノ準備ニナル、斯様ニ考ヘルノデスガ……

○政府委員(三宅正太郎君) 第四條ノ集團ノ結成ト云フコトハ、結成シタルモノ、即チ集團ノ結成ヲ見マシタモノノガ之ニ當ル、斯ウ考ヘテ居リマス、而シテ若シ結成ニ著手シテ未ダ遂ゲザルモノハ第十四條ニ依リマシテ結成罪ノ未遂ニ當ルト思フノデアリマス

○山隈康君 一應此ノ程度デ……

○子爵岡部長景君 先程伺ツタ事項ニ付テ、

チヨットマダドウモハッキリ、釋然トシナイ所ガアルノデスガ、今度ノ第五條ノ「其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議云々」トアリマスガ、此ノ元ノ、現行法デスネ、現行法デ、所謂「其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議云々」ト云フノハ、是ハ結社ヲスルコトニ付テ協議ヲシタト云フ意味ニ解釋サレテ居ルノデスカ、ソレトモ唯國體破壞ノコトニ付テ何カ相談ヲシタト云フコトデスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 現行法ノ第二條ハマダ所謂斯ウ云フ支援結社ヲ準備結社ガゴザイマセヌノデアリマスカラ、即チ第二條ト致シマシテハ此ノ目的タル事項ノ實行ト申シマスコトハ、今御言葉ノ通り國體變革ノ事項ニ對シテ協議ヲナシタト斯ウナルノデアリマス、結社トハ關係ナシデアリマス

○子爵岡部長景君 サウシマス其ノ二條、今度ノ所謂改正案ノ第五條ハ、從來國體變革ヲ目的トシタ事項ニ付テノ實行ニ付テ協議ヲシタト云フモノヨリハ、餘程廣イ範圍ニ適用サレルヤウニナルノデハナカラウカト考ヘルノデスガ、ソレニ付テ今迄ノ發賣禁止ヲ受ケタ出版者ナドハ、矢張り是ノ中ニ含マレル譯ニナルノデアリマセウカ、御解釋ハ、内務省ノ方ノ一ツ解釋ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、先ヅ司法省ノ方デ……

○政府委員(三宅正太郎君) 内務省ニ代ッテ御返事申上ゲマス、目的ガゴザイマスレバ、矢張り實行ニ關シテ協議ヲ爲シ又煽動ヲ爲シタト云フコトニナリマスガ、併シ過去ノ分ハ、是ハ將來ニ向ッテ處分スルノデアリマスカラ、過去ノ分ハ別デアリマスガ、今後ニ於テ斯ウ云フ目的ヲ以テ、實行ニ關シテ宣傳ヲ致シタトスレバ、勿論入リマス

○子爵岡部長景君 サウスルト、從來ノ實例ニ鑑ミ、從來ノモノニ之ヲ適用スルコトハアリマセヌケレドモ、假ニ適用シタトスレバ、餘程多數ノ事犯ガ豫想サレルノデアリマスガ、ソレトモ、サウ云フヤウナモノハ極ク少イノデアリマスガ

○政府委員(三宅正太郎君) 是ガ出來マシタ爲ニ、特ニ非常ニ多クナルトハ別ニ思ッテ居リマセヌ、從來ト雖モ國體變革ノ實行ニ關シテ協議ヲ爲シタ者ハ罰シ、煽動モ矢張り第三條デ從來罰シタルノデス、唯今度餘計ニナリマシタノハ、宣傳ガ入リマシタコトト、ソレカラ今ノ關係ノ國體變革ヲ目的トスルト云フ行爲ガ、之ニ入リマシタコトデアリマシテ、別ニ第五條ガ出來マシタカラト云ツテ、特ニ非常ニ處罰對象物ガ多クナルトハ豫想致シテ居リマセヌ

○子爵岡部長景君 内務省ノ方ハオイデニナリマセヌカ、警保局長ハ居ラナイヤウデスガ、併シ此ノ宣傳ト云フコトハ、餘程廣ク解釋シ得ル言葉デアリ、ソレダケニ適用ノ範圍ガ非常ニ廣マッテ來ルノデハナイカト、私ハ想像スルノデアリ、寧ロ或意味ニ於テハ、相當此ノ適用ハ廣クナッタガ、取締ノ目的ニ副フノデヤナカラウカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ……

○政府委員(三宅正太郎君) 勿論、宣傳ト書キマシタ以上ハ相當ニ廣クナルコトハ、御言葉ノ通りデアリマス

○子爵岡部長景君 サウシマス、大體此ノ治安維持法制定ノ當時ハ、結社取締ト云フコトガ殆ド全部デアッタカノヤウニ我々ハ了解シテ居ッタノデス、ソレガ今度ノデハ、結社ト云フコトヲ離レテ、單獨ノ行爲デモ非常ニ取締ラレルノデ、治安維持法ノ根本趣旨ガ非常ニ變ッテ來タヤウニモ考ヘラレルノデ、サウシマスルト、第一條バカリデナク、今度ハ二條、三條モ結社ノコトヲ非常ニ重要視サレテ居リマスガ、固ヨリ結社ト云フモノハ、實行ノ點カラ見マシテ、恐ルベキモノデアアルニ相違ナイノデアリマスガ、法ノ適用ト云フコトニナリマスルト、非常ニ廣範圍ニナルト云フコトデアレバ、サウ云フコトヲ第一條ニ兩方合セテ、治安維持法ノ目的ト云フコトヲ、ハッキリサセタ方ガ宜カッタノデハナカラウカト云フ風ニ、是ハマア常識論デアリマスガ……サウ云フ風ナ方法ニ依ラナイデ、今迄ノ治安維持法ヲ大體ニ於テ唯修正ニ依リ、一般ニ對スル適用ト云フコトハ、唯第五條ニチヨット一句加ヘタダケデ以テ、其ノ適用ノ範圍ガ非常ニ廣マッタルコトデアリ、其ノ體裁トシテ當ヲ得テ居ナイカトモ思フノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ修正案ヲ出サレタ御趣旨ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 私共ト致シマシテハ、多少沿革ニ拘泥シタト云フ感ジヲ御持チニナルカモ存ジマセヌガ、何ニ致シマシテモ、此ノ治安維持法ガ制定サレマシテカラ、治安維持法ガ目的ト致シマシテ一生懸命ニナッテ防遏ニ努メタノハ、共產運動デアリマス、而シテ共產運動ノ當體ト云フモノハ矢張り今デモ「コミンテルン」デアルト思フノデアリマス、「コミンテルン」サウシテ其ノ「コミンテルン」ノ支部デアアル日本共產黨デアアルト思フノデアリマス、唯併シ「コミンテルン」ノ方ガ、斯ウ云フヤウナ治安維持法ト云フモノノ取締方法ノ先キ潜リ

ヲ致シテ、結社ヲ擱ヘルト云フト、結社ノ方ヲボカシテ、今度ハ結社ノ方ハ隱シテ、サウシテ支援結社ヲ表立テ出シタリナシカ致シマス、結社ガナクナレバ又再建ト云フコトニ致シマス、サウ云フ風ニ、結社ト云フコトガ眼ニ著キマス、又共產運動ガ出來ナイカラト云フノデ、早速向フノ戰術ヲ變ヘテ、今度ハ個個ノニヤルトカ、或ハ集團デヤルトカ、サウ云フヤウニ虛々實々ニ向フガヤッテ來マスガ、實ハ初メ此ノ方ガ正直ニ、日本共產黨バカリダと思ッテ相手ニシテ居ッタ處ガ、向フノ戰術ガ次々ニ變ル、其ノ向フノ動キニ應ジテ此ノ方ガ又ソレニ「レンズ」ヲ合セタ、「ピン」ヲ合セタト云フ形ニナッテ行クノデアリマス、ソレデ今日デモ恐ルベキモノハ矢張り「コミンテルン」デアリ、其ノ「コミンテルン」ガ隱微ニ日本ニ共產黨ヲ作ラウトスル、其ノ根本ノ問題ガ重要ダと思フノデアリマス、尤モ此ノ治安維持法ハ、單ニ共產黨バカリデナク、其ノ他ノモノモ取締ル目的ヲ以テ作ラレテ居リマスケレドモ、矢張り何ト云ツテモ、是迄ノ實績上、之ニ依ッテ防遏シナケレバナラヌ目標ノ主タルモノハ、共產主義者デアリマスノデ、矢張り斯ウ云フヤウニ各種ノ戰術ヲ茲ニ並ベマシテ、ドレカデ取締ラウト云フ意圖ニ出タノデ、多少複雑化致シマシタコトハ、即チ彼ノ戰術ガ複雑化シタ結果ダト、斯ウ御諒承下サレバ結構ダト思フノデアリマス

○子爵岡部長景君 警保局長ガ見エタヤウデアリマスカラ、今、司法次官カラ内務省政府委員ヲ代表シテノ返答ガアリマシタケレドモ、尙實際ニ即シテコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、重複スルカラ諄ク

ヲ致シテ、結社ヲ擱ヘルト云フト、結社ノ方ヲボカシテ、今度ハ結社ノ方ハ隱シテ、サウシテ支援結社ヲ表立テ出シタリナシカ致シマス、結社ガナクナレバ又再建ト云フコトニ致シマス、サウ云フ風ニ、結社ト云フコトガ眼ニ著キマス、又共產運動ガ出來ナイカラト云フノデ、早速向フノ戰術ヲ變ヘテ、今度ハ個個ノニヤルトカ、或ハ集團デヤルトカ、サウ云フヤウニ虛々實々ニ向フガヤッテ來マスガ、實ハ初メ此ノ方ガ正直ニ、日本共產黨バカリダと思ッテ相手ニシテ居ッタ處ガ、向フノ戰術ガ次々ニ變ル、其ノ向フノ動キニ應ジテ此ノ方ガ又ソレニ「レンズ」ヲ合セタ、「ピン」ヲ合セタト云フ形ニナッテ行クノデアリマス、ソレデ今日デモ恐ルベキモノハ矢張り「コミンテルン」デアリ、其ノ「コミンテルン」ガ隱微ニ日本ニ共產黨ヲ作ラウトスル、其ノ根本ノ問題ガ重要ダと思フノデアリマス、尤モ此ノ治安維持法ハ、單ニ共產黨バカリデナク、其ノ他ノモノモ取締ル目的ヲ以テ作ラレテ居リマスケレドモ、矢張り何ト云ツテモ、是迄ノ實績上、之ニ依ッテ防遏シナケレバナラヌ目標ノ主タルモノハ、共產主義者デアリマスノデ、矢張り斯ウ云フヤウニ各種ノ戰術ヲ茲ニ並ベマシテ、ドレカデ取締ラウト云フ意圖ニ出タノデ、多少複雑化致シマシタコトハ、即チ彼ノ戰術ガ複雑化シタ結果ダト、斯ウ御諒承下サレバ結構ダト思フノデアリマス

シクハ申上ゲマセスガ、今度ノ第五條ニ依ッ

テ、從來ハ大體ニ於テ結社取締ガ主タル目
的デ以テ此ノ法律ガ運用サレテ居ッタ、處ガ
今度ハ結社デナクとも、單獨ニ此ノ目的タ
ル事項ヲ宣傳シタ者モ取締ラウト云フコト
ニナツタ爲ニ、例ヘバ發賣禁止ヲシタ著書ヲ
出シタト云フヤウナコトナドハ、モウ既ニ
此ノ團體破壊ヲ目的トスル宣傳ヲシタト云
フ風ニモ解釋ガ出來ナイコトモナイ、サウ
スルト自然此ノ法律ノ適用ト云フモノハ今
後非常ニ廣クナル、人數ヘ必ズシモ多クナク
トモ件數ハ非常ニ殖エルノデハナカラウ
カ、從來内務省ガ唯發賣禁止ノ處分デ濟マ
シテシマハレタコトガ、斯ウ云フ法律ガ出
ルト抛ッテ置ケナイ、矢張り治安維持法ノ
此ノ條項ヲ適用シテ、宣傳ト認メルベキモ
ノデアッテ、注意シナケレバナラヌト云フヤ
ウナ事項ガ非常ニ殖エルノデハナカラウ
カ、若シモ從來ノ儘トシタナラバ、斯ウ云フ
法律ガ出ルカラ、注意モシ、觸レナイヤウ
ニハ自然ナルトモ思ヒマスケレドモ、從來
ノ事情其ノ儘ダトシタラ…此ノ法律ヲ從
來ノ事情ニ適用スルトハナイノデアリマ
スケレドモ、假ニ適用スルトシタラ、餘程此
ノ法律ニ引掛カル事件ガ多イノデハナカラ
ウカ、私ハ相當アルノデハナカラウカと思
フ、又或程度迄ソレニ適用シテ取締ルコトガ
必要デハナカラウカと思フノデアリマス、
今、司法次官カラ、相當アルカモ知レナイ
ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、内務省デハド
ウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○政府委員(橋本清吉君) 新立法ヘ此ノ宣
傳罪ヲ入レマシタダケ、御説ノ通り相當多
クナルト存ジテ居リマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ

マスカ、第一章…

○上野喜左衛門君 私ハ第一章ノ中一點ダ
ケ御尋ネ致シタイと思ヒマスガ、ソレハ第
七條「團體ヲ否定シ又ハ神宮若ハ皇室ノ尊
嚴ヲ冒瀆スベキ事項云々」トゴザイマスガ、
此ノ單ニ「神宮」トダケデハ少シク意味ガハ
ツキリシナイヤウニ考ヘルノデアリマシ
テ、此ノ「神宮」トアリマスノハ、狹ク皇太
神宮ヲ指スノデアルカ、或ハ又廣ク平タク
解釋シテ、社格ヲ有スル神社神宮全部ヲ指
スノカ、或ハ官幣大社ノ中特ニ神宮號ヲ御
宣下ニナッテ居ル社ヲ指スノカ、其ノ邊ヲ
御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ「神宮」ト
申シマスノハ、今言葉ニゴザイマシタ伊勢
大廟ヲ指スノデゴザイマス、是ハ既ニ先例
ガゴザイマスノデゴザイマシテ、刑法ノ
皇室ニ對スル罪ノ、第七十四條ノ第二項
ニ神宮トゴザイマスノハ、是ハ解釋上伊勢
大廟ヲ指ス、斯ウ云フコトニ一定シテ居リ
マスノデ、ソレデ御了承ヲ願ヒマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 第一章ニ對シ
マスル質問ノ大體ハ終了致シタルコトト致
シマシテ「第二章刑事手續」ニ移リタイと思
ヒマス
○山隈康君 極メテ簡單ニ一點ダケ御尋ネ
致シタイ、第三十五條ノ「上告裁判所ハ公判
期日ノ通知ニ付テハ刑事訴訟法第四百二十
二條第一項ノ期間ニ依ラザルコトヲ得」ト
アリマスガ、結局刑事訴訟法四百二十二條
ハ、公判期日ノ五十日前ニ上告申立及對手
方ニ期日ヲ通知シナケレバナラス、此ノ規
定ニ依ラナイト云フノハ、事件ヲ成ルベク
急速ニ終結セシムルト云フ趣旨デアリマス
カ、特別ノ理由ガアリマスカ

○政府委員(三宅正太郎君) 事件ヲ成ルベ
ク早く終結致シタイ爲デアリマス、サウシ
テ此ノ點ニ付キマシテハ、多分御承知トハ
存ジマスルガ、衆議院議員選舉法ノ第四百十
二條ニ付キマシテモ、矢張り衆議院ノ選舉
違反ヲ早く片附ケルコト云フ必要上、同様ノ
規定ヲ設ケテ居リマスノガ同ジ趣旨デ、ソ
レニ依ッテ拵ヘタ次第デアリマス

○山隈康君 サウ致シマスルト、結局五十
日前ニ通知ヲスルノ必要ガナケレバ、其ノ
前日、前々日ニ通知シテモ差支ナイヤウニ
考ヘルノデアリマス、同刑事訴訟法第四百
二十三條デアリマスガ、上告趣意書ハ公判
期日ヨリ十五日前ニ提出シナケレバナラ
ヌ、此ノ期日ヲ設ケマシタノハ辯護權ノ尊
重、上告趣意書等ノ起草ノ猶豫期間ヲ與ヘ
タモノト思ハレルノデアリマスガ、非常ニ
此ノ期間ヲ短縮シ、若シクハ通知セズデモ
宜イカト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニ於キ
常ニ短縮サレテ、辯護權ノ侵害ニナルカノ
ヤウナ感ジラ致シマスガ…

○政府委員(三宅正太郎君) サウ云フコト
ニナッテハ、甚ダ相濟マス話デアリマシテ、
若シサウ云フ風ニシテ、辯護權ノ行使ガ出
來ナイヤウナ狀態ニ置キマスレバ、ソレハ
非常ニ不當ナコトデアリマスガ、從來私共
衆議院議員選舉法ノ事件ヲ大審院デ取扱ッ
テ居リマシタ際ニモ、自ラ定メガアリマシ
テ、矢張り十分辯護權ノ行使ノ出來ル期日
ヲ置イテ致シテ居リマス、唯實ハ少シ四百
二十二條ノ「五十日前」ト云フコトハ、日本
ノ今日ノヤウナ交通ノ便利ナ所デ、一體ニ
於テ少シ緩ルスギルト思ハレル點ガアリマ
スノデ、ソレヲ縮メルノデアリマシテ、決

シテ御心配ノヤウナコトハ、現在ニ於テ、
選舉法違反ニ於テ何等苦情ノナイ點ヲ御了
承ヲ下サイマシテ、サウ云フコトハ致サナ
イト御了察ヲ願ヒマス

○堀切善次郎君 第三十八條ニ關係致シマ
スガ、治安維持法ハ臺灣ニ對シテノ關係ハ
ドウナリマセウカ、當然施行サレナイコト
ニナリマセウカ、三十八條ニ朝鮮ニ付テノ
規定ガアリマスガ、臺灣ニ對シテハドウ云
フコトニナルデアリマセウカ
○政府委員(三宅正太郎君) 大正十四年勅
令第七十五號ニ依リマシテ、當然朝鮮、
臺灣ニハ施行サレルコトニナッテ居ルサウ
デアリマス

○堀切善次郎君 臺灣ニモ當然施行サレル
コトニナリマス、三十八條ニアリマスヤ
ウナ規定ガ、臺灣ニ付テモ必要デアルト思
ヒマスガ、其ノ關係ハ如何デアリマスカ
○政府委員(三宅正太郎君) 臺灣ニハ臺灣
ノ方デ特則ガアリマシテ、之ニ讀ミ替ヘノ
出來ルヤウニナッテ居ルヤウデアリマス、
臺灣ノ規定ニ依リマシテ、斯ウ云フ風ノコ
トガ自ラ出來ルヤウニナッテ居ルサウデア
リマス、朝鮮デハソレガナイ爲ニ斯ウ云フ
規定ヲ置イタサウデアリマス
○堀切善次郎君 念ノ爲ニ、其ノ臺灣ノ方
ノ法令ノ根據ヲチヨット御示シ願ヒタイト
思ヒマス、其ノ前ニモウ一ツ伺ヒマスガ、
第二章ノ手續ハ、是ト全然同ジ規定ガ、昨
日通過致シマシタ國防保安法ノ中ニ、外國
ト通謀スルト云フヤウナ目的ヲ以テ、治安
維持法ヲ犯シタ者ニ對シテ適用サレルト云
フコトニナッテ居リマスガ、全ク同ジ手續
ノ規定ガ二重ニナッテ居ルノデスガ、是ハ
其ノ二ツノ關係ハドウ云フ風ニナルノデセ

ウカ、本法が通りマスレバ、國防保安法ノ方ノ治安維持法ニ關スル手續ノ規定ハ、全然不要ニナルノデヤナイカト思ハレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御解釋ヲ承リタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 實ハ多少違ヒガ茲ニアルノデゴザイマス、例ヘバ此ノ間ニハ多少違ヒガ、管轄ノ移轉ト云フヤウナコトガゴザイマスノデ、全然同一ダトハ申マセセスガ、大部分同一ノ規定ガゴザイマス、是ハ此ノ治安維持法ガ提出セラレマス以前ニ、國防保安法ヲ提出シマシタ關係上、國防保安法ノ方ニハ、治安維持法ノ違反事件中、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ爲サレタ分ダケニ付テ、國防保安法ノ刑事手續ニ依ルコトト致シマシタ、今日是ガ此ノ儘ニ通過致シマスレバ、略、同一ノ結果ニナリマスノデ、實際上ニ於テハ、アチラニアレヲ揭ゲタト云フコトノ實益ハ、或ハナカッタカモ存ジマセスガ、併シ實ハ此ノ治安維持法ト國防保安法ハ、提出ノ時期ガ非常ニ違フデ、國防保安法ガ提出サレテ餘程後カラ此ノ治安維持法ガ提出サレタノデ、此ノ治安維持法ガ果シテ成立スルカ否カ、マダ十分ニ見届ケラレマセヌデシタシ、一方國防保安法ニアリマス外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的デ、治安維持法ノ罪ヲ犯シタ者ハ、ドウシテモアノ手續ニ依ラセルコトガ是非共必要デアリマシタノデ、アノ部分ヲアノ方ヘ載セタノデアリマシテ、是ガ通りマス場合ニ於キマシテハ、ソシナニ迄心配シナクテモ宜カッタノデハナイカト云フ 御言葉ハ御尤モデゴザイマスガ、サウ云フ次第デ、併シナガラ現在アチラニアリ、コチラニアリマ

シテモ、別ニ手續上差障リノ起ルコトハ毫末モナイノデアリマシテ、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ爲サレタ治安維持法違反ノ罪ノ刑事手續ハ、國防保安法ノ刑事手續ニ依リ、サウデナイ治安維持法違反ノ罪ハ此ノ改正ノ治安維持法ノ手續ニ依リマス、其ノ目的ニ於テハ同じデアリマスガ、ソレト、依ルベキ條文ガ違フテ來ル、手續ニ依ッテハ、依ルベキ條文ガ違フテ來ルト云フコトニナリマス、聊カ煩雜ノ嫌ガアリマスガ、サウ云フ結果ニナッタ次第デアリマス、併シ附加ヘテ申上ゲマスガ、國防保安法ニ依ルト云フノハ、即チ刑事手續ニ依ルノデアリマスカラ、國防保安法ノ刑事手續ニ依ッテ爲サレマシタ外國ト通謀シタ治安維持法ノ犯罪モ、愈、刑ノ執行ノ點ニナリマス、豫防拘禁ハ、矢張り治安維持法ノ罪ノ性質上、豫防拘禁及此ノ治安維持法ノ法律ノ適用ヲ受ケルノデゴザイマシテ、是ガ除外サレルコトハナイノデアリマス、臺灣ニ於キマシテハ、大正十一年勅令第四百七號、臺灣ニ施行スル法律ノ特例ニ關スル件ト云フコトデ、民刑一般ノ法律ニ通ズル特例ヲ規定シテアルサウデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 第二章ノ御質疑ガ、一應ゴザイマセヌケレバ、「第三章豫防拘禁」及「附則」ヲ議題ニ供シマス
○山隈康君 私簡單ニ一點ダケ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、六十五議會ニ提出ヲサレマシタル治安維持法改正法律案ノ二十七條ニハ、「豫防拘禁ニ付スベキ場合ニ於テハ本人ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢察事務」、即チ本法ノ豫防拘禁ニ當ルノデアリマスガ、「委員會ノ議ヲ經テ其ノ裁判所

ニ請求ヲ爲スベシ」トアル、此ノ法文自體カラ考ヘマスレバ、豫防拘禁ハ司法處分デナクシテ、其ノ拘禁ハ、更新ニ更新ヲ重ネマスレバ無期刑ニ等シキ長期間ヲ拘禁スルコトガ出來ル、又動モ致シマスルト、此ノ種ノモノハ人權蹂躪ト云フ非難ヲ受ケ易キ點ガアリマスルカラ、結局「委員會ノ議ヲ經テ」トアリマスガ、委員會ノ豫防拘禁ニ付スベシト云フ決議ニ依ッテ、檢察ガ裁判所ニ請求ヲ爲スコトガ出來ル、非常ニ鄭重ニ取扱ッテ居ルヤウデアリマス、本法ノ四十條ニ依リマスルト、「豫メ豫防拘禁委員會ノ意見ヲ求ムルコトヲ要ス」トアリマスカラ、一種ノ諮問機關デ、豫防拘禁委員會ガ拘禁スベカラズト云フ意見ヲ出シマシテモ、檢察ハソレニ拘束セラレズシテ、豫防拘禁ノ請求ヲ爲スコトガ出來ルヤウニ改正ニナルノデアリマス、是ハ無論司法處分デアッテ、裁判デハナイノデアリマスカラ、委員會ノ決議ガ拘束力ヲ有シテモ、狹義ノ裁判權ノ侵害ニハナラヌト思フノデアリマス、之ニ關スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 六十五議會ニ出マシタ改正法律案ニ於キマシテハ、所謂檢察ガ請求ヲ致シマス、前ニハ刑務委員會ノ議ヲ經ルト云フコトニナッテ居リマス、其ノ決議ヲ經テ爲スト云フコトニナッテ居リマシテ本法案ノ第四十條ニ於キマシテハ、豫防拘禁委員會ノ意見ヲ求ムル諮問ノ機關ニナッテ居リマス、是ハ御言葉ノ通りデアリマス、ドウシテサウ云フヤウニ變ヘタカト云フコトニ付キマシテハ、寧ろ種々ノ事情ヲ考慮致シマシタ結果、矢張り檢察ニ全責任ヲ持タセテ、公益

ノ代表者デアアル檢察ニ全責任ヲ持タセテ、サウシテ此ノ請求ヲ致セタ方ガ却テ宜カラウト云フコトデアリマス、尙ソレニ附加ヘテ申上ゲマスコトハ、此ノ六十五議會ニ出マシタ法案トハ違ヒマシテ、裁判所ガ今度檢察ノ請求ニ依リマシテ決定ヲ致シマスニ付テハ、六十五議會ノ法案ト違ヒマシテ、非常ニ丁寧ナ規定ヲ設ケテ居リマシテ、例ヘバ參考人ニ出頭ヲ命ジタリ、或ハ補佐人ヲ置キマシタリ致シマシテ、相當ニ裁判所ガ丁寧ナ手續ヲ致シマスカラ、マア假ニ御心配ノヤウナ單ニ檢察ノ請求ガ諮問機關ヲ經タダケデハナイカト云フヤウナ御懸念ニ對シマシテハ、寧ろ裁判所ノ方ガ今度ハモット鄭重ナ調ヲ致シマスカラ、ソレト相俟ッテ一面ニハ檢察ニ責任ヲ持タセル、一面ニハ裁判所ヲシテ慎重ニ審理ヲ致サセルト云フコトニ依ッテ、益、豫防拘禁ト云フモノノ一ツノ實ガ十分ニ舉ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山隈康君 一應御説明ハ諒承致シマシタガ、六十五議會ニ提案サレマシタ改正案ニ於キマシテモ、法文ノ明示ハナクテモ、矢張り本人ヲシテ陳述ヲ爲サシメ、參考人ヲシテ事實ノ陳述若クハ鑑定ヲ爲サシムルト云フコトハ、是ハ當然爲シ得タコトデアッテ、之ヲ唯明文ニ、本條デハ明カニシタニ過ギズシテ、殊更ニ鄭重ニ取扱ッテモノトハ解セラレナイヤウニ考ヘマスガ、如何デアリマスカ
○政府委員(三宅正太郎君) マア勿論參考人ニ出頭ヲ命ジテ事實ノ調ヲ爲サシメ若シクハ鑑定ヲ爲サシメルコトガ必要ナコトデゴザイマスレバ致スデゴザイマセウ、六十五議會ノ案ニ於テモ致スデゴザイマセウガ、

又併シ一面ニ此ノ點ハ「本人ノ屬スル家ノ戸主、配偶者又ハ四親等内ノ血族若ハ三親等内ノ姻族ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ輔佐人ト爲ルコトヲ得」トアル、此ノ規定ハ令同ノ規定デアリマシテ、寧ロ何ト申シマスカ、本人ノ側ノ利益ヲ之ニ依ッテ十分代表サセヨウ、是ガ今度ノ新案ダト思フノデアリマス

○山隈慶君 政府委員ノ御説明ノ趣旨ハ了解シマシタガ、此ノ以上ハ意見ノ相違ノ議論ニナリマスカラ、此ノ程度デ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 第三章ニ付キマシテ、外ニ御質疑ガゴザイマセヌデゴザイマセウカ……御質疑ガゴザイマセヌケレバ、一應質疑ヲ終了致シマシタコトニ致シマシテ、今後ノ議事ノ進行上ニ付キマシテ懇談會ヲ開イテ御協議ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ如何デゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハソウ云フ風ニ致シマス、ソレデハ暫ク御退席ヲ願ヒマシテ、我々ダケ寄リマシテ……、ソレデハ休憩シマス

午後三時三十七分休憩

午後四時三十五分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ委員會ヲ再開シマス、懇談會ハ終リマシタノデ、暫ク休憩ヲ致シマス、五時十五分過ギニ開會致シマス

午後四時三十六分休憩

午後五時二十三分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ委員會ヲ再開致シマス

○男爵井田磐楠君 私ハ文部大臣閣下ニ御

尋フ申上ゲタイ、治安維持ナドガ殊ニ學内ニ施行サレルト云フコトハ誠ニ我ガ教學上ノ恥辱デアルト考ヘマス、勿論我ガ國體ノ恥辱デモアル、然ルニ先般來御當局ヨリ御示シナッテ居リマスル統計ノ上カラ見マシテモ、學生ノ斯様ナル思想ニ關聯スル事實ガ統計ノ上ニ於テモ其ノ數誠ニ尠クナイノデアリマス、而モ統計ヲ離レテ此ノ學生ノ思想界ヲ觀察致シマスル時ニハ、ヨリ以上ニ戰慄スベキ事項ガ深ク、教學ノ中ニ潜在ヲシテ居ルノデアリマス、一例ヲ申シマスルト、東京帝國大學ニ於キマシテ、其處ニ人民戰線ノ本部ガアッタトスラ言ハレテ居ルノデアリマス、學生ノ檢舉尠クナイト云フノハ、先般文部當局カラ頂戴致シマシタル書類ノ上ニ於テ、之ノ原因ヲ色々御舉ゲニナッテ居リマスルガ、或ハ社會ノ情勢トカ學問ノ傾向トカ云ツヤウナコトヲ御舉ゲニナッテ居リマスルガ、茲ニ教授其ノモノノ思想ヲ御舉ゲニナッテ居ラヌト云フコトハ、私誠ニ怪訝ニ堪エナイ、寧ロ社會ノ情勢ヨリハ直接日夜學生ニ親炙致シ、又學生ヲ指導シテ居リマスル此ノ教授ノ思想ト云フモノガ學生ニ與ヘル影響トフモノハ、實ニ至大ナモノガアル、又影響ヲ與ヘナイヤウナ教授デアッタナラバ、ソレハ値打ノナイ先生デアアル、學問ト信念ヲ二ツニ分ケテ、サウシテ學問ハ學問ダ、信念ハ信念ダト言ッテ別ナ方法ヲ指導スルト云フコトハ、是ハ當ラナイコトナンデアリマシテ、學問トシテ正シイ學問デアルト信ジテ植付ケテ居リマスルモノハ、結局信念ニナル是レ「マルクス」學ガ結局中學高等學校ヲ經テ來タ正シイ學生ヲ轉ジテ其ノ「マルクス」信念信奉者ニナラシメル所以デアリマス、

非常ナル魅力ヲ與ヘ、結局魅力ニアラズシテ、是ガ學生ノ信念ニナッテ、サウシテ今治安維持法ノ上ノ處分者トナッテ來ルノデアリマシテ、寧ロ學生ニハ罪ハナイ、罪ハ教授ニアル、而シテハ私ガ現文部大臣ニ對シテ申上ゲルノデハナイ、歷代ノ文部省ト云フモノガ何故々々モット早ク根本的ニ此ノ教學ヲ刷新ヲオヤリニナラナカッタカ、私ハ實ニ是ハ社會ノ知識、上流ニ送ルノハ大學デアリマス、是ガ結局日本ノ御國ヲ與カル人ニナル其處カラ斯様ナルモノガ出ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、大學ト云フモノハ、大學ト私申シマスルノハ專ラ自然科学ヲ離レタ經濟、法、文ヲ申スノデアリマス、或意味ニ於キマシテ此ノ反國體者ヲ養成ラシテ居ルト申シテモ差支ナイ、ソコデ私ハ今日ハモウ所謂學校ノ肅學ト云フモノハ御工夫ニナル時機ニハ非ズシテ、何等カ斷行ナサル時期デアルト思フノデアリマスルガ、ソコデ私ハ御伺ヲ申上ゲタイノハ、獨リ大學ト申サズ、此ノ反國體ノ學問ヲ講義スルコトヲ、學校ニ於テ御許シニナルカドウカ、是ハ簡單デ宜シウゴザイマス、モウ別ニソレヲドウスウト云フコトハ要ラナイ、唯「ノー」カ「イエス」カト云フコトダケ伺ヘバ宜シイノデアリマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 御返事申上ゲマス、有ラユル學校ニ於キマシテ、反國體的ナ思想ヲ學生以下生徒ニ向ジテ授與致シマスコトハ斷平許サレナイコト、存ジテ居リマス

○男爵井田磐楠君 サウ致シマスルト「マルクス」ノ經濟ト云フモノモ、現在大學ニ於テハ教ヘテ居ラス、或ハ既ニ今日政府委員カラ伺ヒマシタ所ニ依ルト、機關説ト云フモノハ國家ニ於テ二元論ト雖モ之ヲ禁ジテ居ル、絕對禁止ヲシタノダ、斯様ナ風ニ伺ッテ居リマス、ソレカラ又私有財産ト云フモノハ此ノ治安維持法ノ上ニ於テ、之ヲ國體變革ノ下ニ私有財産ヲ否定スルト云フコトハ是亦治安維持法ニ關係ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、斯様ナル學ヲ講ズルコトハ大學ニ於テ、或ハ高等學校專門學校等ニ於キマシテ講義ヲ御許ニナッテ居ルノデアリカ、ナッテ居ラナイノデアリカ、之ヲ伺ッテ置キマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 今回議題トナッテ居リマス治安維持法ニ抵觸スル如キ學説ハ從來訓令ヲ以テ禁止シタト云フコトニナッテ居ナイコトハ存ジテ居リマスガ、法令トシテ既ニ治安維持法ガ行ハレテ居リマス以上、又今同特ニ斯ノ如キ法令ヲ政府ノ方デ提出致シマシタ以上、斯ノ如キ學説ヲ以テ政府ト學生ノ訓育ニ當ラムトスル者ハ斷平排除シナケレバナラヌト存ジテ居リマス

○男爵井田磐楠君 斷平排除ト云フノハ何等カ文部省ニ於カレマシテ、左様ナルモノハ教授トシテ免黜ヲスルト云フ風ナ意味ニ伺ヘルンデアリマスガ、其ノ斷平排除ノ意味ヲ御伺ヒ申上ゲマス

○國務大臣(橋田邦彦君) ソレハ思想内容ノ程度如何ニ依リ、又本人ノ心構ガドウデアルカト云フヤウナ狀況等ニ依リマシテ、多少ノ斟酌ノ餘地ハアルト思ヒマスガ、若シ教授トシテ生徒ノ訓育ニ在ラシメテナラナイト云フコトガ事實トシテハッキリ致シマシタ場合ニハ、是ハ教授タルノ職ニ在ラシメテナラナイト考ヘテ居リマス

○男爵井田磐楠君 從來各學校ニ於キマシ

テ新様ナル問題ノ起キタコトハ少クナイノ
デアリマスルガ、之ニ關シマシテ是ハ單リ
學校ノミナラズ、本來此ノ各省ト共ニ責任
ト云フモノガ少シモ明カデナイノデアリマ
ス、是ハ先般ノ前議會ニ於キマシテ松本博
士ガ此ノ政府ノ責任ニ付テ本會議ニ於テ議
論ヲナスツト通リデアリマシテ、私共特ニ
最モ此ノ教學ノ任ニ當ル、此ノ學校ニ於キ
マシテ、殊ニ此ノ思想上ノ問題ガ起キタ時
ニ從來責任者ガ出テ居ラナイ、大學ノ問題
ニ於キマシテ、未ダ嘗テ責任者ヲ見タコト
ガナイノデアリマス、是ハ現大臣ノ時ト申
ス譯デハアリマセヌ、總テ私ガ申シマスル
ノハ現大臣ノ下ト云フ譯デハアリマセヌ、
在來サウナツテ居ル、何ントカ此際ニ於キマ
シテ國體明徴ガ叫バレ、國民ガ學國一致シ
テ火ノ玉ノヤウニナツテ、御國ニ御奉公シ
ケレバナラスト云フ其ノ時ニサウシテ大臣
閣下ガ色々御訓令ヲ發シ、國ヲ思フテ御訓
令ヲ發シテ居ル時ニ、依然トシテ各學校ノ
内ニ於テ同ジ様ナ事ガ教授ニ於テ行ハレテ
居ルノデアリマス、私共何トカ政府ニ努力
シテ、政府ニ微力ヲ御添ヘ申シテ、浪人ト
シテ何トカ之ヲ共々斯様ナル者ヲ教學ノ中
カラ拂拭スベク努力ヲ致シテ居ル一人デゴ
ザイマスルケレドモ、此ノ問題ハナカ
容易ナ問題デハナイ、是ハ深く私ハ大臣閣
下ノ御心算實ハ深く深ク御同情ヲ申上ゲ
テ居ル一人デアリマシテ、前荒木大臣閣下
ガ、大學肅正ヲ爲サムト欲シテ、爲サレヤウ
ナ爲サレナイヤウナ、サウシテ是ハ軍司令
官ガ幕僚ヲナクシテ敵前上陸ヲシタト云フ
ヤウナコトスラ、其ノ直接ノ親近ノ方言
ハレテ居ルヤウナ情勢ナンデアリマス、一
國ノ國務大臣ガ自分ノ管轄ヲシテ居ル其ノ

大學ノ内ヲ、十分御監督スルコトガ御出來
ニナラスト云フコトガ今日ノ實情ナンデアリ
マス、妙ナ事ナンデアリマスガ實情ナンデ
アリマス、併シ是ハ私ハ決シテ一文部大臣
閣下ニ御願ヒスルト云フ譯デハゴザイマセ
ヌ、實ハ今日此ノ席ニハ總理ノ御出席ヲ望
ンデ、全國務大臣ノ方々ガ、獨リ此ノ問題
ヲ文部大臣ノミニ御任せニナラズニ、全閣
僚ガ此ノ問題ヲヤジテ戴キタイノデアリマ
ス、サウシナケレバ是ハ治安維持法ミタイ
ノモノヲ作ツタツテ役ニ立タナイ、斯ナモ
ノヲ、私斯ウ云フモノノ強クナツタリスル
ト云フコトガ、實ハ國家ノ恥辱ダと思ツテ
居ルノデアリマスガ、ソレダケ私ハ文部大
臣閣下ニ此ノ問題ヲ此ノ際ニ於キマシテ徹
底的ニ一ツ肅學ノ實ヲ舉ゲテ戴キタイノデ
アリマス、之ニ關聯致シマシテハ相當學内
ハ或ハ反對ヲスルカモ知レマセヌガ、學内
ノ反對ハ意トスルニ足ラナイ、國家ヲ確ッ
リ背負ツテ戴クノハ現大臣方々デアラウト
私ハ思フノデアリマス、何トカシテ此際ニ
於テ大奮發ヲシテ戴キタイ、是ハ文部省ノ
玆ニ各役人ノ方々ガ御出デアリマスルガ、確ッ
カリ大臣ニ一ツ御協力ヲ願ヒタイ、大臣ニ確ッ
リ御協力ヲ願ヒタイ、教授ガ首ヲ齧ラレ
タツテ差支ナイ、教授ノ補充ヲシ得ナイト云
フコトヲ聞クンデデアリマスケレドモ思想ノ
宜シクナイ教授ハ、サウ云フ教授ハ居ラス方
ガ増シダ、ソレハ直チ只今日本經濟學ト云フ
ヤウナ銘ヲ打ツヤウナ教授ハ或ハナイカモ
分リマセヌケレドモ、サウ云フ教授ハ御出
デニナツテ、學生カラ採マレ採マレ居ル間
ニ二年三年ノ間ニ學問ニナツテ行クンダ、苦
シイ思ヒヲ矢張りサセナケレバナラス、唯
今迄語學ガ出來ル、ソレヲ翻譯シテ、苦勞

ナクシテサウシテ教授ノ位地ニ立ツテ居ル
人ガ多イト思フ、サウデナイ本當ニ學問ハ
創造ノ時代デアルト思フノデアリマス、ソ
レカラ矢張り自然科學者ノヤウニ、此ノ二
ツトハ出來ノ惡イ學者デモ連レテ來テ、サ
ウシテヤツテ居ルウチニハ、サウ云フモノガ
大成スルンダ、其ノ時ノ學問ハ餘リ組織デ
ナイヤウナ學問ヲ教ヘルカモ知レマセヌケ
レドモ、併シ日本ノ國體ニ反スル學問ヲ教
ヘサセルニ較ベテハドレダケ國家ノ上カラ
見テ其ノ方ガ有益デアラウカト思フノデア
リマス、教授ノ有ルトカ無イトカ云フコ
トハ理由ニナラス、私ハ遁辭ニ過ギナイト
思ヒマス、斯様ナルコトハ私ガ御尋ネ致シ
マセヌ、ソレハ教授ガナイカラナント云フ
コトハ、現大臣閣下ハ仰シヤラスと思ヒマ
ス、私ハ全文部省ガ文部大臣閣下ノ心ニ一
緒ニナツテ、軍司令官ヲシテ幕僚ナクシテ敵
前上陸ヲサセルト云ツタヤウナコトノ
ナイヤウニ、私ハ深く、是ハ此處ニ
オイデノ政府委員方々デヤナイ、全局長、
全課長ガ心ヲ合セテ一ツニナツテ、文部省ガ
火ノ玉ニナツテヤツテ下サラスト、此ノ肅
學ノ實ハ私ハ舉ラスコトト思ヒマス、實
ハ此ノ點ハ單リ大學ノミデハナイ、私ノ
手許ニ來テ居リマスル情報ト致シマシテ、
高等學校ノ中ノ所謂言說デアリマス、組織
デハナイ、言說デアリマス、此ノ言說タル
ルヤ、又若イ高等學校ノ學生ヲ率イテ妙ナ思
想ニ赴カシメル所ノ主ナル原因ヲナシテ居
ル斯様ナ情報ガ多ク私ノ所ニ集マツテ居リ
マス、先程大臣閣下ノオイデニナラス時
ニ、私ハ其ノ學校ノ名譽ノ爲ニ教授ノ名前
ヲ舉ゲズニ、私有財産ヲ否定シ、サウシテ
國體ニ缺陷アリト申シタ一漢學ノ教授ノ例

ヲ引イタノデアリマス、處ガ後デ此ノ委員
會ノ中ノ方ガ私ニ申サレルノニハ、井田ハ
ナイコトヲ言ツテ居ルンデヤナイカ、ハッキ
リト學校ト教授ノ名前ヲ言ツタラ宜イデヤ
ナイカ、ソレデナケリヤ井田ノ言ツタコト
ハ結局出鱈目ヲ言ツタコトニナルノデヤナ
イカ、斯ウ迄言ハレテ居リマスルノデ、私
ハ速記ノ上デハ學校ノ名前ト教授ノ名前ハ
取ツテ戴キタイ、併シ此處デハ外ノ場合デ
ゴザイマセヌノデ：國家ヲ思フ時ニハ學
校ノ名譽モ、教授ノ名譽モナイノデアリマシ
テ、コ、ニ誠ニ忍ビマセヌケレドモ、速記
ノ上ニ學校ト教授ノ名前ハ預リマスルガ、
暫ク之ヲ言フコトヲ御許シテ願ヒタイノデ
アリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ

(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メ
テ：

○男爵井田馨楠君 我ハ、今日高等學校教
授ノ組織ナラス言說ニ至ル迄、學生ヲ指導
シ、學生ヲ自分ノ思想ノ方ニ導クダケノ力
ヲ非常ニ持ツテ居ルト云フ事實ヲ御指摘ヲ
申シタ次第ナノデアリマスル、單ニ學問的
ノ問題ノミナラズ、今日ハ言說迄斯様ナコ
トガアルノデアリマス、深く、之ヲ思ヒ
マスル時ニ、私ハ今日ノ日本ノ教學ノ狀態
ト云フモノハ、多年ノ問題ガ、文部省ノ教學
刷新ノ御方針デアリニ拘ラズ、是ガ段々背
馳シタ所ニ參ツテ居リマス、是ハ最早今日
ハ一片ノ訓令デハ手ガ届カナイ、而シテ治
維持法モ及バナイ、治安維持法モ及バナ
ク、訓令モ及バナイト云ツタヤウナ所ニ仕
事ヲシテ居ルノデアリマシテ、極メテ巧妙

ナコトノ下ニ學生ヲ惑亂ヲシテ居ルト思フ
ノデアリマス、ドウカ今日ハ根本的ニ一
ツ……モウ工夫トカ、技術デヤナイ、思ヒ切ッ
テ一ツヤッテ戴キタイ、平沼内務大臣閣下モ
オイデデアリマスルガ、ドウカ一ツは首
相ニモ、平沼内務大臣閣下カラモ御話ヲ戴
キマシテ、各省ガ一致團結ヲシテ、本當ニ教
學ノ……ヤレ、國體明徴ト云ツヤウナ觀念
論デヤナイ、所謂臣道實踐デアリマス、是
ガ臣道實踐、ドウカ文部省ニ於カレマシテ
モ、觀念論ハ止メテ戴キマシテ、シツカリ
ト臣道實踐ヲシテ戴キタイと思ヒマス、私
ハ胸ガ一パイデアリマシテ、申シタイコト
ハ澤山アリマスルガ、モウ今日、私ハ文部
大臣閣下ノ御返事ハ戴カナイ、私ハ文部大
臣閣下ニ今此處デ御互ヒニ御話ヲシテ、ソ
レデ文部大臣ノ御決心ガ私ニ分ツタ、御返事
ハ戴カナイ、ドウカ宜シク一ツ……私ガ宜
シク御願ヒスルト云フコトハ誠ニ宜シクナ
イノデアリマスガ、昨年頂戴致シマシタ勅
諭ニハ、天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシト三
回迄仰セニナツテ居ル、私ハ總理大臣閣下
ガ先般新體制準備委員會ノ御アリノ時ニ、
昨日ハ親シク 天皇陛下ニ咫尺ヲシテ上奏
ヲスル所ガアツタ、今迄億兆一心、億兆一
心ト云ツケレドモ、結局是ハ形容詞デア
ル、私ハ億兆一心デナケレバナラスト云フ
コトヲ昨日ハ深く感激ヲシタ次第デア
ル、アナタ方ハ新體制ノ生ミノ親ハ私デア
ルト仰シヤツタガ、アナタ方モ一緒ニナツ
ドウカ新體制ヲ生ンデ戴カナケレバナラナ
イノダ、ドウカ蔭日向ニナツテ總理大臣ガ
私共ニ助ケテ呉レト仰シヤツテ戴キマシタノ
デ、私共誠ニ微力デアリ、自分ヲ省ル時ニ御
恥シイ人間デアリマスケレドモ、私ハ其ノ

時ニ是ハドウシテモ今日出来マシタ大政翼
賛會ノ末席ヲ汚サニヤナラスト、其ノ時
ニ私ハ深く總理大臣閣下ノ御言葉ヲ承知シ
タノデアリマス、尙又先般貴族院ノ此ノ秘
密會ノ中ニ於キマシテハ、死ヲ決シテ御奉公
スルト云フコトヲ御誓ヒニナツテ居ルノデ
アリマシテ、今日私ハ總テハ全ク一體ニナ
リマシテ、サウシテ此ノ御奉公ヲ實踐スル
ベキダト思フノデアリマシテ、ドウカ私ガ
申上ゲル迄モゴザイマセヌ、釋迦ニ說法デ
アリマス、文部大臣閣下ハ正法眼藏ナンゾ
ニ付キマシテモ御造詣ガ深い、是ハ決シテ
觀念的ニ御取扱ニナツテ居ルノデハナイ、
所謂其ノ方ヲ體得ヲシテ居ラレ方ト私ハ
信ジテ居リマス、其ノ正法眼藏ノ上カラ見
マシテモ、結局實踐ト云フコトニ行ク、行
デアルト私ハ思フノデアリマス、兎ニ角私
ハ今日御實踐ノ上ニ於テ、眞ナル國體明徴
ヲ一ツ表シテ戴キタイト云フコトヲ深く深ク
御望ミヲ致シマス、私ハ是以上モウ御返事
ハ頂戴致シマセヌ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 質疑ハ終了致
シタモノト認メテ差支ヘゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 質疑ハ終了致
シマシタ、討論ニ入リマス前ニ、討論ノ順序
ニ付キマシテ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタイと思
ヒマス、修正意見ヲ御出シテ願ヒマシテ、修
正意見ノ御賛成ガアリマスレバ、ソレデ修
正案ハ議題トナルノデアリマス、ソレデ修
正案ニ對シマシテ先ニ決ヲ取リマス、ソコデ
今度ハ次ニ原案ニナルノデアリマス、原案ノ
討論ヲ願ヒマシテ、希望條件ヲ此ノ際ニ御
提出ヲ願ヒ希望條件ニ對スル發言ヲシテ戴
キタイと思ヒマス、次ニ原案ニ付テ採決

ヲ致シマス、原案ノ採決ガ終リマシタ後
ニ、希望條件ニ付テノ採決ヲ致シマシテ、
政府ニ於テ希望條件ニ對シテ御發言ガアリ
マスレバ、此ノ際ニ御發言ヲ願ヒマス、最
後ニ政府ノ言明ガゴザイマセヌナラバ、此
ノ機會ニ言明ヲ願ヒタイト、斯ウ思ッテ居
マリス、ソレデハ討論ニ入リマス

○次田大三郎君 私ハ本案ニ對シマシテ修
正意見ヲ提出スル者デアリマス、其ノ修正
ハ第十條ノ私有財産制度ヲ否認ト云フ文字
ノ下ニ「シ又ハ憲法ニ定ムル統治組織ノ機能
ヲ不法ニ變壞」ト云フ文字ヲ入レヨウト
云フノデアリマス、結局第十條ヲ「私有財
産制度ヲ否認シ又ハ憲法ニ定ムル統治組織
ノ機能ヲ不法ニ變壞スルコトヲ目的トシテ
結社ヲ組織シタル者又ハ情ヲ知リテ結社ニ
加入シタル者若ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニス
ル行爲ヲ爲シタル者十年以下ノ懲役又ハ
禁錮ニ處ス」ト改メントスルノデアリマス、
次ニ第十一條ニ次ニ一項ヲ加ヘルト云フ
ノデアリマス、ソレハ「前條ノ目的ヲ以テ
其ノ目的タル事項ヲ宣傳シタル者ハ三年以
下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」ト修正セントス
ルモノデアリマス、修正ノ理由ハ是ガ議題
ニナリマシタ後ニ御説明致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今次田君ヨ
リ修正ノ提案ガゴザイマシタガ、之ニ賛成
ノ御方ノ舉手ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 三名ノ賛成
ガアリマスノデ、動議ハ成立致シマシタ、
此ノ場合ニ於キマシテ修正案ノ御説明ヲ願
ヒタイと思ヒマス

○次田大三郎君 此ノ修正案ヲ提出致シマ
シタ理由ハ、先日來ノ質疑應答ノ際ニ略、

論議ハ盡サレタト考ヘマスカラ、今日ノ場
合極ク簡單ニ其ノ筋道ダケヲ申上ゲテ皆様
ノ御賛成ヲ願ヒタイと思ヒマス、今度政府
ノ提案ニナリマシタ治安維持法改正法律案
ハ、曾テ昭和九年第六十議會ニ提出セラレマ
シタ治安維持法改正法律案ト略、同一ノ内
容ヲ有スルモノデアリマス、而シテ第六十
五議會ニ於テハ其ノ法律案ヲ審議致シマシ
テ、貴族院ニ於テ之ニ幾多ノ修正ヲ加ヘマ
シテ、之ヲ衆議院ニ送付致シマシタ、兩院
協議會ガ纏リマセヌ結果、法律案ガ不成立
トナツタ因縁付ノ法律案ナノデアリマス、
私ガ只今原案ノ第十條、第十一條ニ付テ修
正意見ヲ提出致シマシタノハ、一口ニ申セ
バ其ノ際ノ貴族院ノ院議ヲ尊重スルト云フ
コトニ盡キルノデアリマス、尤モ其ノ際ニ
即チ第六十五議會ニ於テ、貴族院ガ原案ニ
對シテ修正ヲ加ヘマシタ箇條ハ此ノ二箇條
ダケデハナイノデアリマス、先ヅ此ノ二箇
條ノ外ニ刑事手續ニ關スル規定中ノアルモノ
ヲ修正致シマシタ、ソレカラ豫防拘禁ニ關
スル規定ヲ全部削除致シマシタ、此ノ度ノ
刑事手續ニ付テハ第六十五議會ニ提出ニナ
リマシタモノヨリモモット嚴シイ手續ノ規
定ガアリマス、又豫防拘禁ニ付テハ略、同
様ノ規定ガアルノデアリマス、併シナガラ
其ノ當時貴族院ガ豫防拘禁ニ關スル規定ヲ
全部削除致シマシタノハ、特別委員會ニ於
テ希望決議トシテ決議致シマシタ通りニ、
豫防拘禁制度ノ精神ニ關シテ反對シタノデ
ハナイノデアリマス、其ノ精神ハ賛成デア
ルガ、併シナガラ本案ノ規定ハ幾多審議ス
ベキモノアリト認メテ之ヲ否決シ、併セテ
政府ニ向ッテ更ニ研究シテ適切ナル立案ヲ
シ、改メテ提案シテ貰ヒタイト云フコトヲ

特別委員會ニ於テハ希望決議トシテ決議シタノデアリマス、處デ政府ニ於テ其ノ後八年間御研究ノ結果、矢張り此ノ豫防拘禁ノ制度ハ共產主義者取締ノ必要上是非之ヲ作ラナケレバナラナインダト云フ結論ニ達シテ又出シテ來ラレタコトデモアリマスシ、又先日來政府委員ノ説明ヲ伺ヒマスルト、モウコ、數箇月ノ間ニ多數ノ共產主義者ガ刑期ヲ終ッテ出獄スルコトニナッテ居ル、其ノ中ニハ未ダ改悛シナイ者モアルノデアッテ、之ヲ刑期ガ終ッタカラト云フテ直ニ自由ノ境地ニ置クコトハ非常ニ危險デアルト云フ御説明ヲ伺ヒマシテ、私共モ豫防拘禁制度ヲ設クルコトハ已ムヲ得ナイコトデアルト云フ結論ニ達シタ次第デアリマス、即チ豫防拘禁ノ制度ヲ認ムルト云フコトハ、第六十五議會ニ於テ貴族院ハ豫防拘禁ニ關スル法文ヲ削除シタコトト、矛盾シナイモノト考ヘマシテ、此ノ度ハ豫防拘禁ニ關スル規定ハ其ノ儘ニ之ヲ認ムルコトト致シタイノデアリマス、其ノ次ニ此ノ原案ノ第二章ニ頗ル嚴重ナ手續ガ規定シテアルノデアリマシテ、前回ニ貴族院ガ認メマシタモノニ較ベマシテ、更ニ數段非常ニ縣隔ノアル嚴重ナ手續ニナッテ居ルノデアリマス、私自身ト致シマシテハ、之ニ付テハ色々意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ本案ノ第二章ニ規定シテ居リマスル刑事手續ト略、同様ノ刑事手續ハ昨日本院決議ニナリマシタ國防保安法中ニ規定ガアルノデアリマス、私共ハ此ノ國防保安法案ニ對シテハ反對致シタ者デアリマスルケレドモ、多數ヲ以テ決議セラレマシテ、モウ貴衆兩院ヲ通過シタコトデアリマスルカラ、國防保安法ハ近ク正式ニ法律ニナルコトト

思ヒマス、既ニ國防保安法ニ規定スル犯罪ニ付テ此ノ種ノ刑事手續ヲ認メタ、而シテ其ノ中ニハ外國ニ通謀スルコトヲ目的トシタ治安維持法ニ關スル犯罪ニ付テモ、國防保安法ニ規定シタル刑事手續ヲ執ルト云フコトニナッタノデアリマスルカラ、其ノ權衡上ヲ考ヘマシテ、本法ノ犯罪ニ付テ此ノ第二章ニ規定スルガ如キ刑事手續ヲ執ルト云フコトモ亦已ムヲ得ナイコトデアルト考ヘマシテ、ソレニハ異存ヲ申サナイノデアリマス、殘ル所ハ罪ニ關スル規定ノ中デ、前回ハ私が只今讀ミ上ゲマシタ修正案ノ通りノ修正ガ貴族院ノ院議トナッテ居ルノデアリマス、ソレハ昭和九年ノコトデアリマシテ、既ニ其ノ後七八年ノ歲月ヲ經過シテ居ルノデアリマス、其ノ當時此ノ修正ヲ爲スコトヲ必要トシタ社會情勢其ノ他ノ色々ナ事情ガ、今日無クナッテ居リマスレバ兎モ角、私ノ見ル所デハ、今日ハ其ノ當時ニ較ベマシテ斯カル修正ヲ加ヘルコトハ、之ヲ具體的ニ申シマスレバ政體ノ變革ヲ企ツルモノヲ取締リ、私有財産制度否認ヲ目的トシテ之ヲ宣傳スル者ヲ取締ルト云フコトノ必要ハ、昭和九年當時ニ比シテ少シモ減ジテ居ナイノミナラズ、更ニ其ノ必要ガ益加ハッテ來タト云フコトヲ痛感致シマスルノデ、ドウシテモ昭和九年、六十五議會ニ於テ貴族院ガ加ヘタト少クモ同様ノ修正ヲ本案ニ向ッテ加ヘザルヲ得ナイト云フコトヲ考ヘマシテ、此ノ修正案ヲ提出致シマシタノデアリマス、何率御賛成ヲ御願ヒ致シマス

ト思ヒマス、意思表示ヲ致シタイト思ヒマス

○子爵舟橋清賢君 議事進行ニ付テ一言發言ヲ御許シ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 舟橋君

○子爵舟橋清賢君 此ノ際大臣ニ於カレマシテ、只今提案ニナリマシタ修正案ニ對シ、御意見ナリ御言明ガアリマスルヤウデアリマスルナラバ、此ノ機會ニ承ッテ置キタイト存ジマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 伊江君ニ伺ヒマスガ、何カ御意見デスカ

○男爵伊江朝助君 イエ、別ニ意見ハアリマセヌ、唯贊成ノ意思ヲ表示シタイ、若シ御都合惡ケレバ取止メテモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 後ノ時ニ御讓リ願ヒタイト思ヒマス、此ノ際政府ニ於テ修正案ニ對シマシテ何カ言明セラレル所ガアリマスレバ、此ノ際、言明セラレルコトガ宜イト思ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 修正案ノ要點ハ憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞セムトスルモノヲ取締ラムトスルニアリマシテ、御趣旨ノアル所ニ付キマシテハ、十分諒承致シマスノデアリマスガ、之ヲ法文ニ現シマスニ付キマシテハ、更ニ周到ナル考究ヲ要シマスノデ、藉スニ時日ヲ以テセラレタイト存ズル次第デアリマス、此ノ趣旨ヲ以チマシテ、慎重研究ノ上、近キ將來ニ於テ、立法ノ手續ヲ執ルコトニ致シタイト存ジマス、尙私有財産制度否認ノ宣傳ヲ取締ラムトスル點ニ付テモ、同様考慮致シタイト存ジマス

○子爵舟橋清賢君 現下ノ社會ノ情勢ハ、

只今大臣ガ仰セラレマシタ御言葉ノ如キ、藉スニ多大ノ日子ヲ以テスルコトヲ許サナイ事情ガゴザイマス、只今大臣ノ御言明中、近キ將來ニ云々ト云フ御言葉ノ意味ニ付テ、此ノ際念ノ爲ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 只今近キ將來ト申シマシタノハ、議會提出ノ以前ニモ必要ヲ痛感シ、且適當ナ法案ヲ得マスレバ、緊急ノ勅令ニ於テモ致シタイト考ヘマス、然ラザレバ次ノ議會ニ提出致シタイ考ヘデアリマス

○子爵舟橋清賢君 只今司法大臣ノ御言明ニ依リ、政府ノ御決意ノアル所モ能ク諒承致シマシタ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御發言ハゴザイマセヌデゴザイマセウカ……ゴザイマセヌケレバ修正案ニ對シマシテ採決ヲ致シタイト思ヒマス、修正案ヲ可トスル御方ノ舉手ヲ願ヒマス

(舉手者少數)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 三人デゴザイマス、少數ト認メマス、仍テ修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ原案ニ對シテ討論ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ際希望決議案ノ提案ヲモ御許シシタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 私ハ治安維持法改正法律案ノ政府提出ノ原案ニ贊成ヲスル者デアリマス、今日内外ノ情勢ハ非常ニ緊迫シテ參ッテ居リマスシ、又思想的ニハ是亦内外非常ニ危險ナル情勢モ觀取セラレルノデアリマシテ、又一方ニハ生活問題、社會問題等モ、相當種々複雑ナルモノガアルノデアリマス、治安維持法ノ改正ヲ必要トスルニ至ッタト云フコトハ誠ニ遺憾ナコトデアリマス

ルケレドモ、是ハ已ムヲ得ザルモノデアッ
テ、亦今日ニ於テハ必要ナル問題デアルト
考ヘルノデアリマス、此ノ賛成ニ付キマシ
テハ、色々意見ヲ述べタコトモ、多々アル
ノデアリマスルガ、時間モ大分経過致シマ
シタシ、又過日來ノ質問ノ際ニ於テ各委員
カラ御意見モ相當多分ニ盛り込マレテ
居ッタノデアリマスカラ、此ノ際私ハ更ニ
重複シテ是等ノ意見ヲ繰リ返スコトヲ避ケ
マシテ、簡結ニ述ベタイト存ズル次第デ
アリマス、此ノ法律改正案ハ從來ノ罪
ヲ加重シタコト云フコトガ各條項ニ互ッテア
ルノデアリマシテ、是ハ此ノ種ノ犯罪ヲ取
締テ行ク必要上カラシテ、適當ナルコト
ト考ヘルノデアリマサルシ、又新シク第二
條、第三條等ニ於テ、或ハ結社ヲ支援スル
目的ヲ取締リ、或ハ結社組織ヲ準備スル行
動ヲ取締ラムトスル條項ヲ新クニ設ケラ
レ、又集團ニ付キマシテモ、條項ヲ加ヘラ
レマシテ、一層此ノ種ノ不逞ナル行動ヲモ
取締リ、處罰ヲ決定シヨウト云フコトデア
リマスルシ、更ニ又單ニ結社ノミナラズ、
此ノ種ノ事項ノ實行ニ付テ煽動ヲナシ、又
此ノ種ノ目的タル事項ヲ宣傳シ、其ノ他目
的遂行ノ爲ニスル行為ト云フ風ナ、相當廣
範圍ニ互ッテノ個人行動等ニ付テモ、取締
ノ實ヲ擧ゲヨウト云フ趣旨デアリマシテ、
是ハ從來ノ此ノ治安維持法關係ノ犯罪等ニ
鑑ミマシテ、又其ノ他ノ法律ノ適用セラレ
タル事項等ニ關シマシテモ、此ノ治安維持
法……主トシテ團體ヲ變革セムトスル運
動等ニ對シマシテハ、是等ノ個人ノ行動ニ
付テモ十分國法ニ依ッテ取締テ行クト云フ
コトガ必要デアルトハ申ス迄モナイノデ
アリマス、其ノ他各改正ノ條項ハ、從來此

ノ種ノ犯罪ノ實體ニ鑑ミマシテ、孰レモ適
當デアルト考ヘル次第デアリマス、尙此ノ
法律ノ改正條項ノ中ニ、私有財産制度ノコ
トハ最近種々ノ方面ニ於テ相當私有財産ヲ
否認スルト云フ懸念ヲ與ヘルヤウナ言論サ
ヘ世間ニハ往々散見スルノデアリマシテ、
是等ノモノハ其ノ取締、此ノ法ノ適用ニ於
テモ、十分是等ノ言動ニ對スル精神ノアル
所……、根本ヲ十分ニ衝イテ、斯カル
ル私有財産否認ト云フヤウナ、總テハ團體
ニモ影響スル虞ノアルヤウナ行動ヲナス者
ニ對シテハ十分ナル態度ヲ以テ峻嚴ニ之ヲ
取締ラレルコトガ必要デアルト考ヘルノデ
アリマス、又只今提案ニナリマシタ此ノ政
體變革ヲ目的トスル行動ノ取締ニ付テノ條
項ハ、只今政府ノ言明ニ信賴シマシテ、我
我ハ、貴族院トシテハ既ニ一遍可決シタル
修正條項デアリマサルケレドモ、此ノ法
文ノ作成上、又更ニ考究ヲ要スルト云フ只
今ノ御言明モ御尤トモ考ヘマスルノデ、之
ニ付キマシテハモウ既ニ八年前ニ其ノ希望
ハ貴族院ニ於テ述べテ居ルノデアリマスル
ケレドモ、然ルニモ拘ラズ、今日迄其ノ適
當ナル成案ヲ得ナカッタコト云フ過去ノ事實
ハアルノデアリマサルケレドモ只今政府ノ
御言明ハ、唯徒ラニ時日ヲ遷延スルコトデ
ナク、慎重ニ、而モ速カニ此ノ立法手續ヲ
執ルト云フ司法大臣閣下カラノ御言明ハ決
シテ從來ノヤウナ唯漫然時ヲ看過スルト云
フコトデナク、必ズ其ノ言明ヲ實行セラル、
コトト信ジマシテ、其ノ言明ヲ信賴シテ
我々ハ一應此ノ修正意見ニハ賛成ヲシナカッ
タ譯デアリマスルガ、併シ趣旨ニ於テハ
全然同感ナノデアリマス、從ッテドウカ此
ノ點ニ付キマシテモ、政府ニ於テ十分檢討

ノ上我々モ憂慮シテ居ル點ニ付テ、此ノ法
ノ適用ヲ適當ニ實行セラレマスルコトノ出
來ルヤウナ修正案ヲ少クモ次期議會ニ御提
出セラル、コトヲ切ニ希望スル次第デアリ
マス、尙私有財産制度ニ付キマシテモ同様
ノ御言明ガアリマシタノデアリマスルガ、之
ニ付キマシテモ同様ノ希望ヲ述べテ置ク次
第デアリマス、尙此ノ法文ノ修正條項中ニハ
刑事手續、或ハ豫防拘禁等ノ條項モ新クニ追
加セラレタノデアリマシテ、是等ハ運用其
ノ宜シキヲ得ナカッタナラバ、非常ナル社
會不安ヲ招クコトハ疑ヒナイコトデアリマ
シテ、政府ニ於テハ固ヨリ申ス迄モナイコ
トデアリマスルガ、徒ニ其ノ運用宜シキ
ヲ得ナイ爲ニ社會ニ不安ヲ與ヘルヤウナコ
トノナイヤウニ十分慎重ナル用意ヲ以テ處
置セラレルコトヲ希望スル次第デアリマ
ス、殊ニ是等ニ付キマシテハ、從來例ノナ
イ事項モ多イノデアリマスルカラシテ、
從ッテ之ガ執行ノ任ニ當ル各關係官ニ對シ
テハ十分指導教育ト言ヒマスカ、能ク此ノ
運用ヲ誤ラザルヤウニ要請セラル、コトガ
必要ト考ヘルノデアリマス、尙此ノ種ノ思
想犯罪ハ近年色々ノ情勢カラシテ相當數モ
加ッテ參ッテ居ルノデアリマスルシ、又罪質
モ惡辣トナリ、又潛行ノトナリ巧妙ニナッ
テ居ルモノモ少クナイノデアリマス、又相當
計畫的デアリ、外國トノ關係等モアルノデ
アリマシテ、誠ニ戰慄スベキモノガアルコ
トハ申ス迄モナイノデアリマス、是等ノ運
動ニ對シマシテ政府ニ於テモ各當局ニ互リ、
各省ニ互ッテ種々施設セラル、所ガ間接
ニ此ノ種思想ヲ激發スルヤウナ情勢ヲ作ル
ト云フコトモナイデハナイノデアリマシ
テ、是ハ固ヨリサウ云フ意思のデナク、又

今日ノ社會情勢カラシテ已ムヲ得ズサウ云
フヤウナ運動ノ溫床ヲ成スヤウナ事例モ少
クナイデアリマスルガ、之ニ付テハ餘程周
密ナル注意ヲ加ヘテ、又政府各省各當局間
ニ於テモ是等ノ間ニ十分ナル連絡ヲ執ッテ、
出來得レバ適當ナル機關ヲ設ケテ、之ガ徹
底的究明ヲセラレテ、過ナキコトヲ期セラ
ル、コトガ最モ必要デアルト考ヘルノデア
リマス、殊ニ最近ノ此ノ統制經濟等ニ至リ
マシテハ、其ノ影響スル所ハ實ニ深刻ナル
モノガアリ、又頗ル廣汎ナルデアリマスル
カラシテ、國民思想ノ上ニモ及ス影響モ非
常ニ從來ト異ツク意味ノアル、危險ナルモ
ノアリ得ルノデアリマスルカラ、格段ノ
注意ヲ加ヘラル、コトガ特ニ必要デアルト
云フコトヲ考ヘル次第デアリマス、尙是等
ノ犯罪ハ如何ニ治安維持法ヲ改正セラレ、
治安維持法ヲ嚴重ニセラレテモ、其ノ根本
ヲ清メルニアラザレバ到底此ノ思想犯罪ヲ
撲滅スルト云フコトハ考ヘラレナイノデア
リマス、寧ろ今日ノ情勢ハ却テ是等ノ思想
犯罪ヲ激發スルヤウナ傾向サヘアルノデア
リマスカラシテ、其ノ根本ヲ清メル意味ニ
於キマシテハ、ドウシテモ教育、學術ト云
フ方面ニ互ッテソレノ根本カラシテ從來ノ
誤ッタル方向ヲ正シテ、眞ニ所謂我が國體
ノ精神ヲ明徹ニ把握シ、又所謂日本主義ノ
美點ヲ益ハキリ握ッテ其ノ上ニ立チ、又
我が國情ニ對シテ十分ナ愛著ヲ持チ、是等
ニ對シテ穩健ナル人物、堅實ナル人間ヲ養
成セラレルヤウニ教學ヲ根本カラシテ刷新
セラレルコトガ必要デアルト考ヘルノデア
リマス、政府ハ質問ノ際ニ種々是等ニ付テ
モ委員各位ノ意見ヲ徴セラレ、又政府ノ之
ニ對スル答辯等ニ依ッテ益、ソレ等ニ付テ最

善ノ努力ヲ拂ハレルト云フコトハ承知致シ
タノデアリマスガ、併シ是ハ單ニ唯口頭ノ
御答辯ニ止ルコトナク、眞ニ先程井田男爵
ヨリ申述セラレタ通り所謂臣道實踐デ、此ノ
種犯罪ヲ我ガ國ニ於テハ根絶スルコト云フ意
氣込テ以テ徹底ナル處置ヲ講ゼラレル必
要ヲ感ズル次第デアリマス、而シテ私ハ是
等ノ意味カラ致シマシテ、單ニ此ノ法律ノ
改正ニ依ッテ之ヲ根絶シ、此ノ目的ヲ達成
スルト云フコトハ期待出來ナイト考ヘマス
ルケレドモ、併シ此ノ犯罪ヲ取締テ行ク
爲ニハ、此ノ種ノ犯罪ニ對シマシテハ、ド
ウシテモ是ダケノ法律改正ヲ必要トスルコ
トヲ確信スルモノデアリマス、此ノ意味ニ
於テ此ノ法律改正案ニハ原案ヲ賛成スル次
第デアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ、
是等ノコトハ唯希望トシテ私個人ノ意見ト
シテ申述ベルニ止ルコトナク、之ヲ希望決
議トシテ此ノ委員會ニ於テ御決定願ヘレバ
更ニ有力ナモノトナリ、政府ニ於テモ一層
此ノ考ヘ方ニ付テ今後善處セラル、コトト
信ズルノデアリマスカラ、私ハ茲ニ先程二
三ノ委員ノ方々ト御協議シテ得マシタ希望
決議案ヲ朗讀サセテ戴キタイト存ズル次第
デアリマス、又時間ガナイ爲ニ刷ッテ皆様
ニ御覽ニ入レル邊ガアリマセヌデシタカ
ラ、朗讀致シマシテ、ドウカソレニ對シテ
全會一致御賛成ヲ得タイト思フ次第デアリ
マス

テ生ズル所ヲ究メ未然ニ之ヲ防止スルノ
途ヲ講ズルト同時ニ教學ヲ根本ヨリ刷新
シ以テ思想犯罪ノ絶滅ヲ期スベシ
モウ一遍讀ミマセウカ
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) モウ一度御讀
ミニナツテ下サイ
○子爵岡部長景君 繰返シテ讀ミマス、「希
望決議、思想犯罪ハ近年其ノ數激増シ、罪
質惡辣ナルノミナラズ其ノ行動計畫のニシ
テ往々戰慄スベキモノアリ、洵ニ深憂ニ堪
ヘズ、政府ハ速カニ各省ニ互ル思想問題ニ
關シ徹底的統合ヲ圖リ斯ノ種思想ノ因ッテ
生ズル所ヲ究メ未然ニ之ヲ防止スルノ途ヲ
講ズルト同時ニ教學ヲ根本ヨリ刷新シ以テ
思想犯罪ノ絶滅ヲ期スベシ」斯ウ云フ希望
決議ヲ附シテ、此ノ原案ヲ賛成、可決スベ
キモノト議決セラレムコトヲ希望スル次第
デアリマス、尙委員長ハ本會議ニ御報告ノ
際ニ、此ノ希望決議ヲ併セテ御報告願ヒタ
イト思フ次第デアリマス

希望決議
思想犯罪ハ近年其ノ數激増シ罪質惡辣ナ
ルノミナラズ其ノ行動計畫のニシテ往々
戰慄スベキモノアリ、洵ニ深憂ニ堪ヘ
ズ、政府ハ速カニ各省ニ互ル思想問題ニ
關シ徹底的統合ヲ圖リ斯ノ種思想ノ因ッ

常ニ強イ權能ヲ有ッテ居ルノデアリマスル
カラ、之ヲ嚴正、而シテ慎重ニ施行セラレ
ルムコトヲ望ムノデアリマス、今日ノ此ノ
法案ニ於テ缺ケテ居リマスル所ハ、司法大
臣ノ言明ニ依リ、修正案ノ如キ點ニ關シマ
シテ、近キ將來ニ補充セラレルト云フコ
トデアリマスガ、今日ノ事情ハ一刻モ待タ
ナイ事態ニアルト私ハ思ヒマスノデアリマ
ス、ソレデアリマスルカラ政府ハ此ノ間ニ
於キマシテ、他ノ法律ヲ活用スルニ萬算
ナキヲ期セラレタイノデアリマス、法律ニ
書イテアリマスレバ、是ハ能ク運用セラレ
ルノデアリマスルカラ、幾多ノ法規ニ散在
シテ居ル規定ヲ綜合シテ運用シナケレバ
ラスノデアリマスルカラ、之ニ付テハ速カ
ニソレ等ノ取調ヲシ、如何ナル意味ニ於テ
行フト云フ點ヲ十分ニセラレムコトヲ望ミ
マス、而シテ殊ニ今日私有財産問題ガヤカ
マシクナッテ來テ居リマスルガ、申ス迄モ
ナク憲法ニ於テ私有財産制度ノ根本ハ保證
セラレテ居ル譯デアリマス、之ヲ言ヘバ矢
張り憲法違反ノモノデアリマス、總理大臣
ハ豫算總會ニ於テ、産業ノ奉還、或ハ財産奉
還ト云フコトハ秩序ニ害アルモノデアルト
云フ言明ヲセラレマシタ、又内務大臣ハ此
ノ席ニ於キマシテ左様ナコトハ取締ルベキ
モノデアアル、否議會全體ニ對シテ左様ナ御
辯明ガアツタ譯デアリマス、又司法當局ニ
於テモ、ソレノ御述ニナッテ居ルノデア
リマス、此ノ點ハ能ク御檢討ニナリマシ
テ、今日左右兩翼ヨリ述ベラレタル所ノ私
有財産制度ニ付テハドウシテモ取締ラナケ
レバナラスモノガ相當ニ私ハアルト思フノ
デアリマス、ソレ故ニ文書ニ於テ出版セラ
レタルモノハソレノ法規ニ依リ、言論

○山岡萬之助君 私人只今提案セラレマシ
タ希望決議ニ對シマシテ、賛成ノ意ヲ表
シ、且又此ノ重大ナル法律施行ニ關シマシ
テ、聊カ所見ヲ述ベ政府ノ御參考ニ供シ、
本案ニ賛成スル意思ヲ表示ヲ致シタイノデ
アリマス、極メテ簡單ニ申上ゲマス、政府當局
ノ努力ニ依リマシテ、共產主義ノ犯罪ハ餘
程減少シテ參ツノデアリマスルガ、最近
社會事情ノ變化ハ、昨年ニ至ッテ此ノ種ノ
犯罪ガ急ニ増加シタト云フヤウナコトデア
リマスルノデ、其ノ源泉ハ未ダ絶エテ居ラ
ナイ、所謂潜在的ニナカノニ根ヲ張ッテ
居ル、斯ウ云フコトハ之ヲ深ク考ヘテ檢舉、
撲滅ニ對サナケレバナラヌト思フノデア
リマス、ソコデ此ノ法案ハ政府ニ對スル非

ニ依ル所ノモノハ是ハ警察官ヲ御指導ニナ
リマセスト、演說會ニ於ケル中止ヲ命ジナイ
限り、取締ル途ハナカラウト思フノデアリ
マス、デアリマスルカラ之ニ付キマシテハ
相當ノ用意ヲシナケレバナラヌト私ハ思ヒ
マスルノデ、特ニ御留意ヲ願ヒタイノデア
リマス、而シテ更ニ補償手續デアリマスル
ガ、斯ウ云フコトハ一日モ早く結末ヲ付ケ
ルト云フコトガ勿論必要デアリ、又思想犯
デアリマスルカラ、是ガ取締ニ當ル所ノ捜
査官ハナカノノ容易ナラスコトト思フノデ
アリマス、唯併シ之ニ付テノ問題ハ、檢事
ハ原告官デアリマス、原告官ガ調書ヲ作ッ
テ、之ヲ證據トシテ處罰スルト云フコトハ
今日迄ノ法制ノ建前カラ適當ナリヤ否ヤハ
其ノ面カラ見レバ非常ナ疑義ガアルモノデ
アリマス、ソコデ起訴前豫審ノ制度ト云フ
モノガ考究サレマシテ、我ガ國ニ於テモ既
ニ行ハレテ居ル、陸海軍等ニ於テハ行ハレ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ
勿論御考慮ニナツタコトト思ヒマスガ、
私ハ此ノ點ヲ、檢事ハ一體デアリ、上命
下服ノ關係ガハッキリシテ居ル、其ノ上ニ
檢事ハ公益ノ代表者デアリマスルカラ、檢
事ハ唯單ニ原告官ニ非ズ、公益ヲ代表シテ
居ル者デアリマスルカラ、常ニ檢事ハ自分
ハ公益ヲ代表スル者デアアル、原告トシテ犯
罪ヲ訴追スルト云フ考ト同時ニ、常ニ此ノ
高キ考ヲ御持チニナラムコトヲ望ミマス、
此ノ制度ヲ施行シテ、サウシテ出來榮エガ
良クタイト云フコトニナリマスレバ、制度
ノ上ニ於テモ問題ヲ惹起シテ參リマスカ
ラ、ドウカ是ハ成績ヲ十分ニ御舉ゲニナリ
マスヤウニ、檢事ハ公益ヲ代表シテ居ルト
云フ考ヘ方ヲ明徹ニ致シテ御進ミニナラム

ニ依ル所ノモノハ是ハ警察官ヲ御指導ニナ
リマセスト、演說會ニ於ケル中止ヲ命ジナイ
限り、取締ル途ハナカラウト思フノデアリ
マス、デアリマスルカラ之ニ付キマシテハ
相當ノ用意ヲシナケレバナラヌト私ハ思ヒ
マスルノデ、特ニ御留意ヲ願ヒタイノデア
リマス、而シテ更ニ補償手續デアリマスル
ガ、斯ウ云フコトハ一日モ早く結末ヲ付ケ
ルト云フコトガ勿論必要デアリ、又思想犯
デアリマスルカラ、是ガ取締ニ當ル所ノ捜
査官ハナカノノ容易ナラスコトト思フノデ
アリマス、唯併シ之ニ付テノ問題ハ、檢事
ハ原告官デアリマス、原告官ガ調書ヲ作ッ
テ、之ヲ證據トシテ處罰スルト云フコトハ
今日迄ノ法制ノ建前カラ適當ナリヤ否ヤハ
其ノ面カラ見レバ非常ナ疑義ガアルモノデ
アリマス、ソコデ起訴前豫審ノ制度ト云フ
モノガ考究サレマシテ、我ガ國ニ於テモ既
ニ行ハレテ居ル、陸海軍等ニ於テハ行ハレ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ
勿論御考慮ニナツタコトト思ヒマスガ、
私ハ此ノ點ヲ、檢事ハ一體デアリ、上命
下服ノ關係ガハッキリシテ居ル、其ノ上ニ
檢事ハ公益ノ代表者デアリマスルカラ、檢
事ハ唯單ニ原告官ニ非ズ、公益ヲ代表シテ
居ル者デアリマスルカラ、常ニ檢事ハ自分
ハ公益ヲ代表スル者デアアル、原告トシテ犯
罪ヲ訴追スルト云フ考ト同時ニ、常ニ此ノ
高キ考ヲ御持チニナラムコトヲ望ミマス、
此ノ制度ヲ施行シテ、サウシテ出來榮エガ
良クタイト云フコトニナリマスレバ、制度
ノ上ニ於テモ問題ヲ惹起シテ參リマスカ
ラ、ドウカ是ハ成績ヲ十分ニ御舉ゲニナリ
マスヤウニ、檢事ハ公益ヲ代表シテ居ルト
云フ考ヘ方ヲ明徹ニ致シテ御進ミニナラム

ニ依ル所ノモノハ是ハ警察官ヲ御指導ニナ
リマセスト、演說會ニ於ケル中止ヲ命ジナイ
限り、取締ル途ハナカラウト思フノデアリ
マス、デアリマスルカラ之ニ付キマシテハ
相當ノ用意ヲシナケレバナラヌト私ハ思ヒ
マスルノデ、特ニ御留意ヲ願ヒタイノデア
リマス、而シテ更ニ補償手續デアリマスル
ガ、斯ウ云フコトハ一日モ早く結末ヲ付ケ
ルト云フコトガ勿論必要デアリ、又思想犯
デアリマスルカラ、是ガ取締ニ當ル所ノ捜
査官ハナカノノ容易ナラスコトト思フノデ
アリマス、唯併シ之ニ付テノ問題ハ、檢事
ハ原告官デアリマス、原告官ガ調書ヲ作ッ
テ、之ヲ證據トシテ處罰スルト云フコトハ
今日迄ノ法制ノ建前カラ適當ナリヤ否ヤハ
其ノ面カラ見レバ非常ナ疑義ガアルモノデ
アリマス、ソコデ起訴前豫審ノ制度ト云フ
モノガ考究サレマシテ、我ガ國ニ於テモ既
ニ行ハレテ居ル、陸海軍等ニ於テハ行ハレ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ
勿論御考慮ニナツタコトト思ヒマスガ、
私ハ此ノ點ヲ、檢事ハ一體デアリ、上命
下服ノ關係ガハッキリシテ居ル、其ノ上ニ
檢事ハ公益ノ代表者デアリマスルカラ、檢
事ハ唯單ニ原告官ニ非ズ、公益ヲ代表シテ
居ル者デアリマスルカラ、常ニ檢事ハ自分
ハ公益ヲ代表スル者デアアル、原告トシテ犯
罪ヲ訴追スルト云フ考ト同時ニ、常ニ此ノ
高キ考ヲ御持チニナラムコトヲ望ミマス、
此ノ制度ヲ施行シテ、サウシテ出來榮エガ
良クタイト云フコトニナリマスレバ、制度
ノ上ニ於テモ問題ヲ惹起シテ參リマスカ
ラ、ドウカ是ハ成績ヲ十分ニ御舉ゲニナリ
マスヤウニ、檢事ハ公益ヲ代表シテ居ルト
云フ考ヘ方ヲ明徹ニ致シテ御進ミニナラム

コトヲ願ハザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ審級問題ニ付キマシテモ、是等ノ關係ハ總テ人ノ問題デアリマスルノデ、司法當局ニ於テハ先頃來司法官ノ特殊ナ研究育成ヲナサザルハ居ルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ特ニ御留意ヲ拂ハレスコトヲ望ンデ已マナイ者デアリマス、最後ニ豫防拘禁デアリマスルガ、是亦相當長イ期間ニ於テ、否其ノ思想ノ改マル迄拘束ノ出來ルト云フ規定デアリマスレバ、之ヲ善用シテ成績ヲ御擧ゲニナラムコトヲ望ミマス、之ニ付キマシテハ私ハ申ス迄モナク個別處遇ト云フモノガアリ、雜居的ニ處遇スル途ガアル、其ノ他色々途ガアリマスガ、之ニ付キマシテハ他ノ一般犯罪人ト異ニシテ表ニ力ヲ以テ現レテ來ル犯人デハナイノデアリマス、思想、精神的ノモノデアリマスルカラ、之ガ處遇ノ途ニ付テハ最善ノ注意ヲシナケレバ效果ガ擧ガラスト思ヒマス、殊ニ轉向者ニ付テノ今日迄ノ處遇ニ付テハ大イニ大イニ缺點所ガアルト思ヒマスノデ、斯ウ云フ轉向者ト云フモノハ、官廳ニモ、或ハ公ノ場所ニモ、其ノ他適當ナラザル所ニ使ッテ居ルノガ政府ノ御提出ニナッテ居ル統計ニ依ッテ分ルノデアリマス、是ハ此ノ思想不安ノ時代ニ於テハ非常ニ危險デアリマス、此ノ種犯人ガ轉向シタト云フコトハ誠ニ結構ナコトデアリ、政府ハ宜シク其ノ轉向シタル方向ニ向ッテ之ヲ善導シ、職ヲ與ヘルコトハ極メテ望マシイノデアリマス、此ノ際ニ於テハ適當ナル途ヲ御與ヘニナルコトガ私ハ宜イト思フノデアリマス、公ノ場所以上ニ之ヲ使フト云フコトハ此ノ際ハ御避ケニナルコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、以上數

言ヲ述ベマシテ私ノ原案賛成ノ結論ト致シマス

○男爵井田鶴楠君 原案賛成ノ一人ト致シマシテ思見ヲ陳述サセテ戴キマス、現在ノ世界ノ思想情勢ヲ見マスル時ニ、此ノ思想ガ我が國ニ影響スルコト頗ル大デアルノデアリマシテ、我が尊嚴ナル國體ヲ擁護致シマスル爲ニハ、斯カル法案ノ強化サレルコトモ遺憾ナガラ誠ニ大切ナコトト存ズル次第デアリマス、且現在ノ社會情勢カラ見マスル時ニ、今日ノ改正ノ趣旨ヲ一日モ速カニ政府ニ於テ實行サレルコトガ、此ノ國內情勢ノ上ニ於テ最モ必要デアルト信ジマスノデ、私ハ次田委員ノ修正ニ關シマシテハ、本來賛成ヲ致スベキ一人デアアルノデアリマスガ、斯様ナル意味ニ於キマシテ、今日ハ此ノ修正意見ニハ賛成ヲシナカッタ譯デアリマス、然ル限リニ於キマシテ、此ノ次田君ノ修正意見ハ政府御言明ノ如ク、從來政府ノ言明ト云フモノハ御尤モダトカ、或ハ深ク考慮スルト云ッタヤウナコトデ、少シモ御尤モデモナク、考慮サレルコトモナクシテ行ツノガ今迄ノ常ナノデアリマシテ、今日ノ懇談會ノ席ニ於キマシテモ、相當從來政府ト云フモノハ、言質ヲ與ヘテモ、信用ガ置ケスト云ツタヤウナコトガ、先程ノ懇談會ノ席ニモアッタノデアリマスガ、今日ノ司法大臣ノ御言明ニ付キマシテハ、私ハ司法大臣閣下ノ御人格、サウシテ今日ノ才座ナリノ御言明ト違フ所ニ深ク御信賴ヲ致シマシテ、一日モ早く此ノ委員會ニ於キマスル空氣、空氣ト申シマスルヨリモ、委員會ニ於キマスル一般ノ委員ノ考及ビ今日次田委員ノ言ハレマシタコトハ、過去ノ貴族院ニ於ケル所ノ意見デアッタト云フコト

ニ付キマシテ深く考慮ヲ戴キマシテ、一日モ早く之ノ實現ヲ希望致シテ止マナイ次第デゴザイマス、從來其ノ政府ノアル時ニハ左様ナ御努力ガアリマスルガ、内閣ガ更迭スルト、何時ノ間ニカ是ガ消エテ行クト云ツタヤウナノガ多ク、斯ウ云フコトガ御言質ガ消エル主ナル原因ト思ヒマスガ、私ハ此ノ政府ガ、此ノ内閣ガドレダケ長期デアリ、何時御更迭ニナルカト云フコトハ分リマセスケレドモ、之ニ關シマシテハ政府委員ノ諸君ガ、深く此ノ委員會及ビ貴族院ノ意見ト云フモノヲ御吞込ミ下サイマシテ、現大臣ノ意圖ヲ十分御酌ミ下サイマシテ、縱シンバ内閣ガ明日倒レテモ、是ハ一ツ政府委員ノ方々デシカリ之ヲ致シテ戴キタリノデアリマシテ、是ハ單リ私ハ、大臣ノ御責任ノミニハ御委セテ致シタクナイノデアリマス、此ノ點ハ十分一ツ御願ヒ申上ゲテ置キタイト存ジマス、尙且私ハ法律ハ少シモ分リマセス、全ク盲デアリマスガ、此ノ豫防拘禁ト云フヤウナ條章ノ出來ルコトガ頗ル遺憾ナ次第ナノデアリマシテ、之ニ關シマシテハ、司法省ノ設備ト致サレマシテハ、ドウカ在監中ニ斯ウ云ッタ人ガ、スッカリ斯ウ云ッタヤウナ思想ヲ拂拭スルト云フコトニ付キマシテ、モウ一ツ十分御施設ノ上ニ於テ御指導ヲ戴クト云ッタヤウニシテ戴キタイトデアリマス、ドウモ是ハ私モサウ云フコトニ付キマシテ、實ハ色々ト伺ッテ見タカッタノデゴザイマスガ、一日ヲ急グ此ノ法案ヲ產ミ出スト云フコトノ爲ニ、サウ云フコトハ伺ハズニ濟ム譯デアリマスガ、結果カラ見マシテ、斯ウ云ッタコトヲ言フコトハ或ハ宜シクナイカモ知レマセヌガ、ドウモマダ御施設ガ十分デナイト

云フ風ニ御判斷ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、ドウカ十分此ノ方面ノ御施設ニ御努力アラムコトヲ希望致シテ已マナイ次第デゴザイマス、尙且是ハ山岡委員ノ仰セノ如クニ、此ノ法案ノミヲ以テ此ノ思想ノ絶滅ハ出來ナイ、有ラユル法案ト相共ニ、法律的ニ此ノ思想ヲ矯メルト云フ場面ガ多イト思ヒマスノデ、之ニ付キマシテハ内務省ニ於カレマシテ、願ハクバ著述等ニ於テ出版法ニ於テ十分運用ノ完全ナラムコトヲ御希望申上ゲル次第デアリマス、之ニ關シマシテハ在來伺ヒマスル所ニ依ルト、内務省ノ中ニ於キマスル所ノ、此ノ圖書檢閲ト申シマスルカ、之ニ付テハ甚ダオ手ガ不足ノヤウニ伺ッテ居リマス、ナカノアノ澤山ナ著述ヲ僅カノ方デ御檢閲ニナルト云フコトハ、不十分デアルト思フノデアリマス、之ニ關聯致シマシテハ、在來カラ是ハ言ハレテ居ルコトデゴザイマスルガ、尙此ノ方面ノ内務省ニ於ケル施設ヲ御擴張戴キマシテ、サウシテ此ノ方面ノ運用モ十分完全ニ致サレルヤウニ、是亦此ノ際ニ於テ内務大臣閣下ニ御願ヲ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス、大體私ハ之ヲ以チマシテ、私ノ贊成意見ト致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御發言ハゴザイマセスカ……御發言ガアリマセスケレバ、討論ハ終結致シタルモノト認メマス、採決ニ入リマス、治安維持法改正法律案ヲ議題ト致シマス、本案ニ付キマシテ、原案ヲ可トスル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

〔舉手者多數〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 舉手者多數ト認メマス、仍テ本案ハ可決セラレマシタ、次ニ希望決議ニ付テ採決ヲ致シマス、希望決議

ニ付テ御賛成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

(總員舉手)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 全會一致ト認

メマス、此ノ際政府ニ於キマシテ何カ御話ガ
アリマスルナラバ、願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵平沼騷一郎君) 岡部子爵

ヨリ御提案ニ相成リマシタ希望決議ニ付キ
マシテ、政府ノ所見ヲ言明シタイト存ジマス、

御決議ノ趣旨ハ、政府ニ於キマシテモ全ク感
ヲ同ジウ致スノデアリマス、今日思想犯罪

ノ防遏ニ付キマシテハ、第一ニ教學ノ刷新
ヲ講ズルト云フコトハ最モ大切ナコトデゴ

ザイマシテ、學校教育、社會教育、家庭教
育ニ付キマシテモ深ク意ヲ用ヒヌケレバナ

ラスト存ジマス、又之ガ取締ノ方面ニ於キ
マシテモ、一層之ヲ周到ニ致シマシテ、違

算ナキコトヲ期スベキハ當然デアルト考ヘ
マス、而シテ此ノ由ツテ出ヅル所ノ原因ヲ

探究致シマスレバ、之ニハ國內ノ情勢ニ基
因スル所モゴザイマセウ、又世界ノ情勢ニ

基クモノモアルコトト存ジマス、之ヲ考ヘ
マスレバ實ニ岡部子爵ノ御述ニナリマシタ

通り、政府各部ニ互リマスル事項、政府各
部ニ於キマシテモ能ク之ヲ檢討致シマシ

テ、之ニ對應スル所ノ施設ヲ講ジテ參ラム
ケレバナリマセヌ、各部ノ間ニ十分ナル連

絡ヲ執リマススト云フコトモ大切デゴザイマ
ス、之ヲ要スルニ、此ノ問題ハ政府全體ノ

責任デゴザリマシテ、國務大臣ハ總テ之ニ對
シマシテハ全責任ヲ以テマシテ、共々ニ之

ニ當リマス心底デゴザリマス、左様御了承
ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 本案修正案並
ニ希望決議全部議了致シマシタ、是デ本委
員會ノ任務ヲ終了シタ譯デアリマス、長イ

間諸君ノ御苦勞ニ對シマシテ、委員長トシ
テ厚ク御禮ヲ申上ゲマス、之ヲ以テ本委員
會ヲ閉デマシテ散會致シマス

午後六時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君

副委員長 男爵渡邊 修二君

委員

公爵二條 弼基君

侯爵井上 三郎君

子爵岡部 長景君

子爵舟橋 清賢君

織田 萬君

男爵井田 磐楠君

田口 弼一君

堀切善次郎君

男爵伊江 朝助君

山岡萬之助君

次田大三郎君

長岡隆一郎君

山隈 康君

上野喜左衛門君

國務大臣

內務大臣 男爵平沼騷一郎君

文部大臣 橋田 邦彦君

司法大臣 柳川 平助君

政府委員

內閣書記官長 富田 健治君

法制局長官 村瀨 直養君

法制局參事官 森山 銳一君

內務省警保局長 橋本 清吉君

海軍省法務局長 潮見 茂樹君

司法次官 三宅正太郎君

司法省刑事局長 秋山 要君

司法省行刑局長 金澤 次郎君

司法書記官 石田 壽君
同 太田 耐造君
教學局長官 藤野 惠君